

資料の要点：2021年8月3日時点

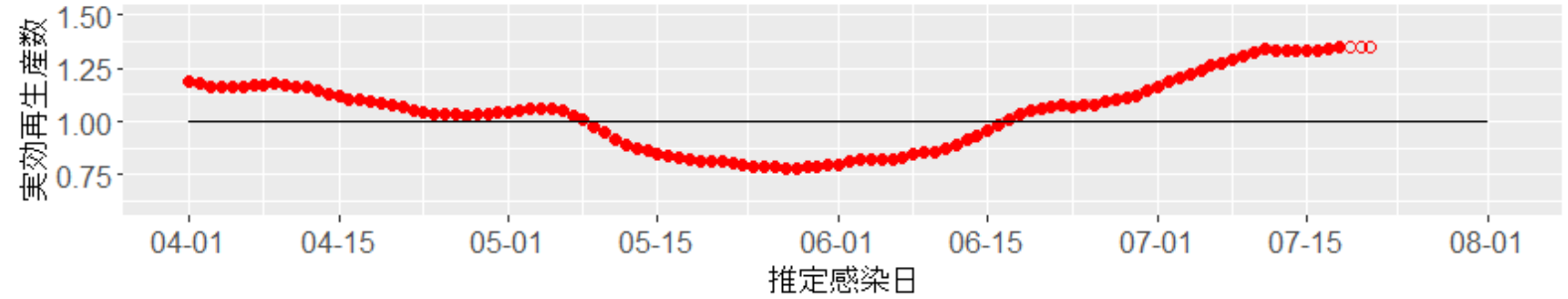
- 全国的に実効再生産数は上昇傾向が続き、概ね値が確定した7月18日時点では1.35であった。東北地方の一部を除き、全都道府県で実効再生産数は1を上回っている。P2-4
- 緊急事態宣言、重点措置対象地域以外の注目すべき都道府県*：福島、茨城、栃木、群馬、新潟、富山、福井、山梨、長野、静岡、愛知、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、岡山、広島、香川、熊本。首都圏では高齢者も増加傾向であり（P7-8）、東京で高齢者はステージ3相当以上である。一部地域でHER-SYSの入力が遅れている。P5-30
- 首都圏では広範囲で人口10万対100を超える地域が拡大中である（P22-23）。首都圏の感染者は都心部を中心に同心円状に拡大し、なおも都心部で集中的に発生している。年代別の傾向には大きな差異はない。
- 8月初め時点で陽性例に占めるデルタ株の割合は、関東地方で約90%、関西地方で約60%と推定される。P35-44

*実効再生産数と新規症例数を用いたアルゴリズムに基づいて抽出

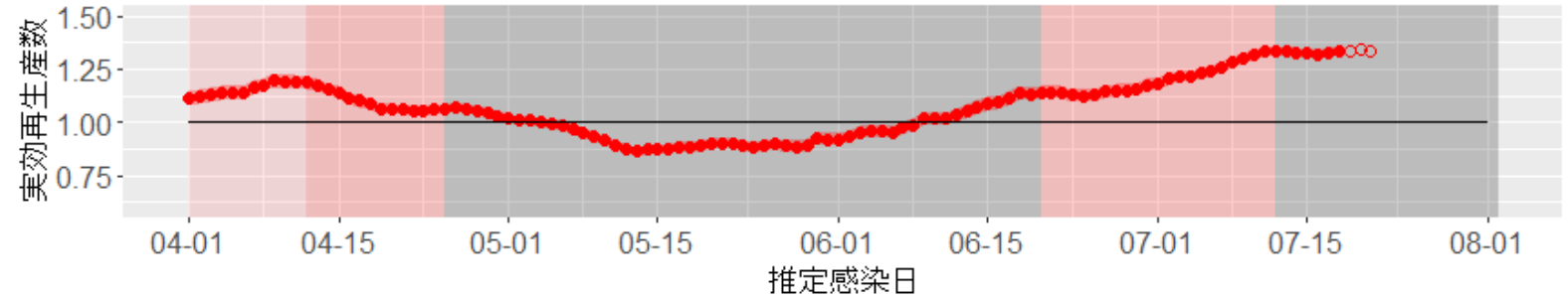
国立感染症研究所 感染症疫学センター サーベイランスグループ
協力：新潟大学 菖蒲川由郷（GIS）

全国の実効再生産数（推定感染日毎）：8月3日作成

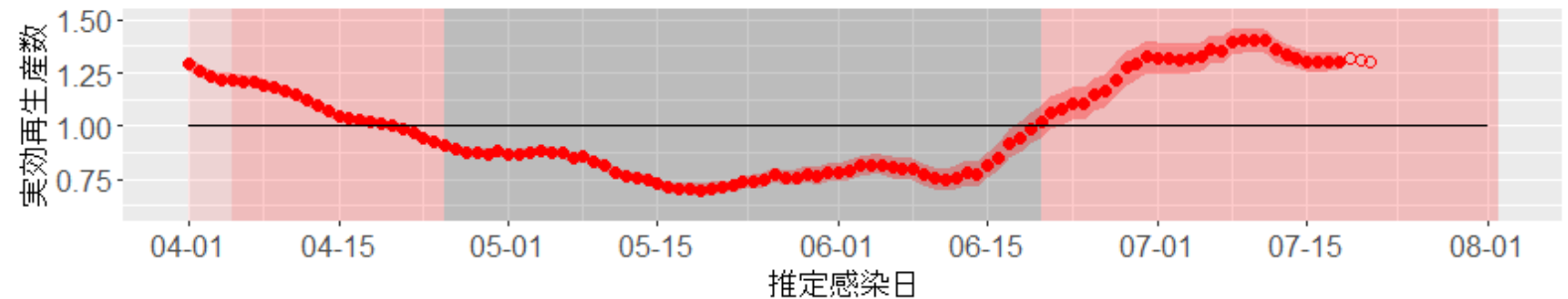
全国
7月18日時点Rt=1.35 (1.33-1.36)



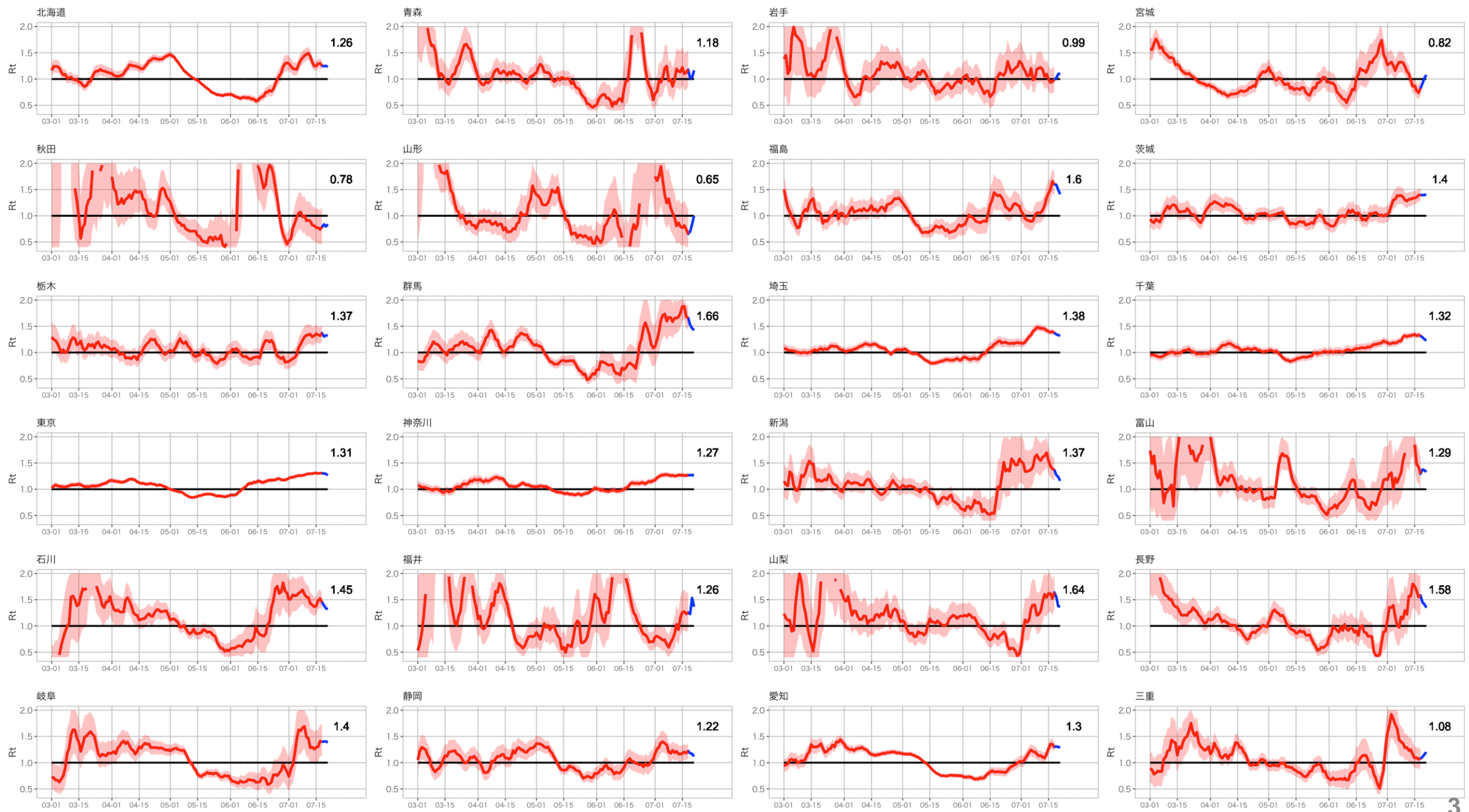
首都圏：東京、神奈川、千葉、埼玉
7月18日時点Rt=1.33 (1.31-1.35)

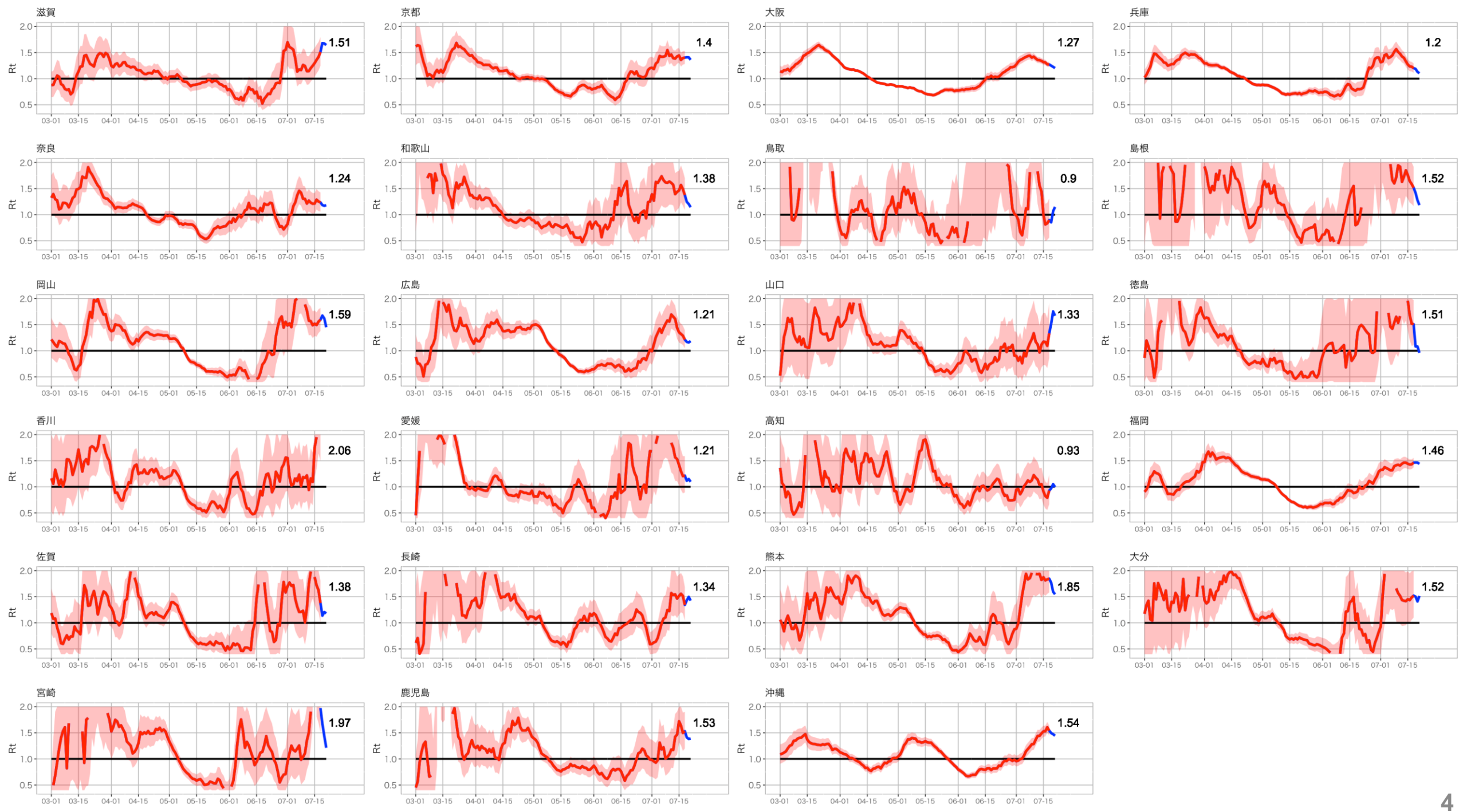


関西圏：大阪、京都、兵庫
7月18日時点Rt=1.30 (1.26-1.34)



実効再生産数は推定感染日（発症日あるいは発症日不明例については推定発症日から潜伏期間をさかのぼることで推定）ごとにCori et al. AJE 2013の方法（window time=7）で推定した。16日前までの推定値を赤丸、報告の遅れのために過小推定となっている可能性が高い13日から15日前までの推定値を白丸で表し、それよりも直近の値は表示していない。括弧内の値と図中の赤帯は95%信頼区間を表す。
なお、発症日の入力率、公表率は自治体によりばらつきが大きく、また事後的に修正される可能性があるため、値は暫定値である。





人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数の推移：年齢群別

使用データ

HER-SYSと自治体公開情報データ（8月2日時点）

まとめ

北海道：高齢者以外の年代で増加傾向であり、10代以下と20・30代でステージ4相当を、40-60代でステージ3相当を上回っている*。

宮城県：10代以下と20・30代で増加傾向であり、20・30代でステージ4相当を上回っている*。

首都圏：埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県において全ての年代で増加傾向であり、高齢者以外の年代でステージ4相当を上回っている。東京都においては高齢者でステージ3相当を上回っている。

東海圏：愛知県と岐阜県において高齢者以外の年代で増加傾向であり、愛知県では10代以下と40-60代でステージ3相当を、20・30代でステージ4相当を上回っており、岐阜県では20・30代でステージ3相当を上回っている。

関西圏：奈良県と大阪府では全ての年代で増加傾向であり、京都府、兵庫県では高齢者以外の年代で増加傾向である。京都府、奈良県、兵庫県、大阪府においては高齢者以外の年代でステージ4相当を上回っている。

中国：岡山県と広島県において高齢者以外の年代で増加傾向であり、岡山県では10代以下と20・30代でステージ4相当を、40-60代でステージ3相当を上回っており、広島県においては20・30代でステージ3相当を上回っている*。

九州：福岡県において高齢者以外の年代で増加傾向であり、高齢者以外の年代でステージ4相当を上回っている。

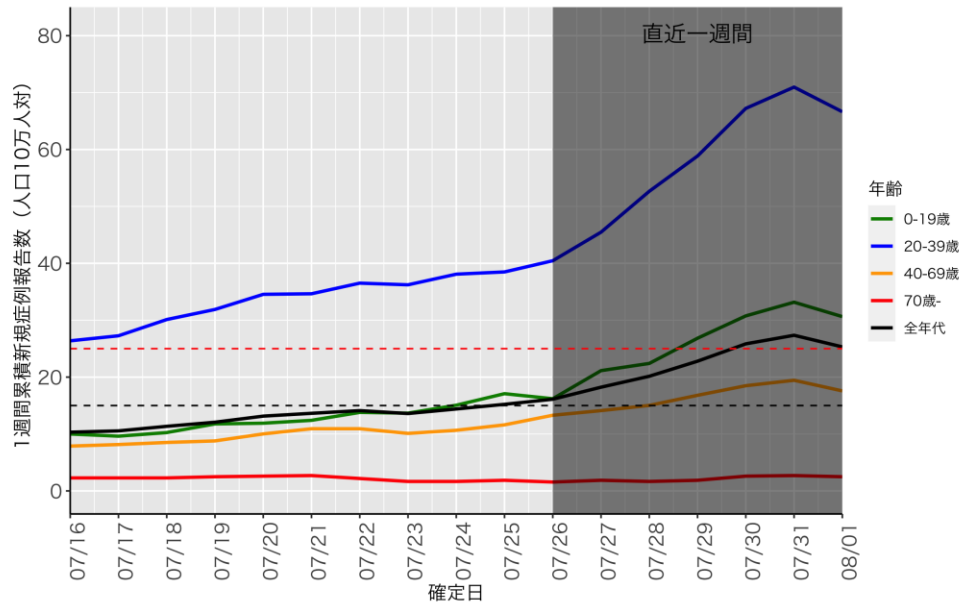
沖縄：全ての年代で増加傾向であり、全ての年代でステージ4相当を超えている。

（*はHER-SYSまたは自治体公開情報のどちらかのみでのレベルを示す。）

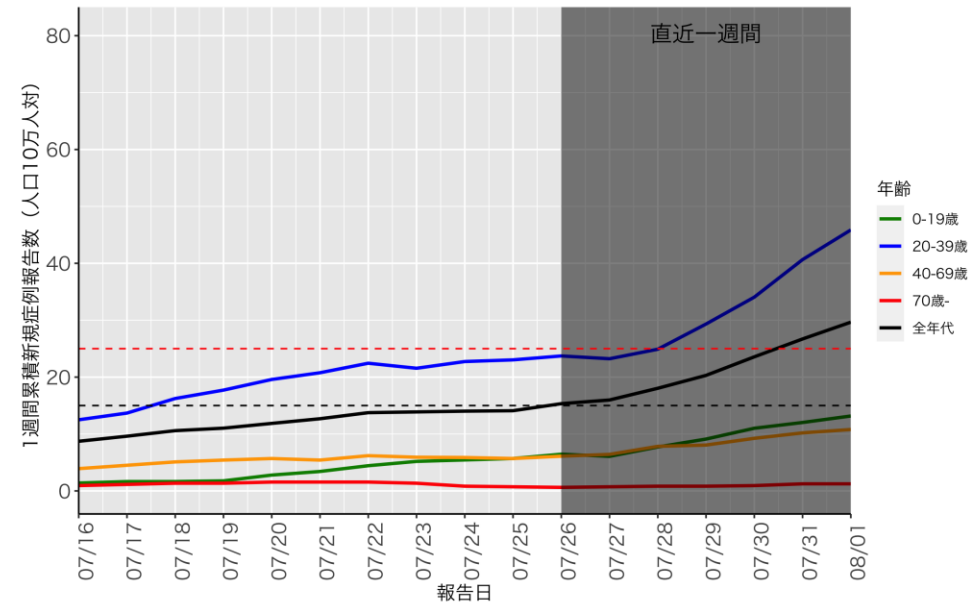
解釈時の注意点

- HER-SYSに基づく値は、特に直近1週間については報告遅れのために過小評価となっている可能性があり、その程度は自治体によって差がある（図の灰色部分）
- 自治体公開情報データに基づく年代別の値は、年代を非公表としている症例が多い自治体については過小評価となる
- どちらのデータも完全ではないため、両者を用いた評価が必要である

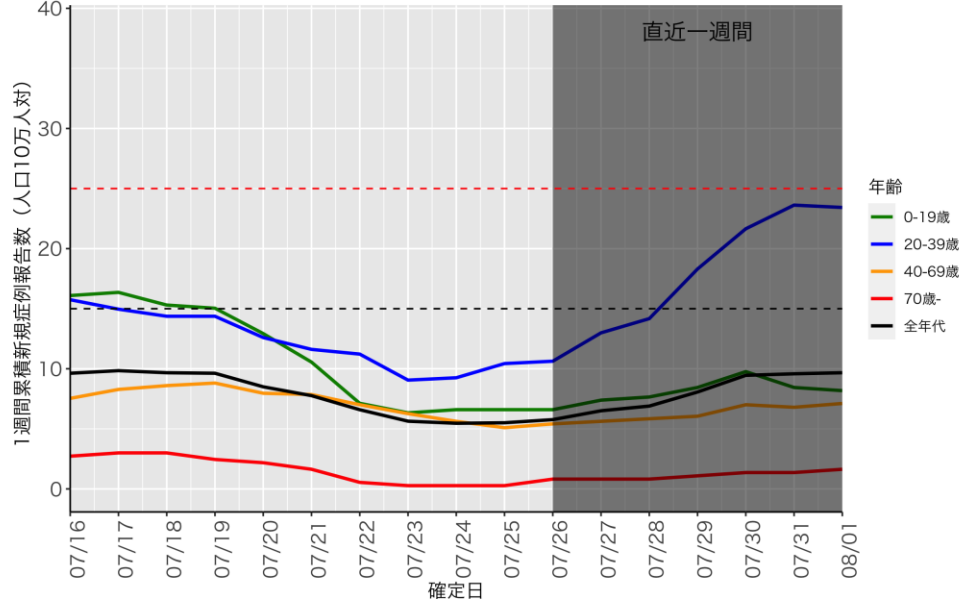
北海道 (HER-SYS)



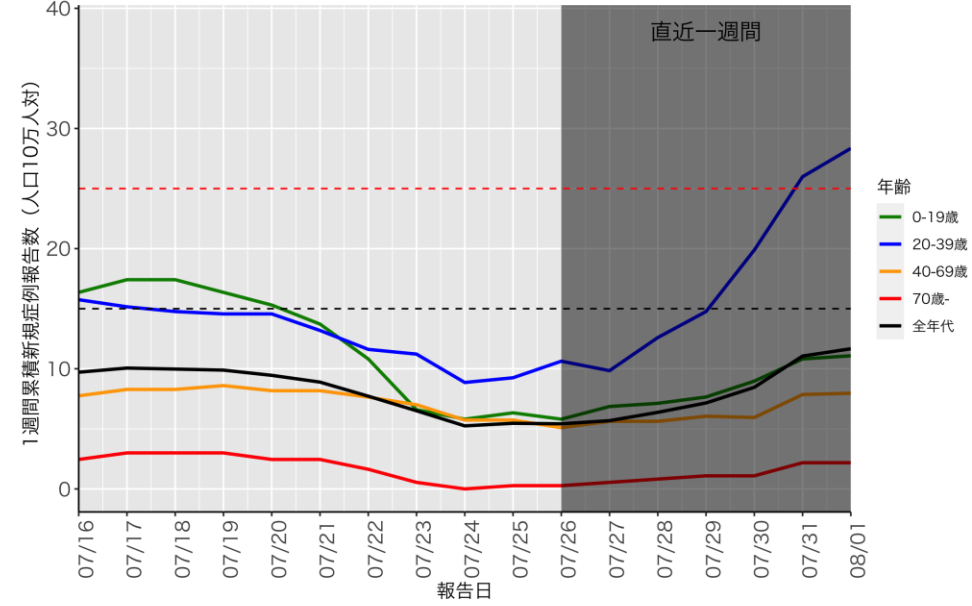
北海道 (自治体公開情報)



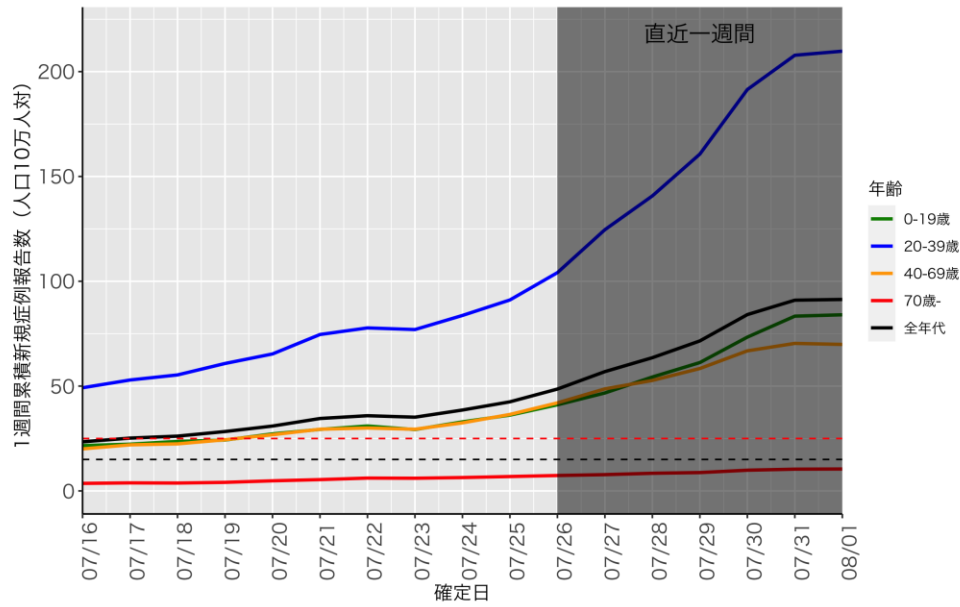
宮城 (HER-SYS)



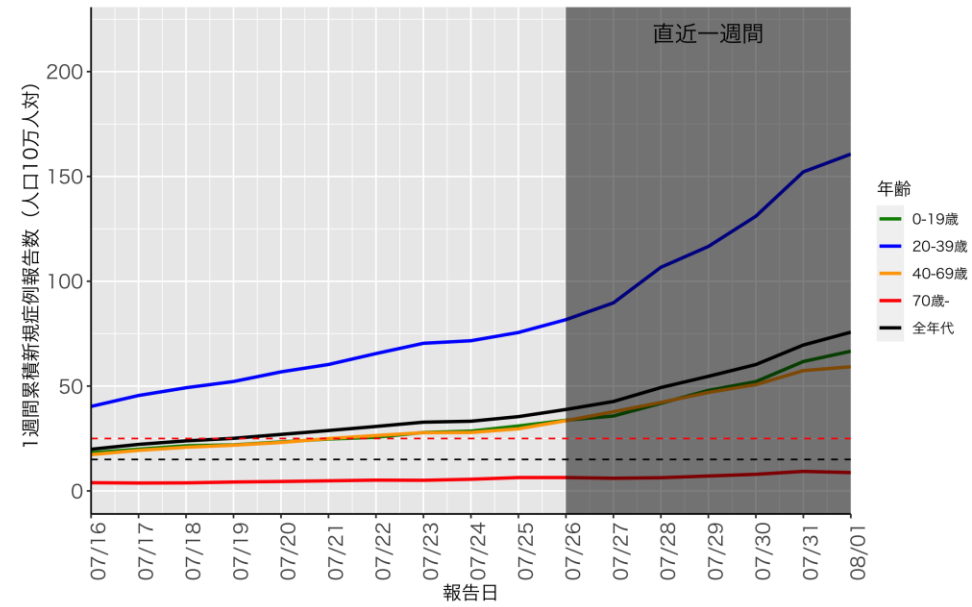
宮城 (自治体公開情報)



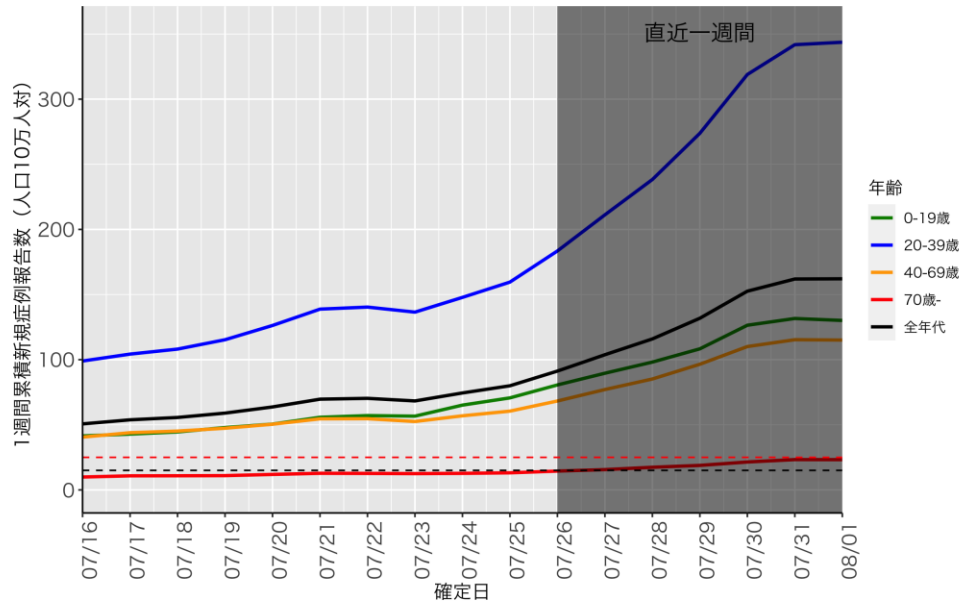
埼玉 (HER-SYS)



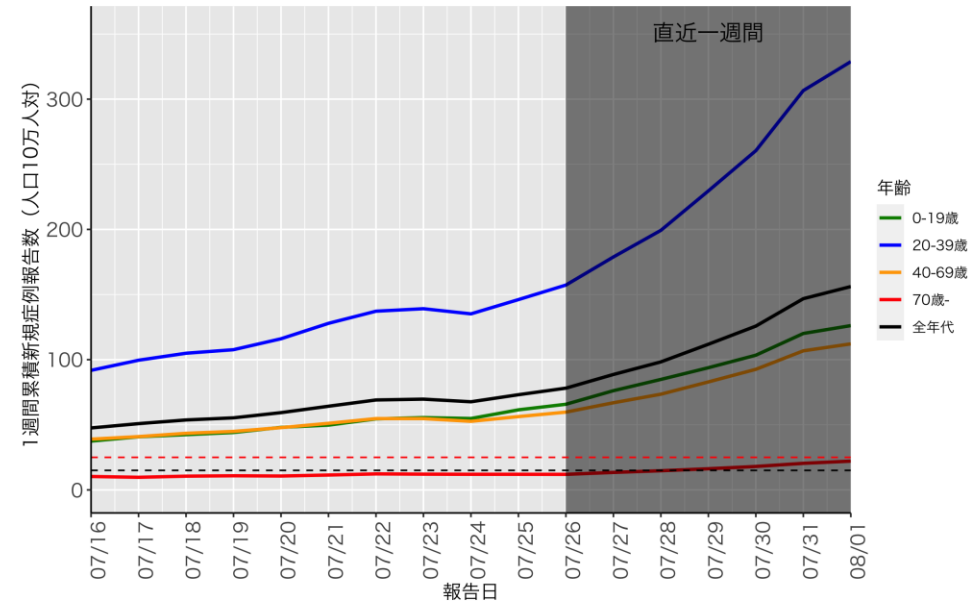
埼玉 (自治体公開情報)



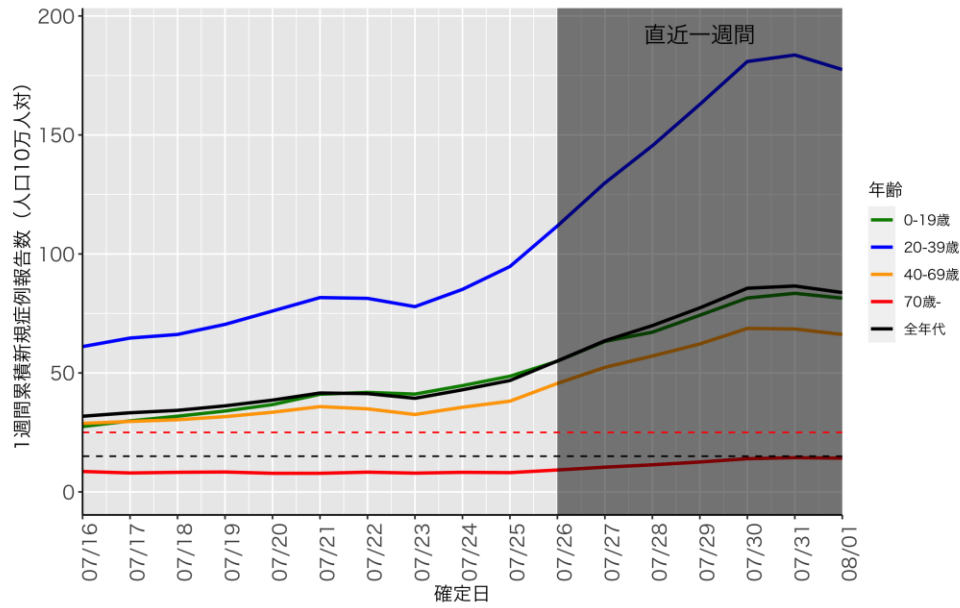
東京 (HER-SYS)



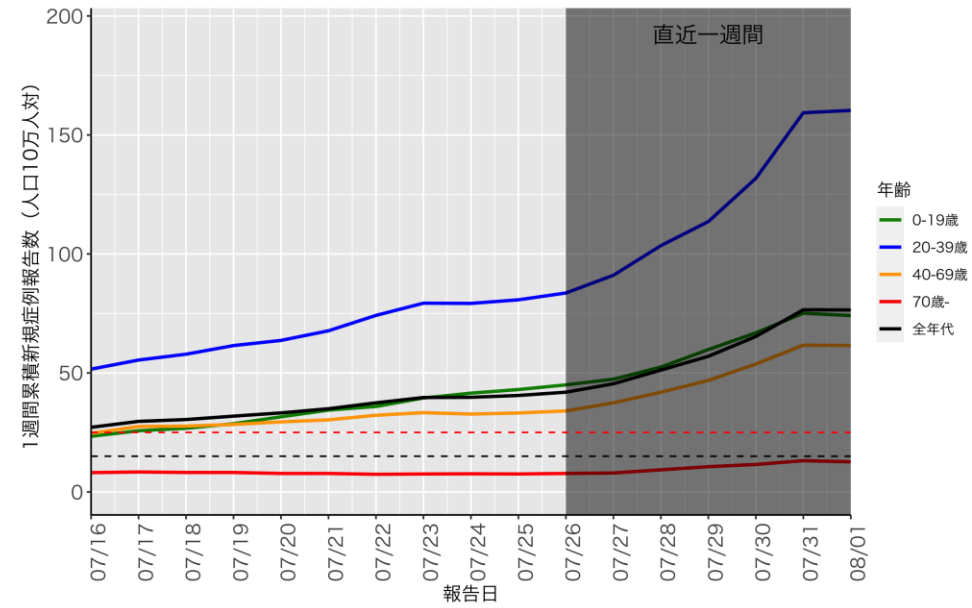
東京 (自治体公開情報)



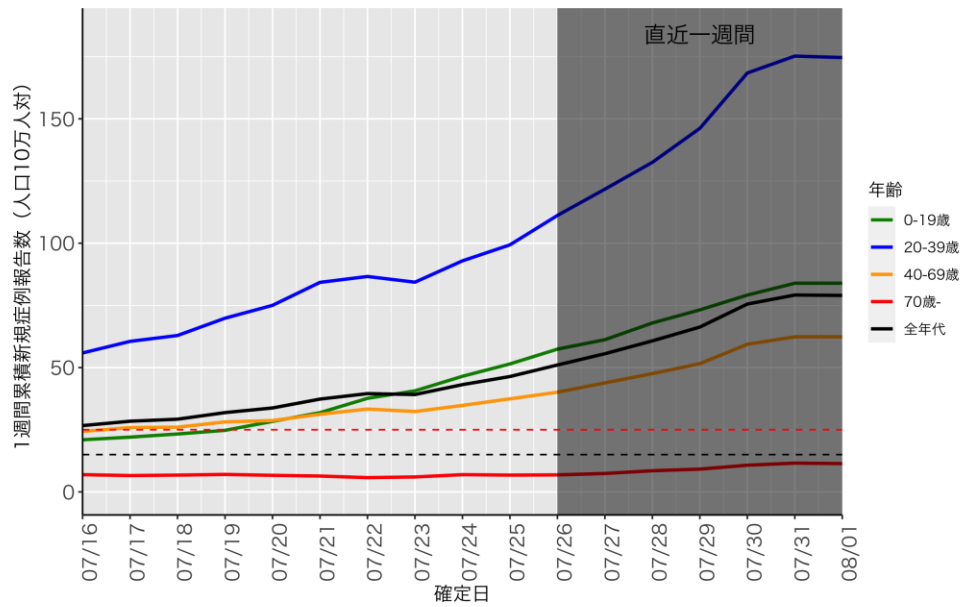
神奈川 (HER-SYS)



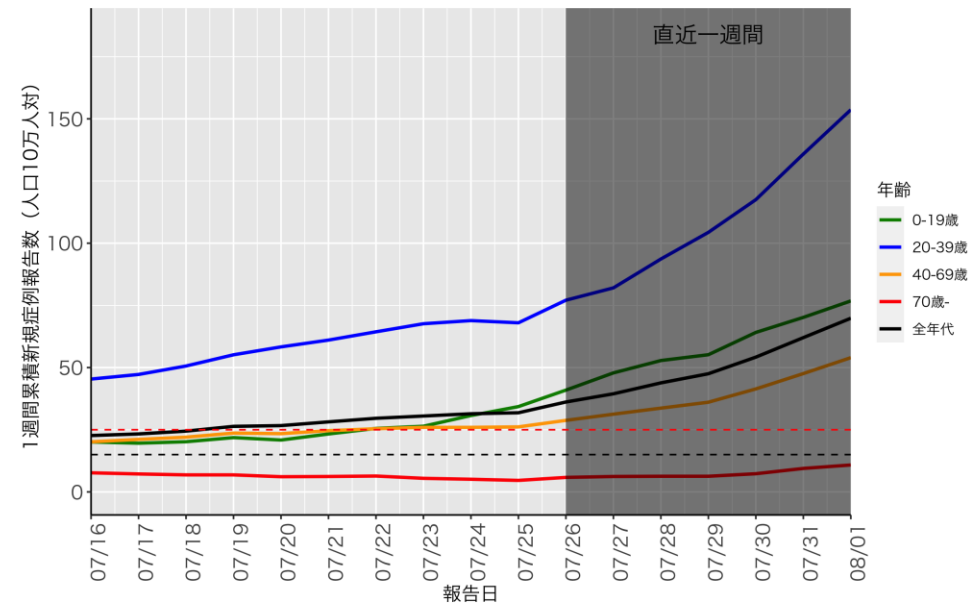
神奈川 (自治体公開情報)



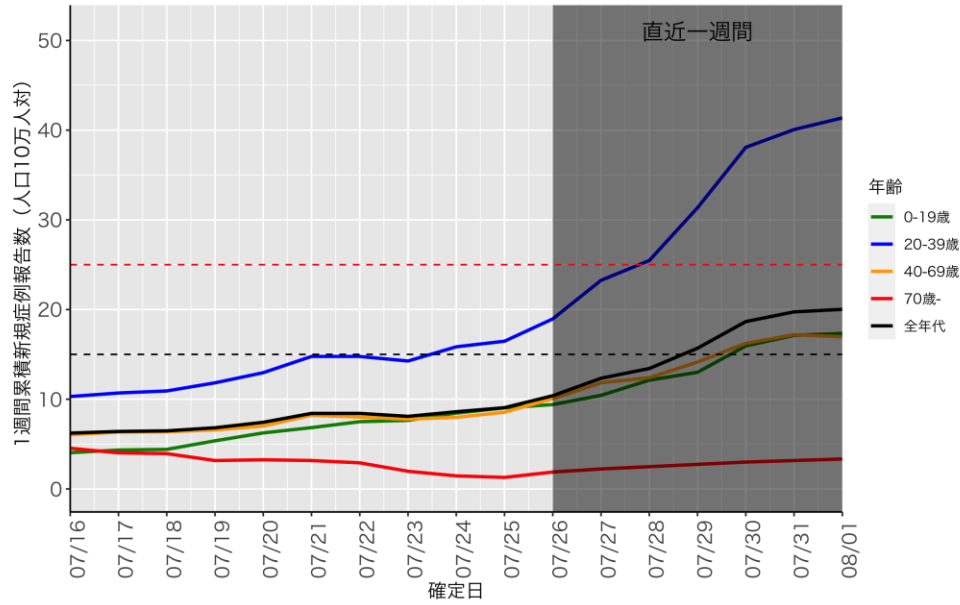
千葉 (HER-SYS)



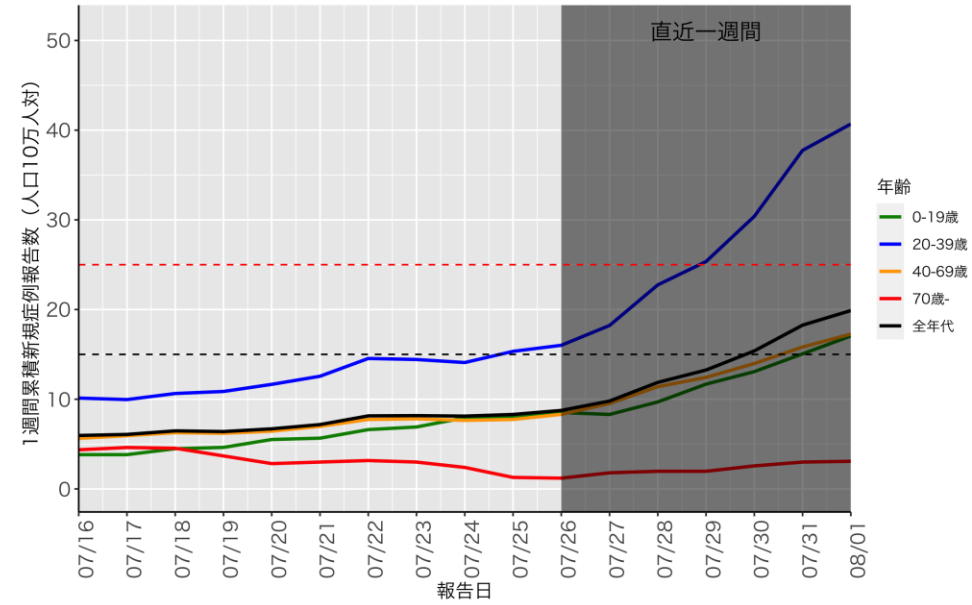
千葉 (自治体公開情報)



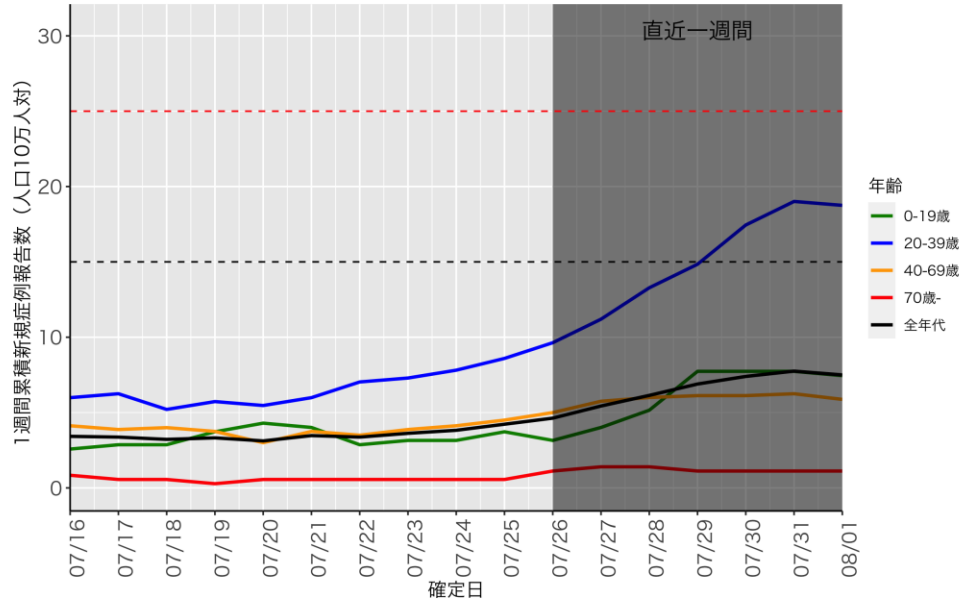
愛知 (HER-SYS)



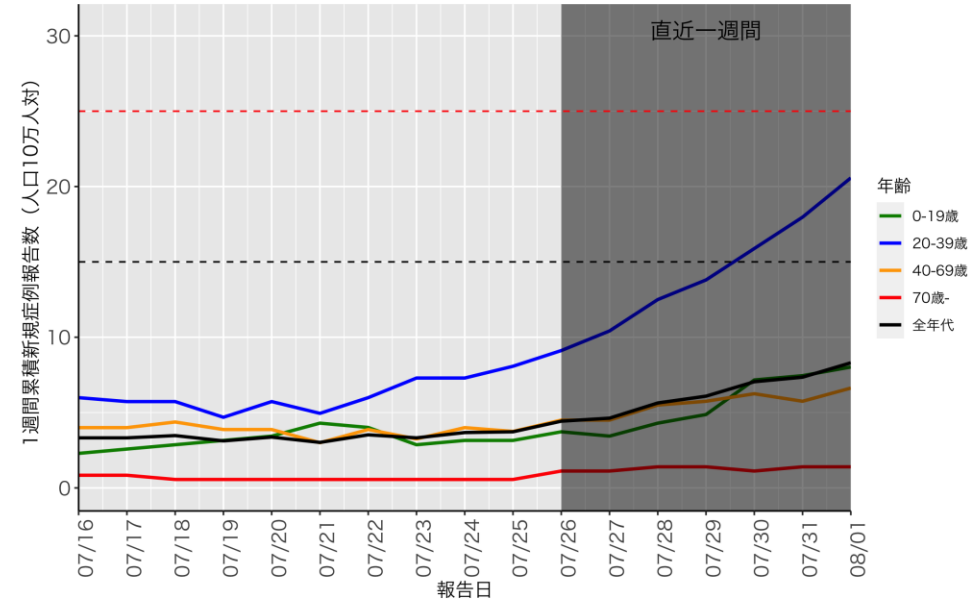
愛知 (自治体公開情報)



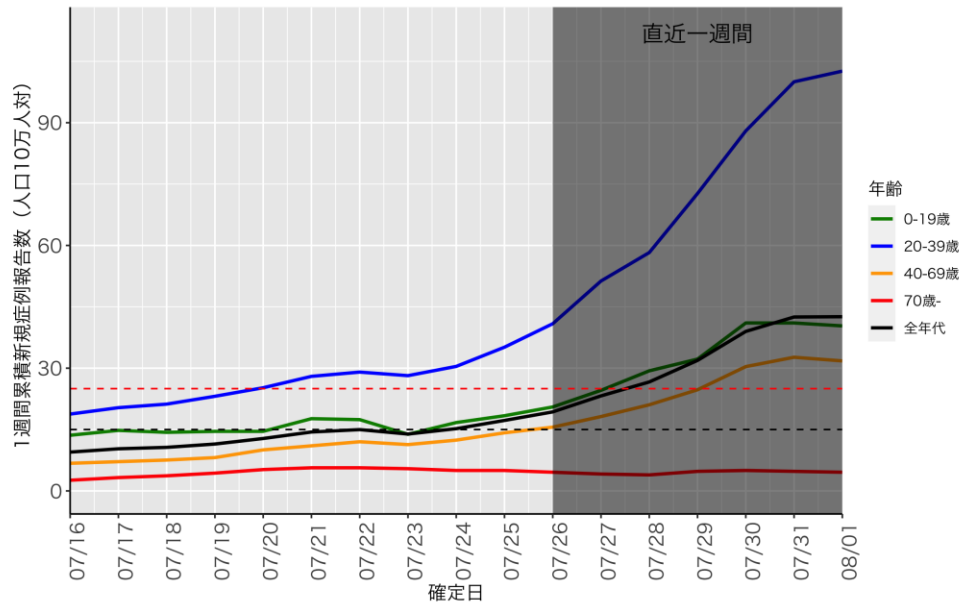
岐阜 (HER-SYS)



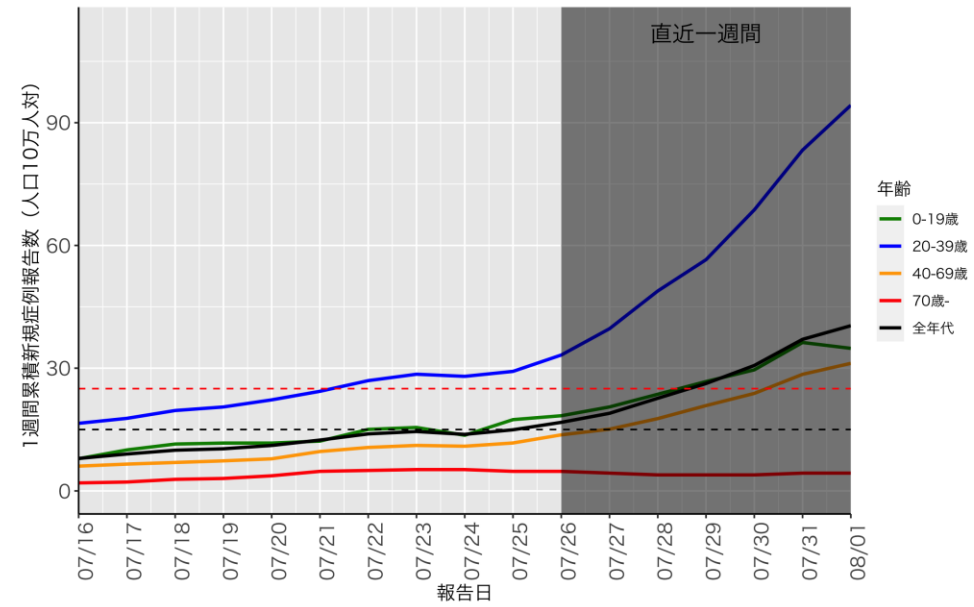
岐阜 (自治体公開情報)



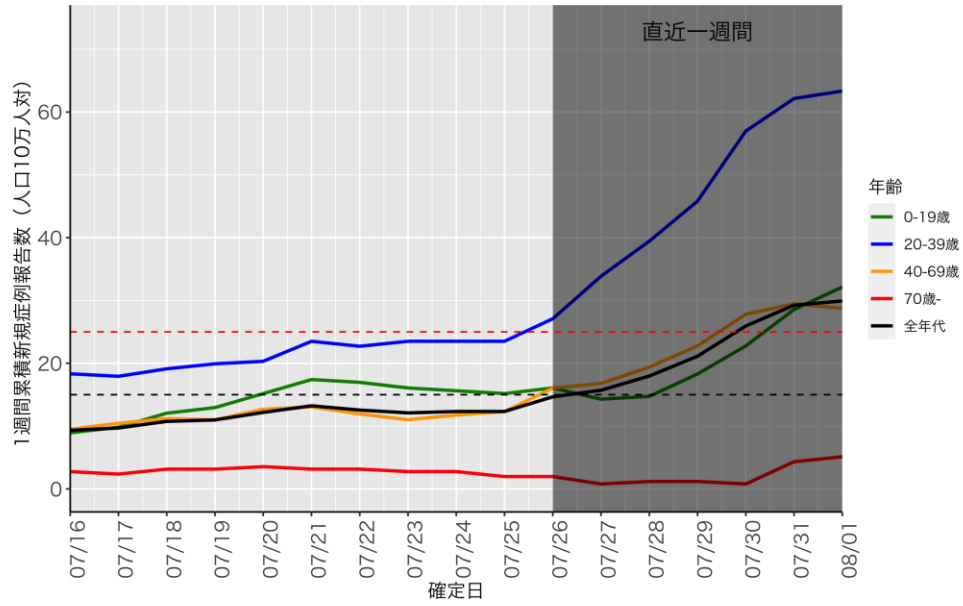
京都 (HER-SYS)



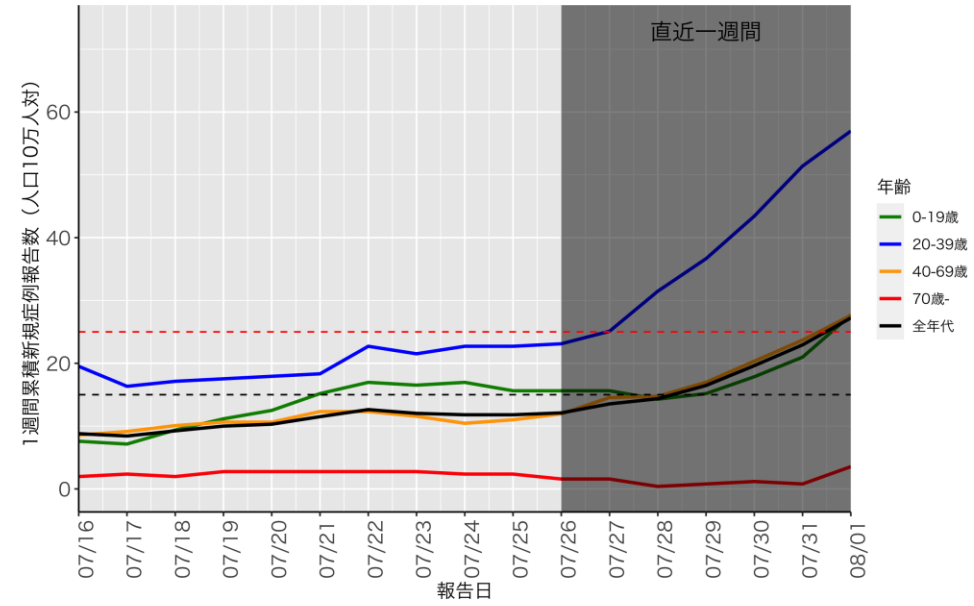
京都 (自治体公開情報)



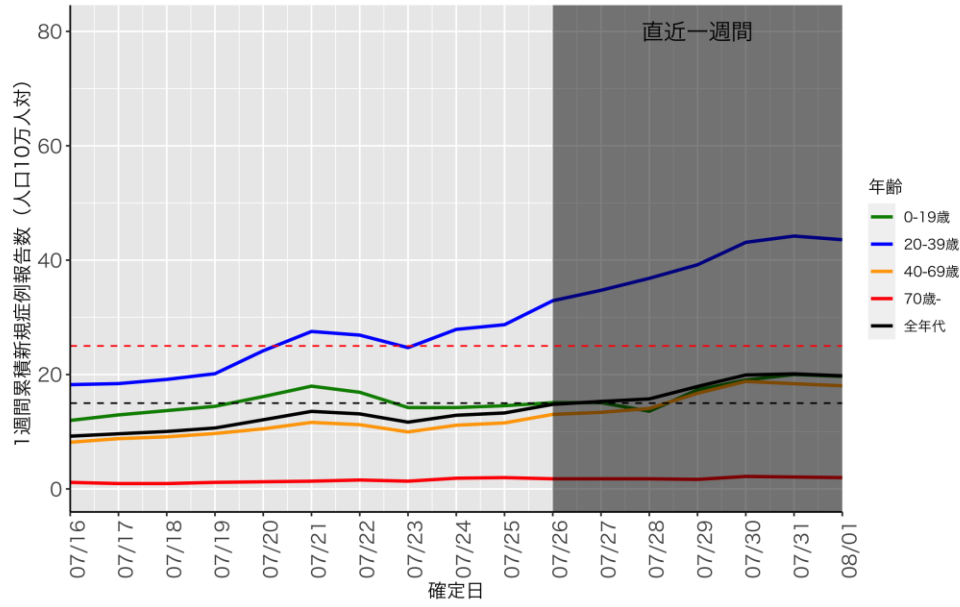
奈良 (HER-SYS)



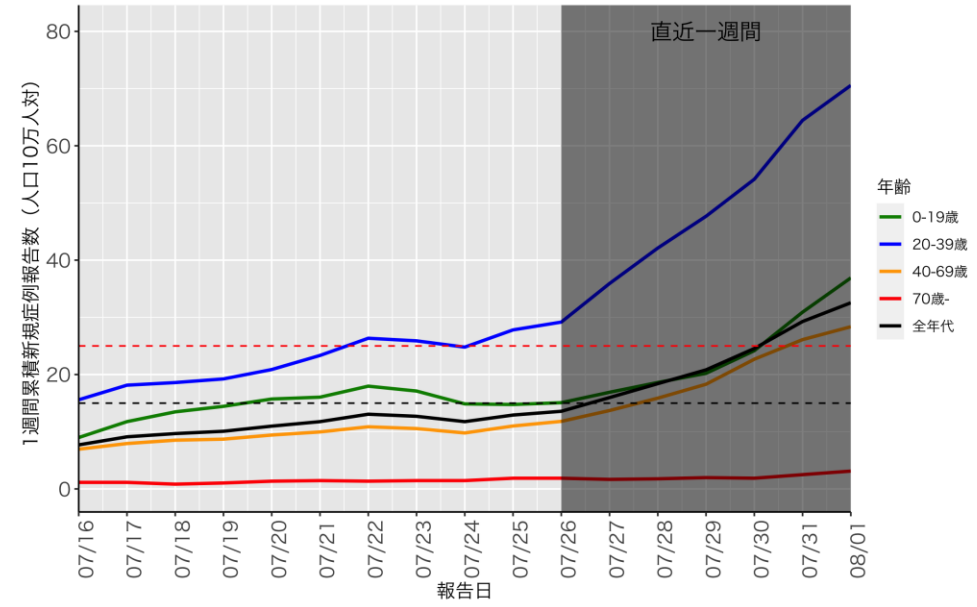
奈良 (自治体公開情報)



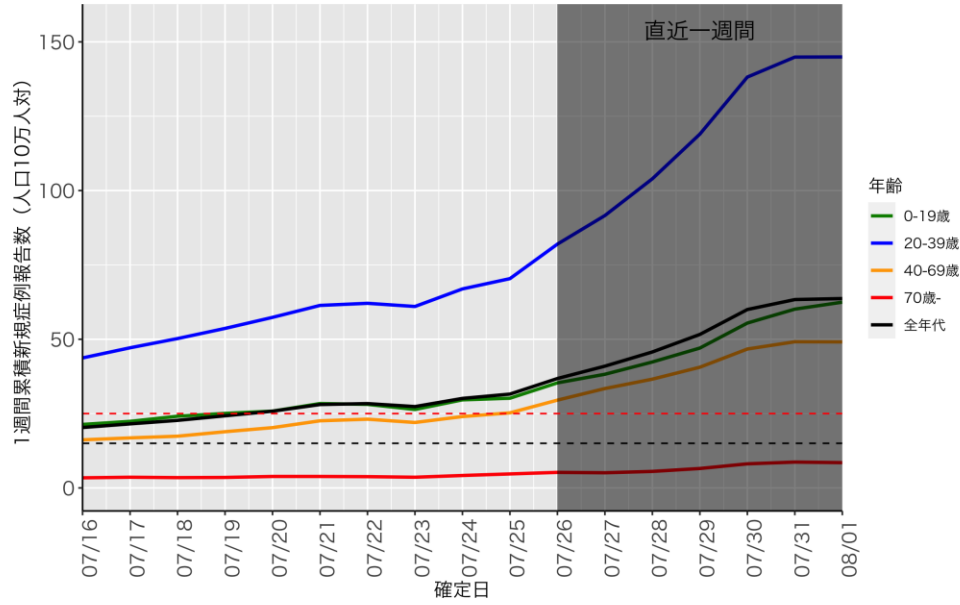
兵庫 (HER-SYS)



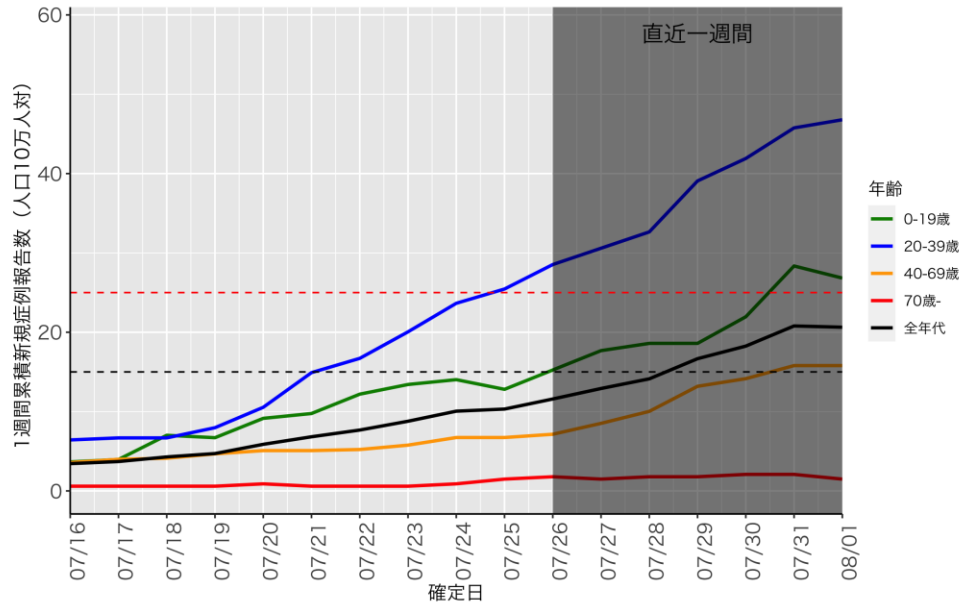
兵庫 (自治体公開情報)



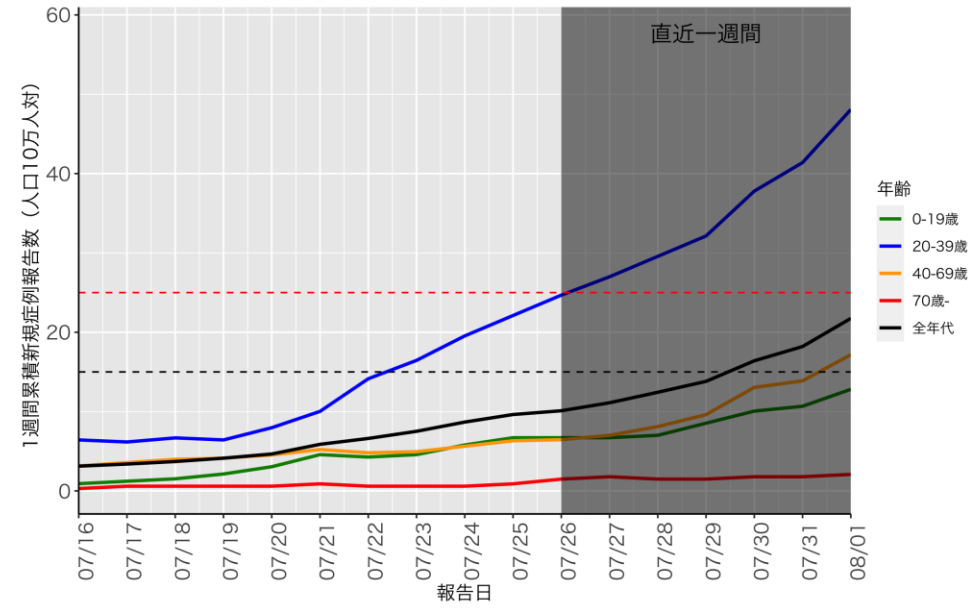
大阪 (HER-SYS)



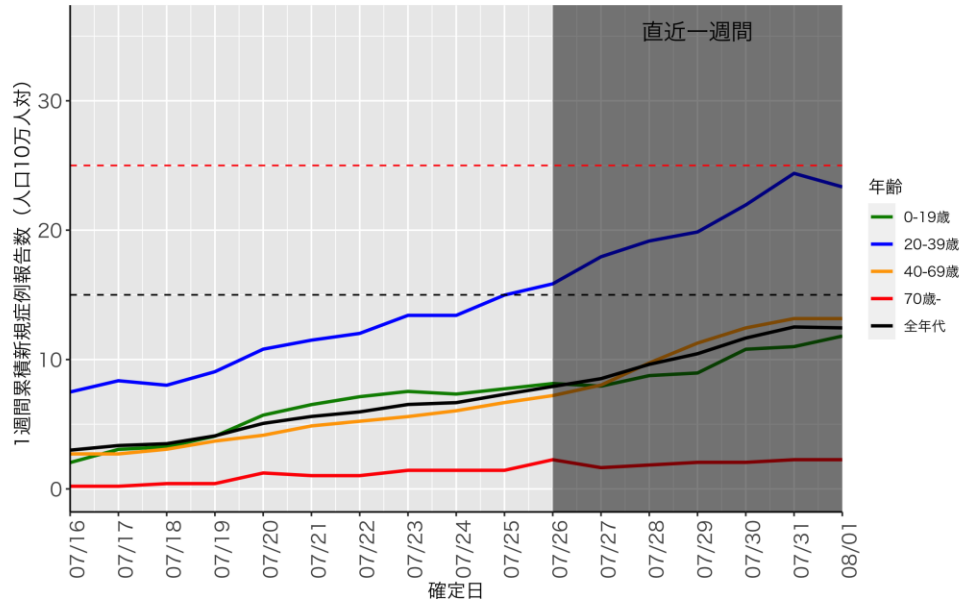
岡山 (HER-SYS)



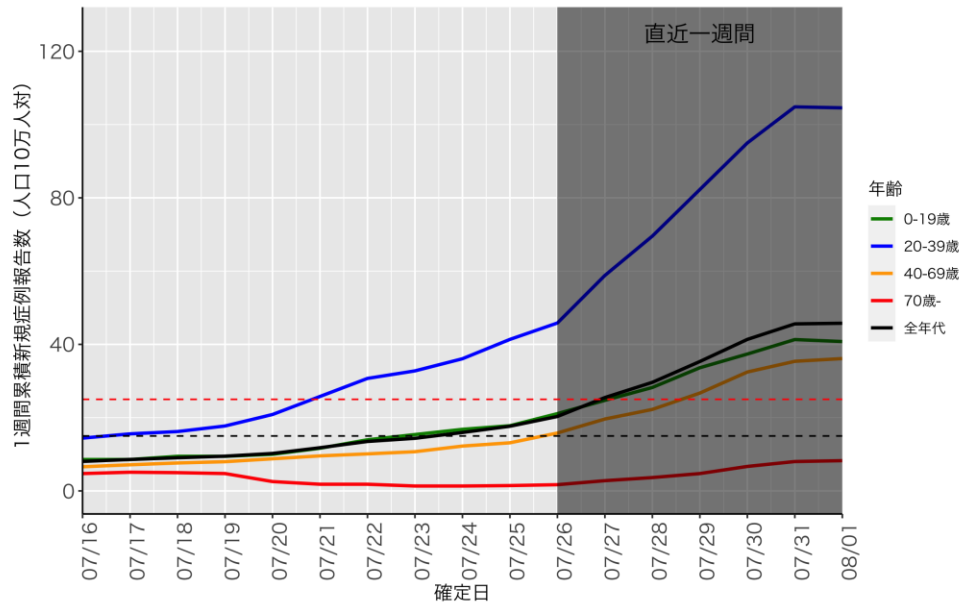
岡山 (自治体公開情報)



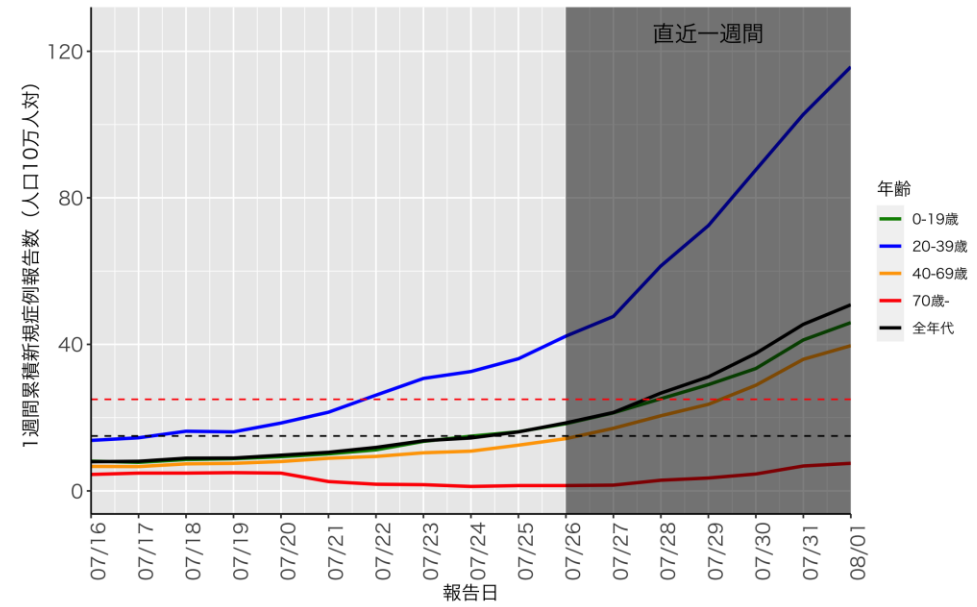
広島 (HER-SYS)



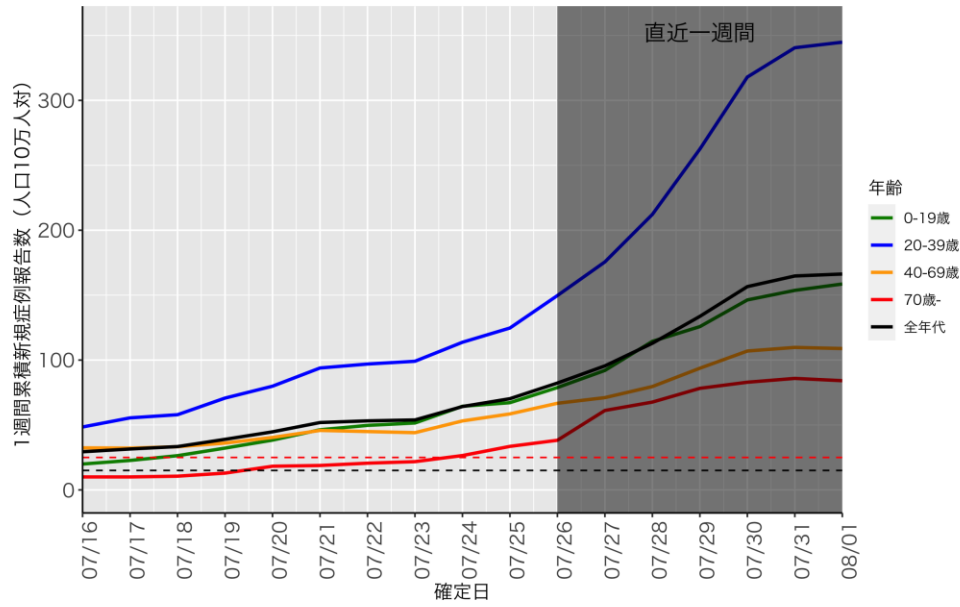
福岡 (HER-SYS)



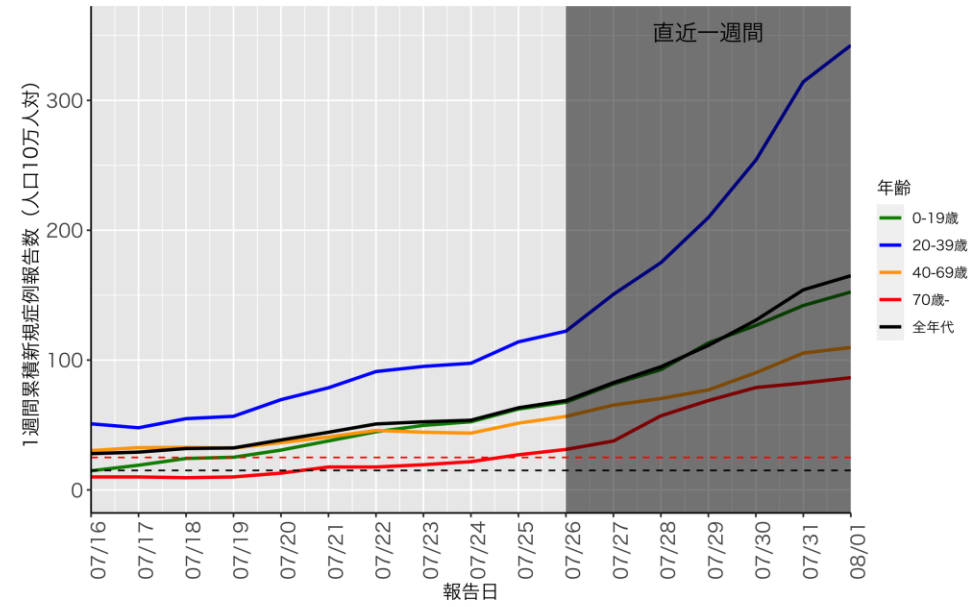
福岡 (自治体公開情報)



沖縄 (HER-SYS)



沖縄 (自治体公開情報)



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ

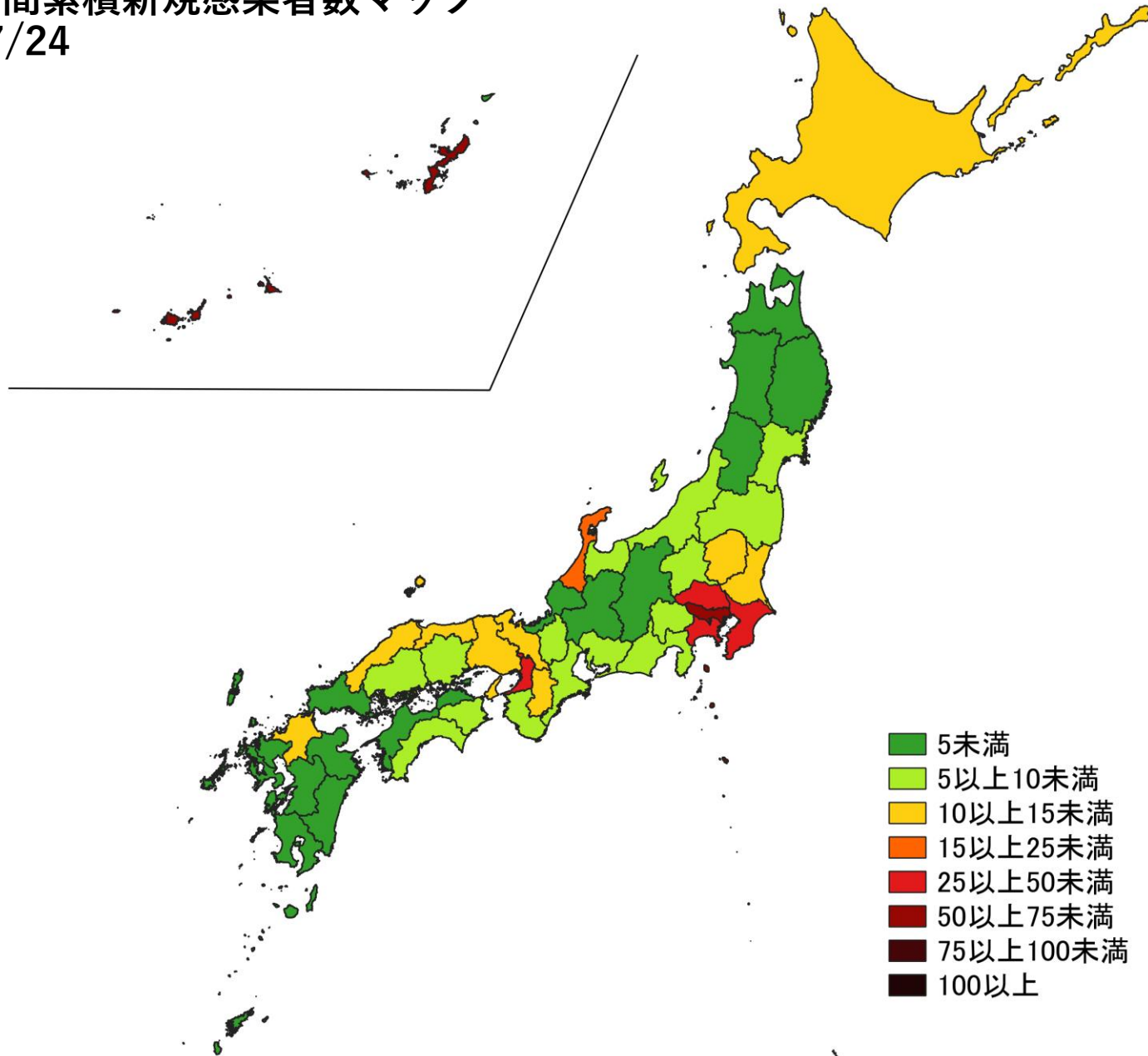
使用データ

- 2021年8月2日時点（8月1日公表分まで）の自治体公開情報を用いて、直近1週間（7/25～7/31）、1週間前（7/18～7/24）の人口10万人あたり7日間累積新規症例報告数（報告日）を都道府県別に図示した。
- 同様に、2021年8月2日時点のHER-SYSデータを用いて保健所管区別の分析（診断日）を行った。
- 集計は日曜日から土曜日であり、疫学週（月曜日から日曜日）とは異なる。
- **データ入力や公表の遅れを考慮し、直近1週間は参考資料とする。**

まとめ

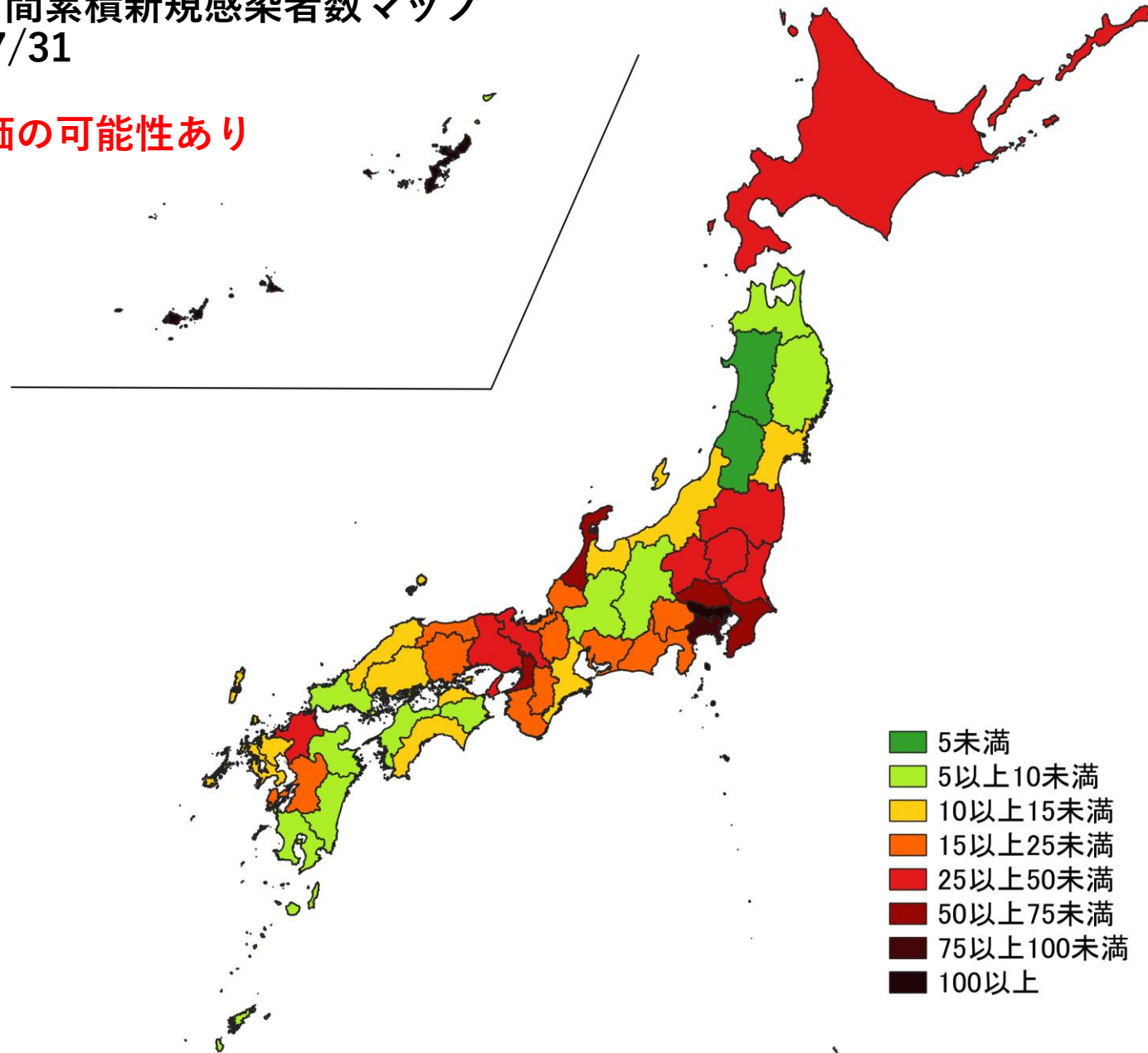
- 直近では、北海道、福島、栃木、茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、石川、京都、大阪、兵庫、福岡、沖縄がステージ4相当、山梨、静岡、愛知、福井、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、岡山、熊本がステージ3相当。多くの都道府県でレベルの上昇がみられる。
- 保健所管区レベルでは、全国的にステージ3～4相当の地域が拡大（一部はクラスターの発生が報告されている地域）。
- 北海道では札幌市周辺以外でもステージ3～4相当の地域が拡大。
- 東北地域では仙台市や福島市、郡山市、いわき市の周辺でレベルの上昇がみられる。
- 関東地域ではほぼ全域でステージ4相当を上回り、首都圏では広範囲で人口10万対100を超える地域が大きく拡大。
- 北陸地方では石川県全域でステージ3～4相当の地域が拡大し、周辺地域のレベルも上昇。
- 中京圏はレベルが大きく上昇し、名古屋市はステージ4相当、周辺地域はステージ3相当。
- 関西圏ではステージ4相当の地域が大きく拡大。大阪市は人口10万対100を超えるレベル。
- 中国・四国地域は全体のレベルが上昇し、ステージ3～4相当の地域が増加。
- 九州地域は全体のレベルが上昇し、福岡市周辺と熊本市周辺ではステージ4相当の地域が拡大。
- 沖縄は離島も含む全域がステージ4相当となり、本島は人口10万対100を超えるレベル。

人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ
 都道府県単位 7/18~7/24
 (自治体公開情報)



人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ
 都道府県単位 7/25~7/31
 (自治体公開情報)

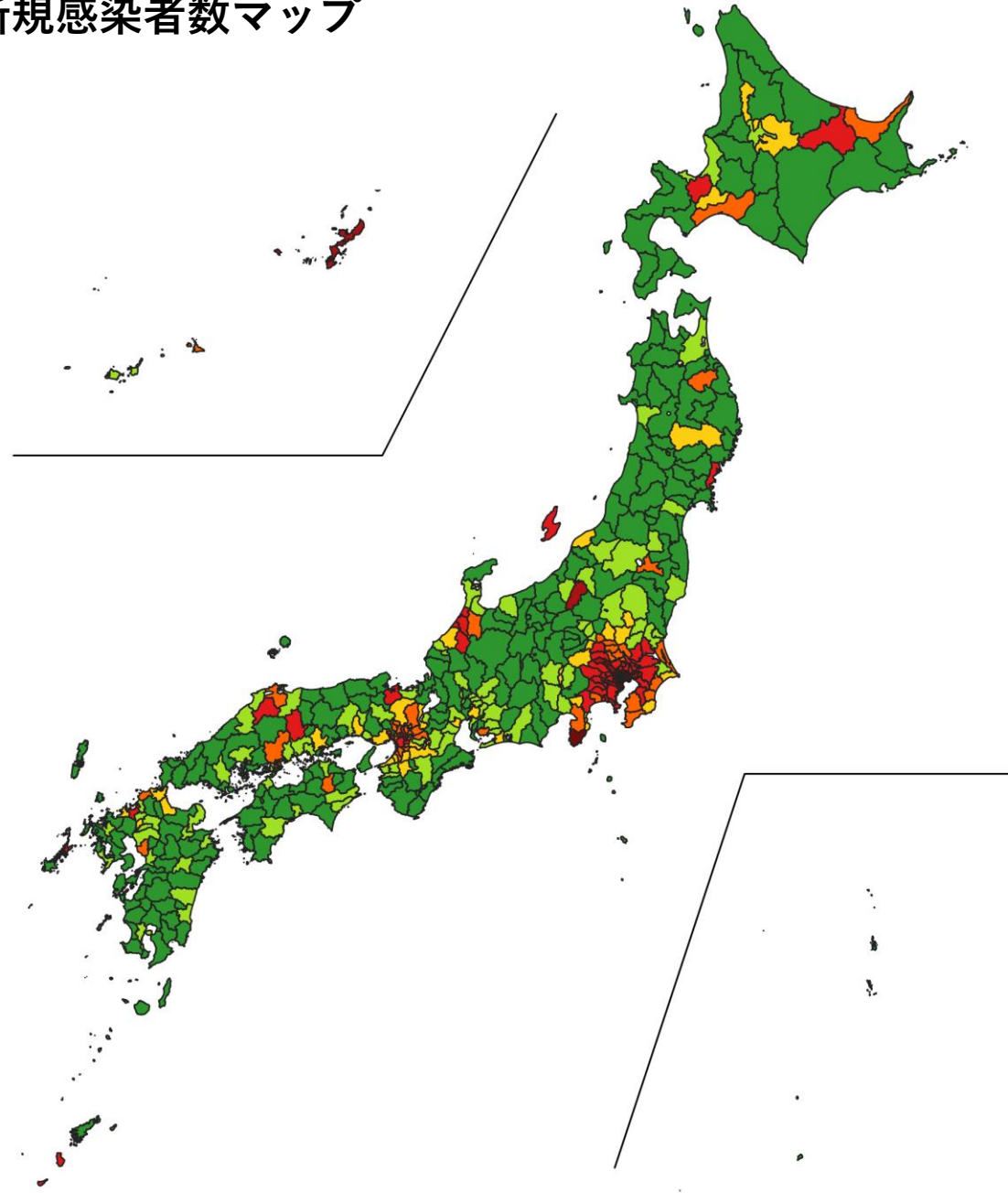
公表遅れによる過小評価の可能性あり



人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ

都道府県単位 7/18~7/24

(自治体公開情報)



ステージ4相当の保健所管区*

- 宮城県気仙沼保健所
- 茨城県土浦保健所
- 茨城県竜ヶ崎保健所
- 茨城県つくば保健所
- 新潟県佐渡保健所
- 新潟県南魚沼保健所
- 静岡県賀茂保健所
- 島根県雲南保健所
- 岡山県備北保健所
- 長崎県上五島保健所
- 鹿児島県徳之島保健所



*現在の緊急事態宣言・まん延防止等重点措置対象都道府県を除く

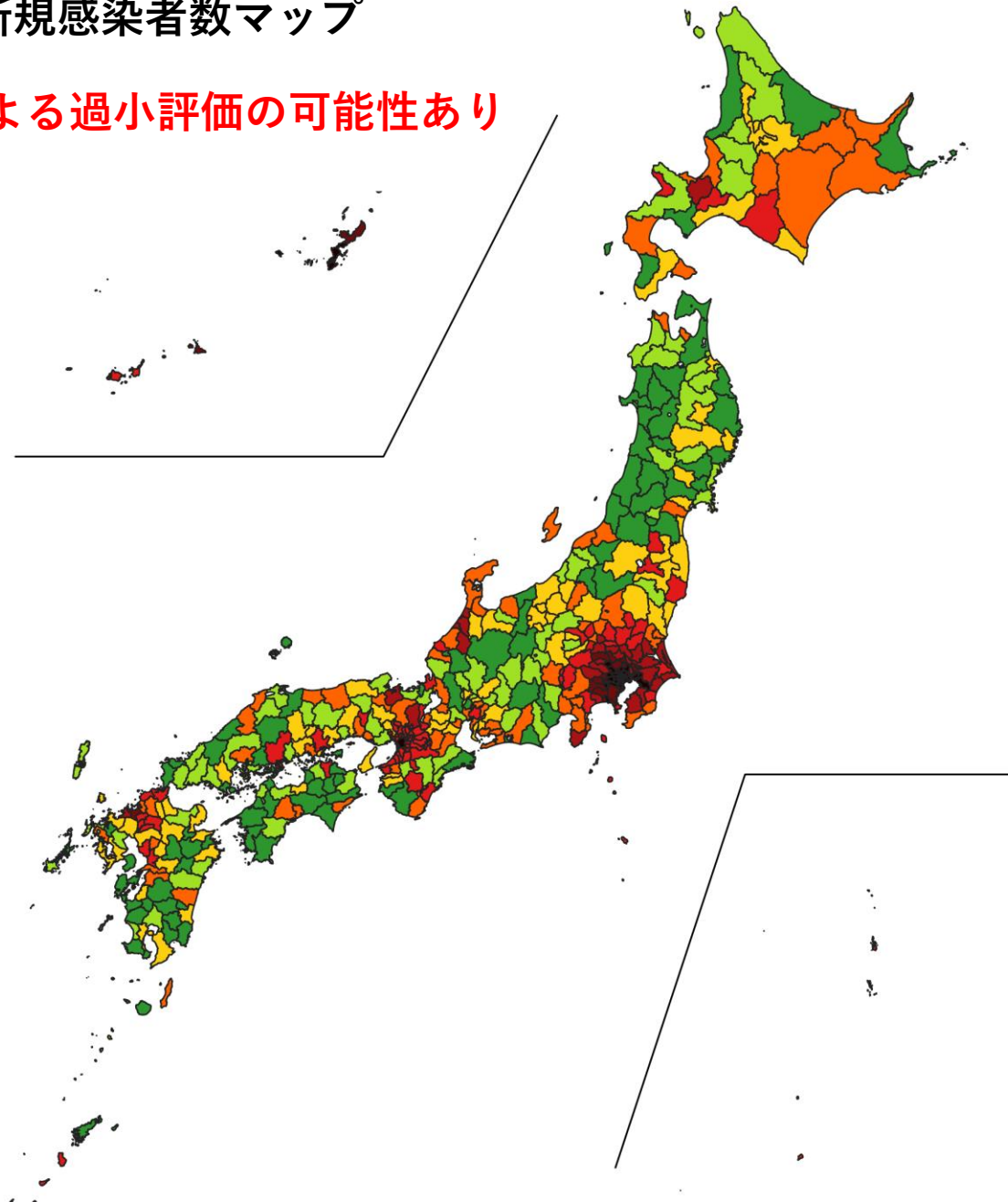
人口10万人あたりの7日間累積新規感染者数マップ

都道府県単位 7/25~7/31

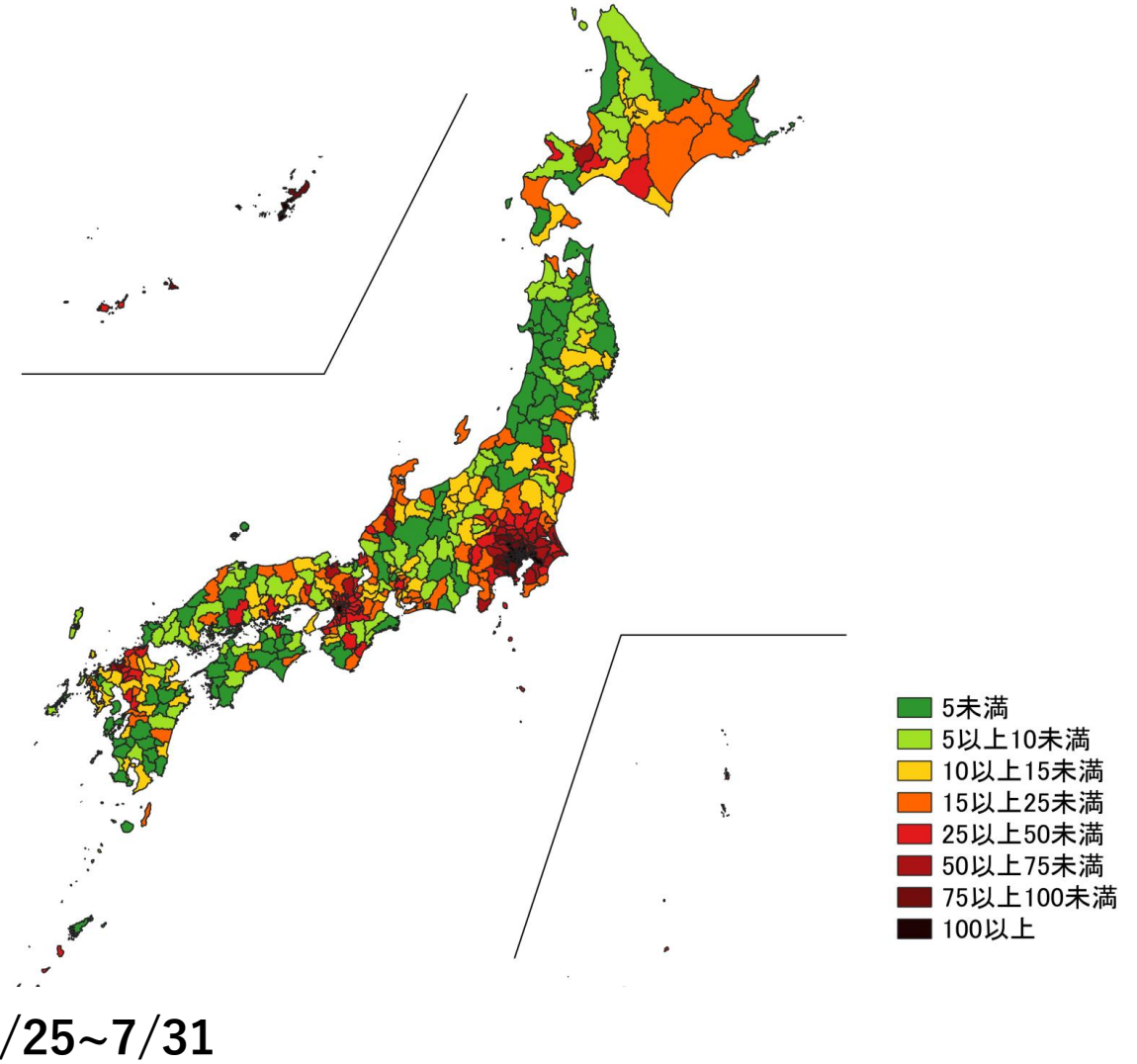
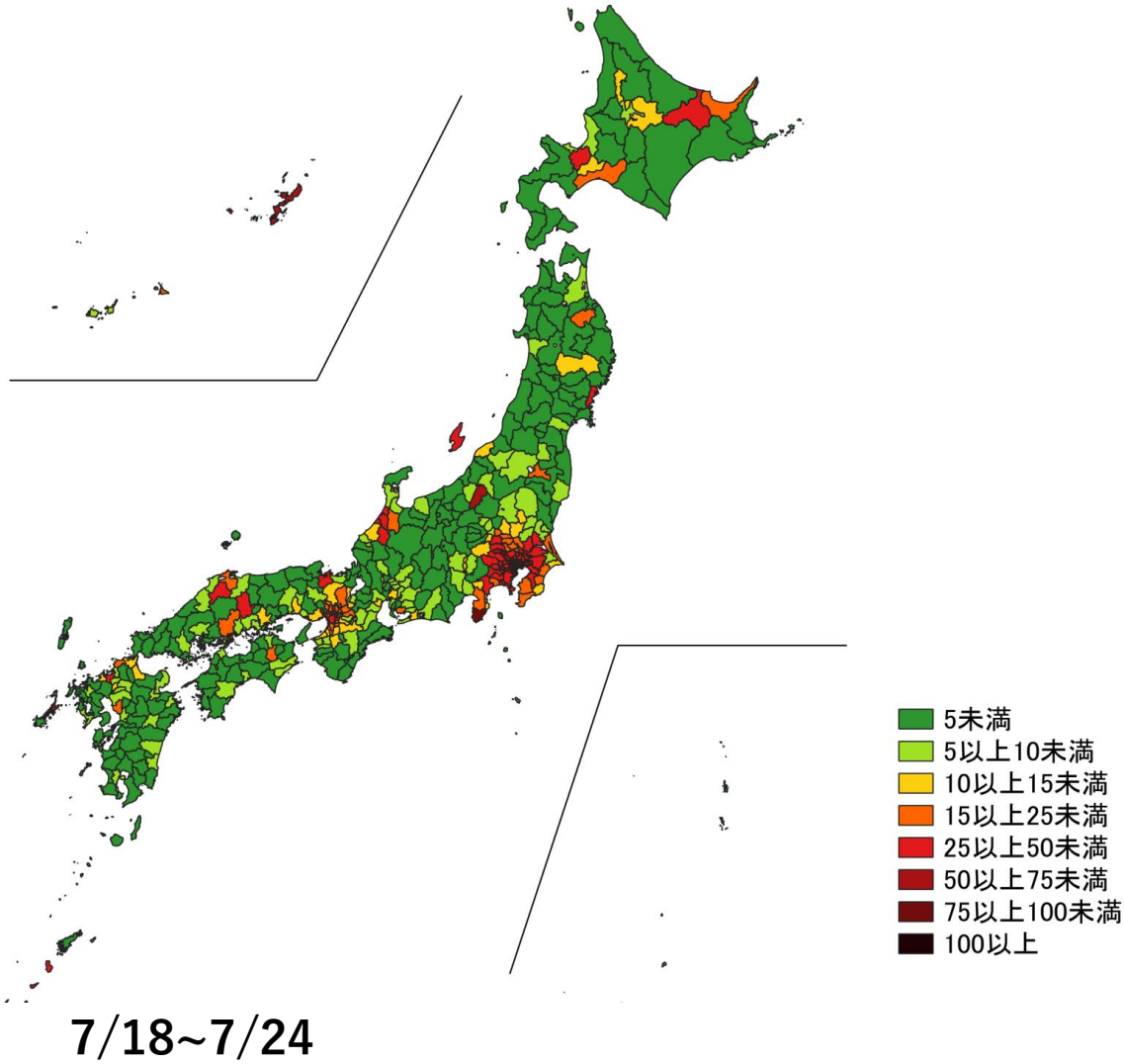
(自治体公開情報) 公表遅れによる過小評価の可能性あり

ステージ4相当の保健所管区*

- ・ 福島県福島市保健所
- ・ 福島県郡山市保健所
- ・ 福島県いわき市保健所
- ・ 茨城県土浦保健所
- ・ 茨城県古河保健所
- ・ 茨城県筑西保健所
- ・ 茨城県竜ヶ崎保健所
- ・ 茨城県つくば保健所
- ・ 茨城県潮来保健所
- ・ 栃木県宇都宮市保健所
- ・ 栃木県安足保健所
- ・ 栃木県県南保健所
- ・ 栃木県県東保健所
- ・ 群馬県前橋市保健所
- ・ 群馬県高崎市保健所
- ・ 群馬県太田保健所
- ・ 群馬県館林保健所
- ・ 福井県二州保健所
- ・ 福井県坂井保健所
- ・ 山梨県甲府市保健所
- ・ 山梨県峡東保健所
- ・ 静岡県賀茂保健所
- ・ 愛知県名古屋市
- ・ 愛知県清須保健所
- ・ 三重県熊野保健所
- ・ 滋賀県大津市保健所
- ・ 奈良県奈良市保健所
- ・ 奈良県中和保健所
- ・ 奈良県郡山保健所
- ・ 奈良県内吉野保健所
- ・ 和歌山県和歌山市保健所
- ・ 岡山県岡山市
- ・ 広島県東部保健所
- ・ 香川県高松市保健所
- ・ 佐賀県鳥栖保健福祉事務所
- ・ 熊本県熊本市
- ・ 熊本県有明保健所
- ・ 鹿児島県徳之島保健所

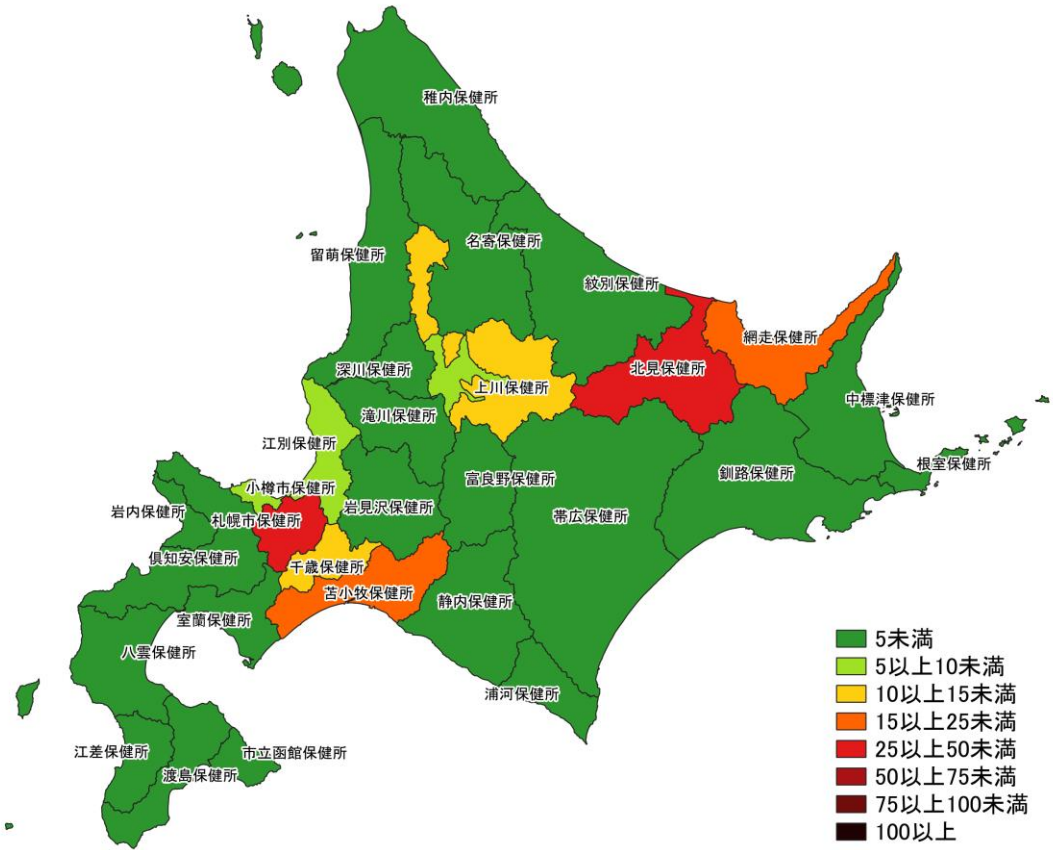


*現在の緊急事態宣言・まん延防止等重点措置対象都道府県を除く

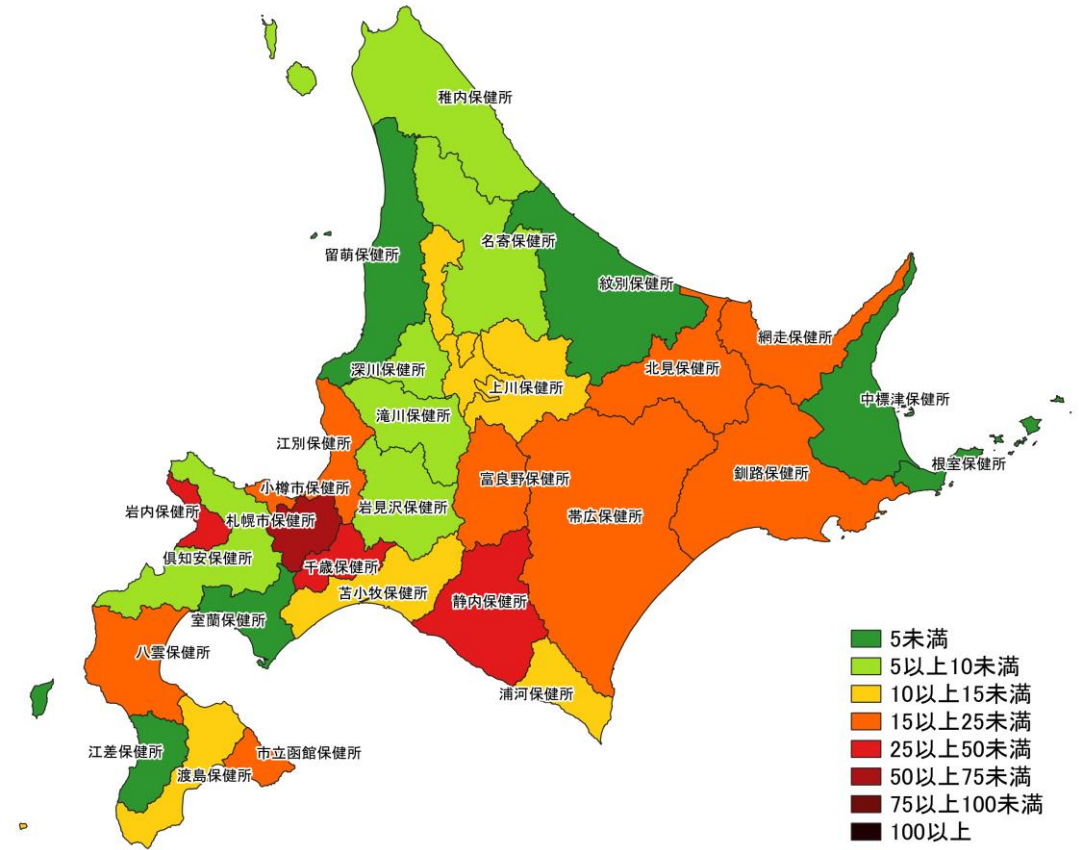


入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
保健所単位 (HER-SYS情報)



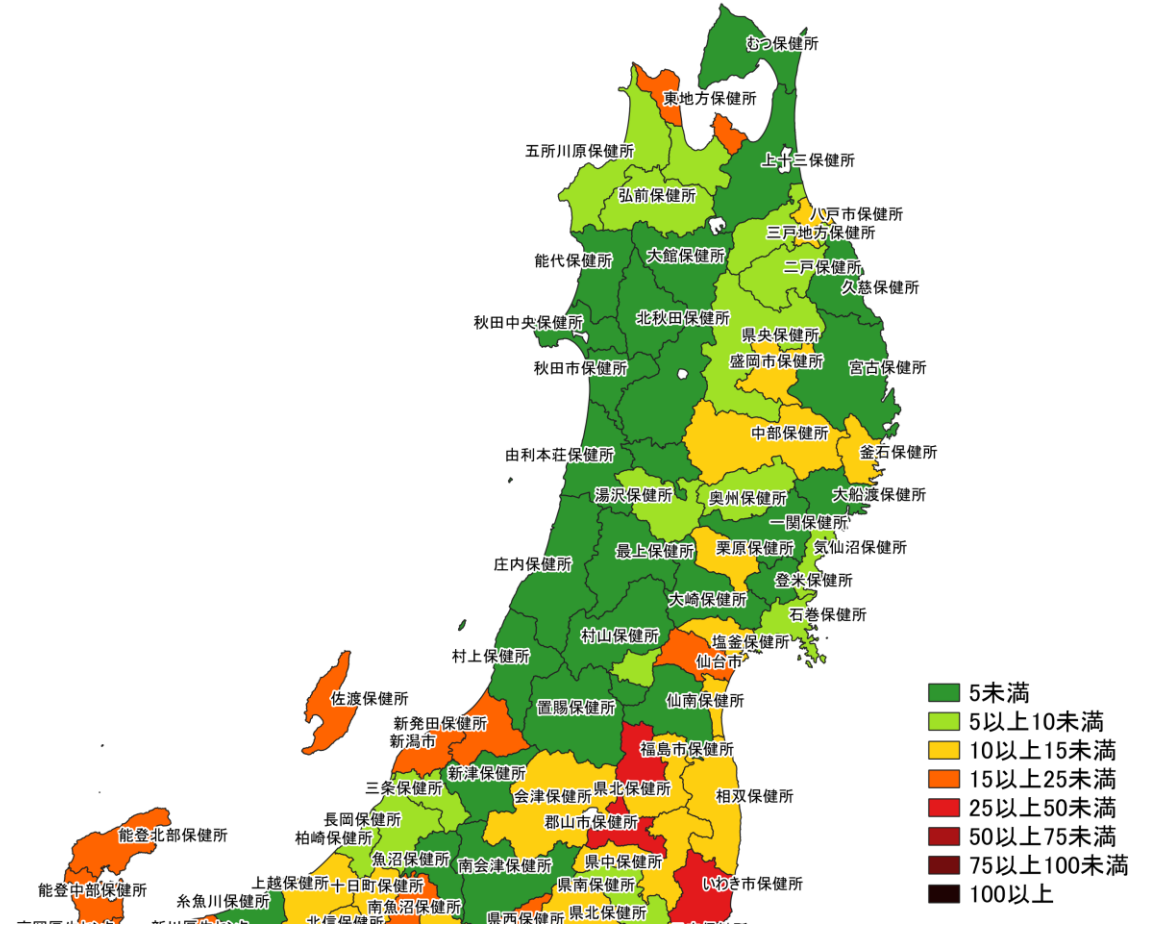
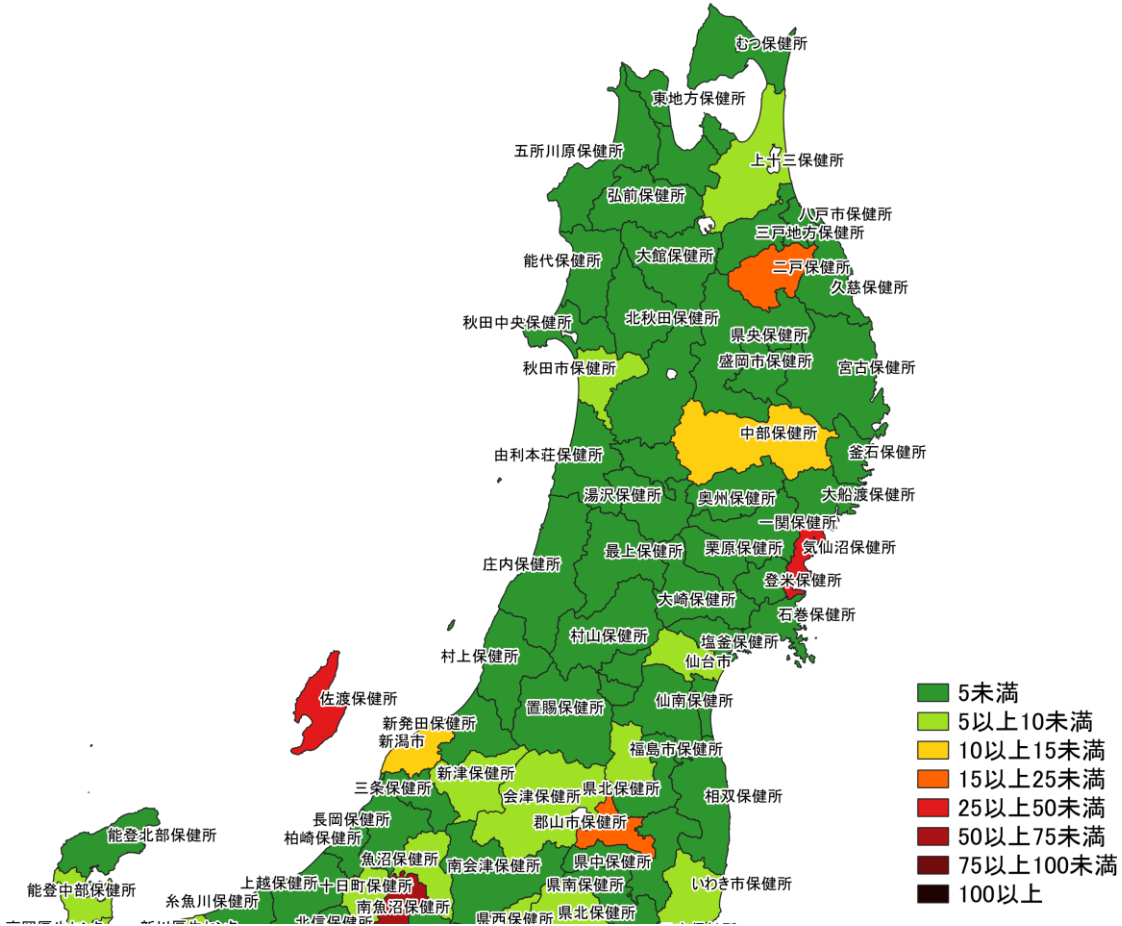
7/18~7/24



7/25~7/31

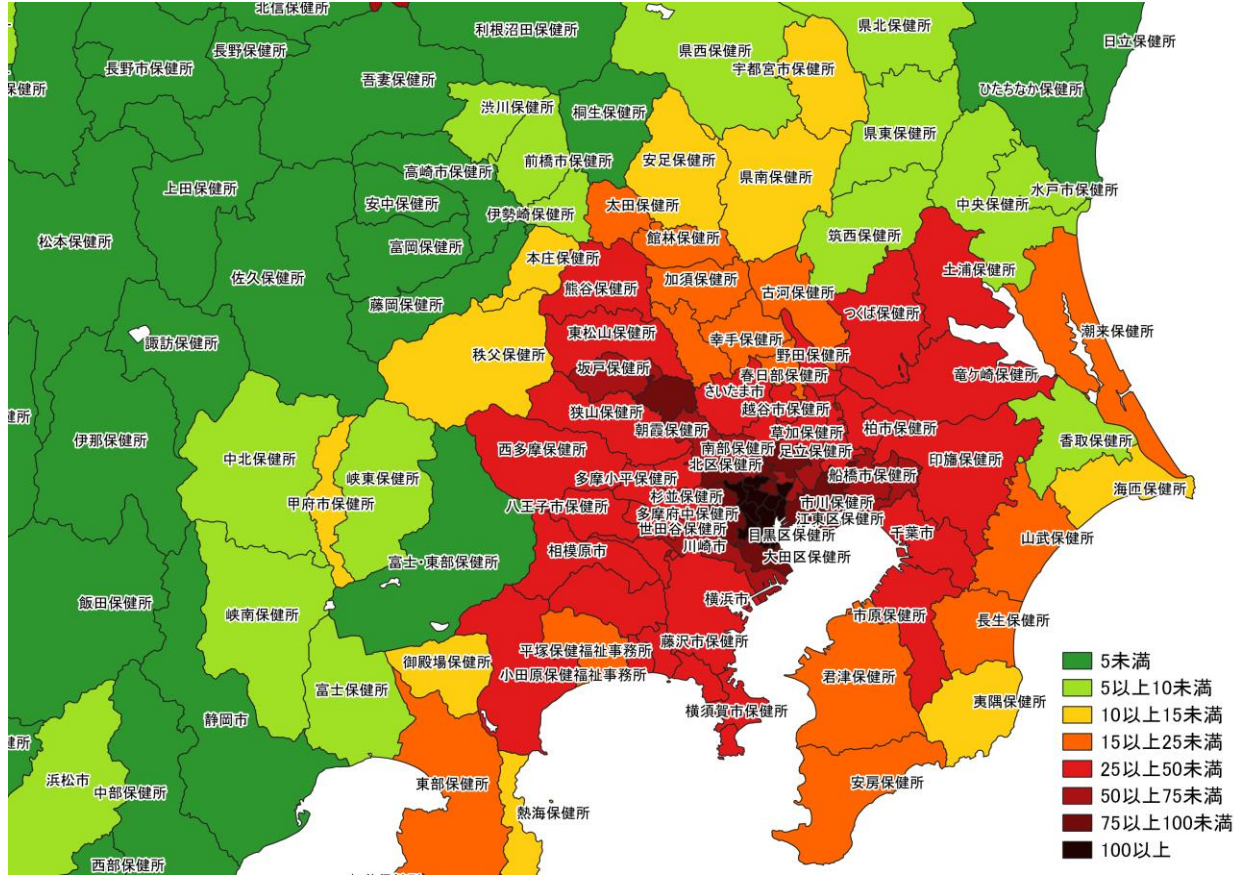
入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
北海道 (HER-SYS情報)

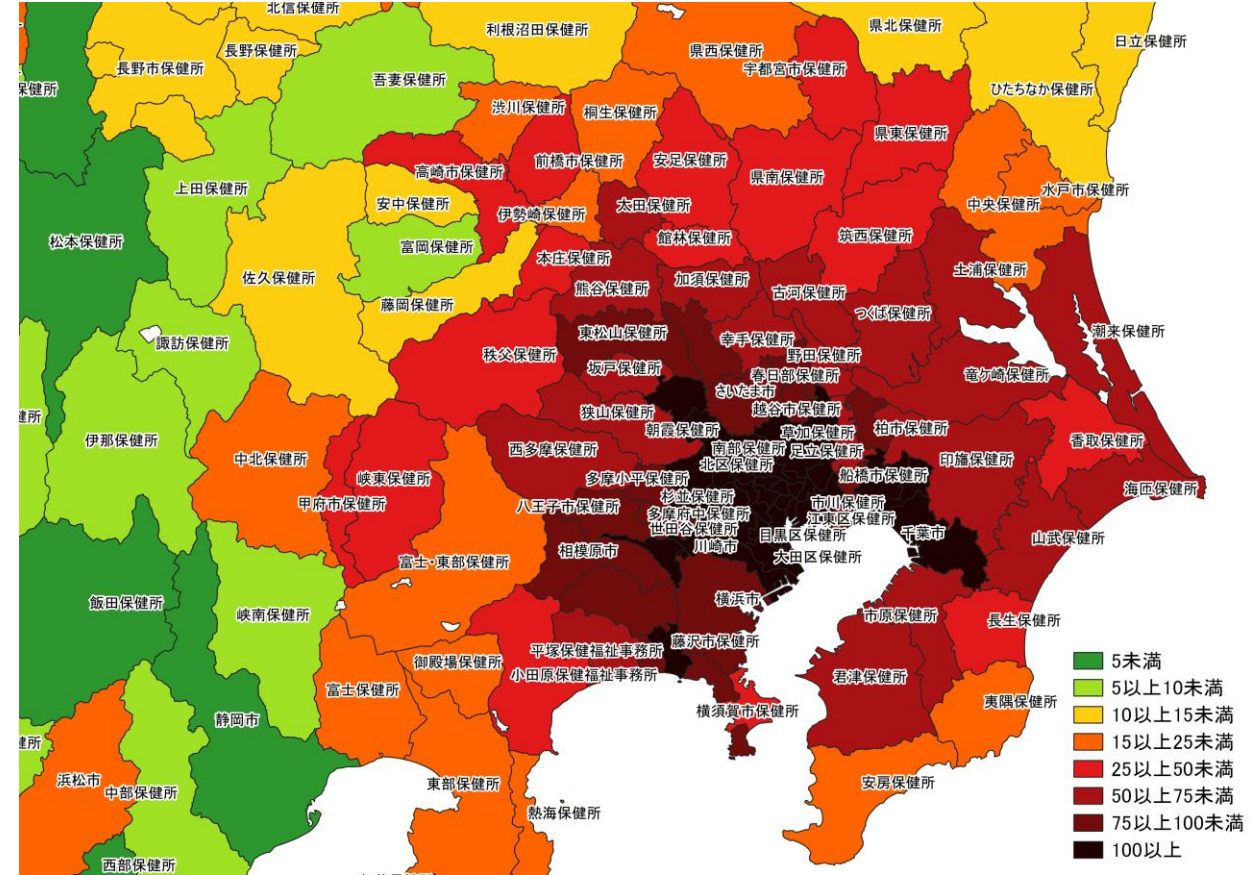


入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
東北地域（HER-SYS情報）



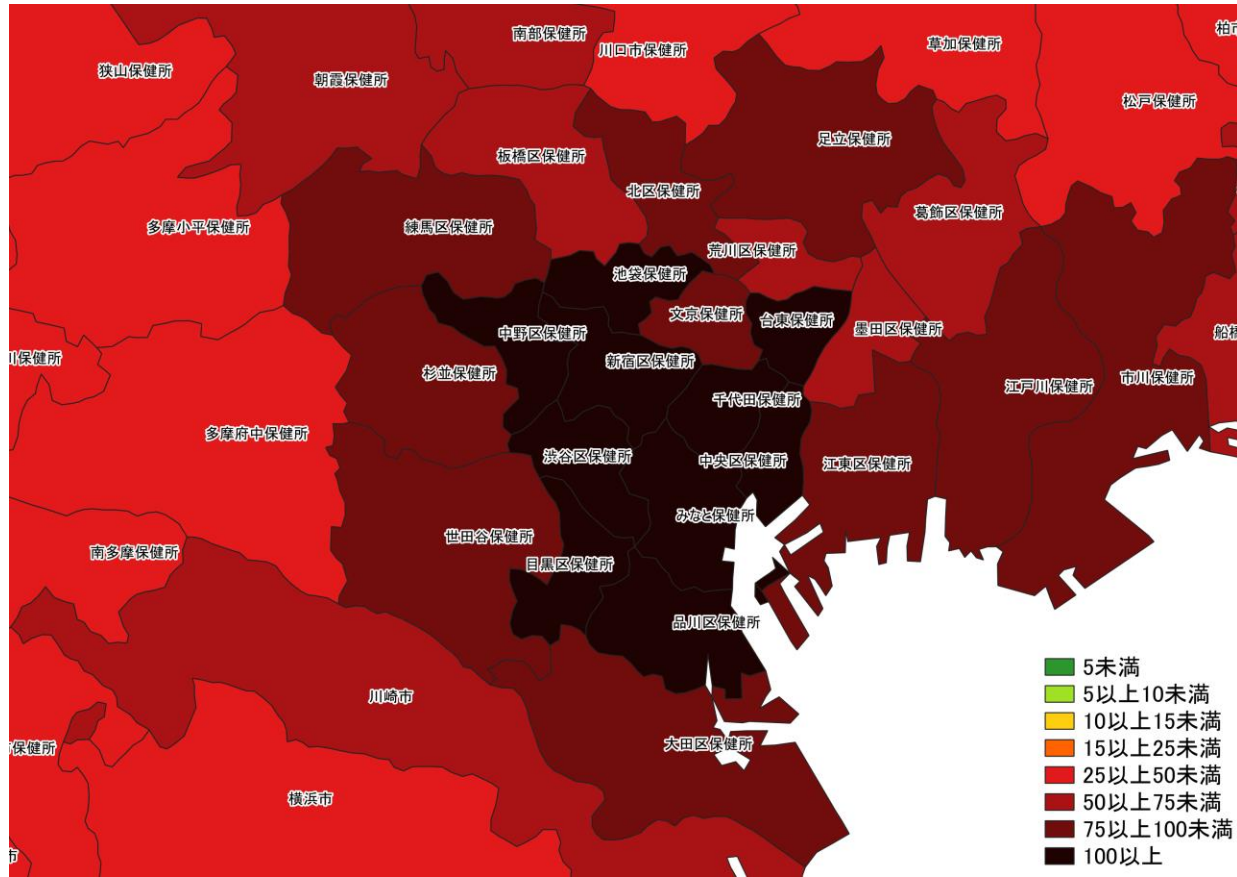
7/18~7/24



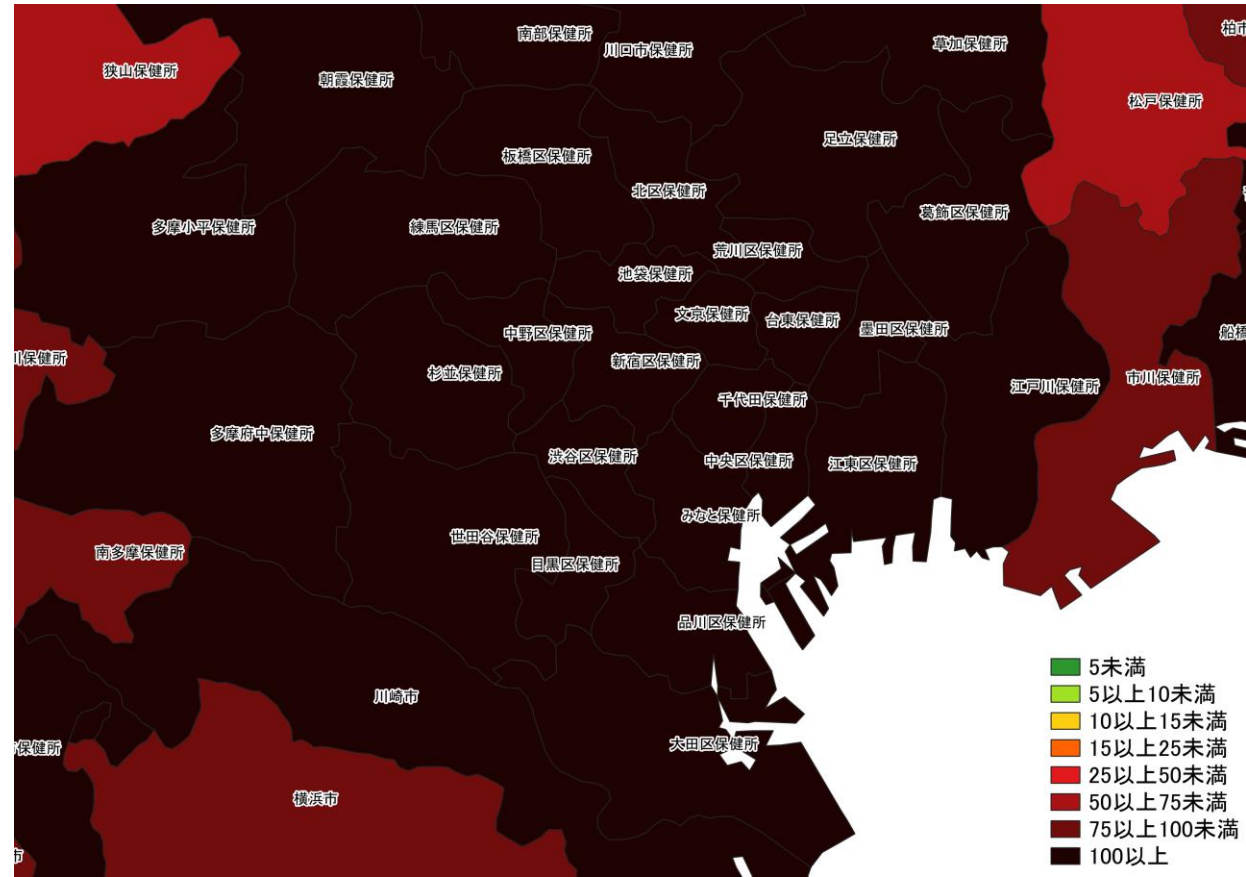
7/25~7/31

入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
首都圏（HER-SYS情報）



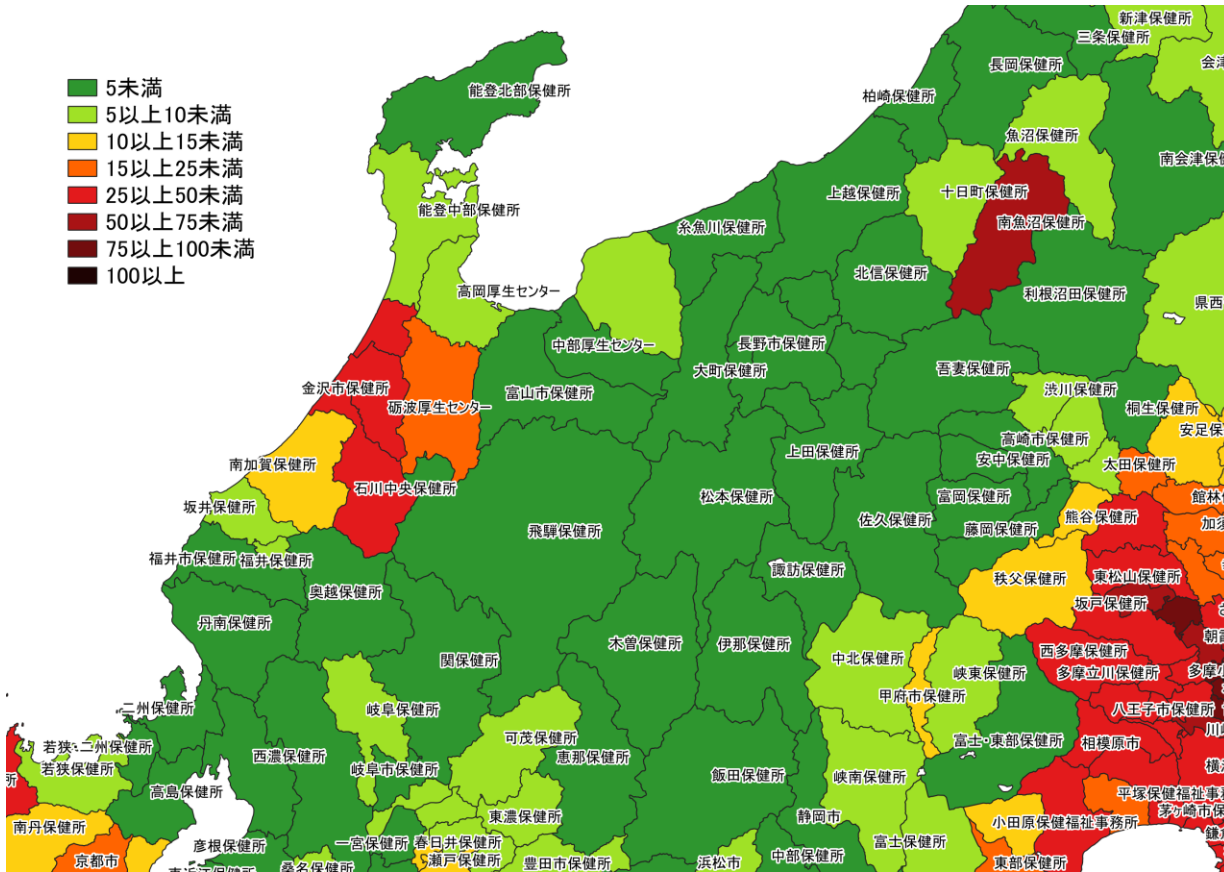
7/18~7/24



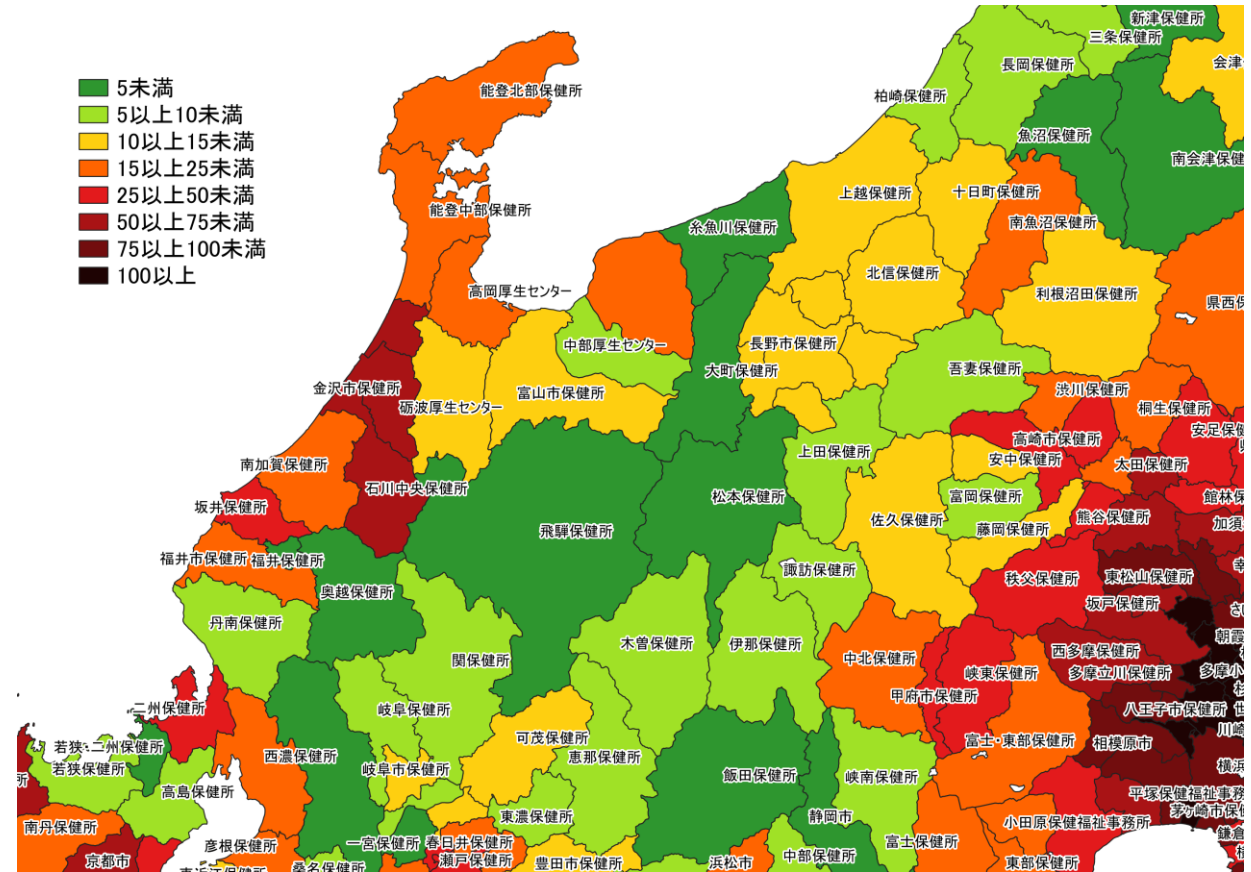
7/25~7/31

入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
東京周辺（HER-SYS情報）



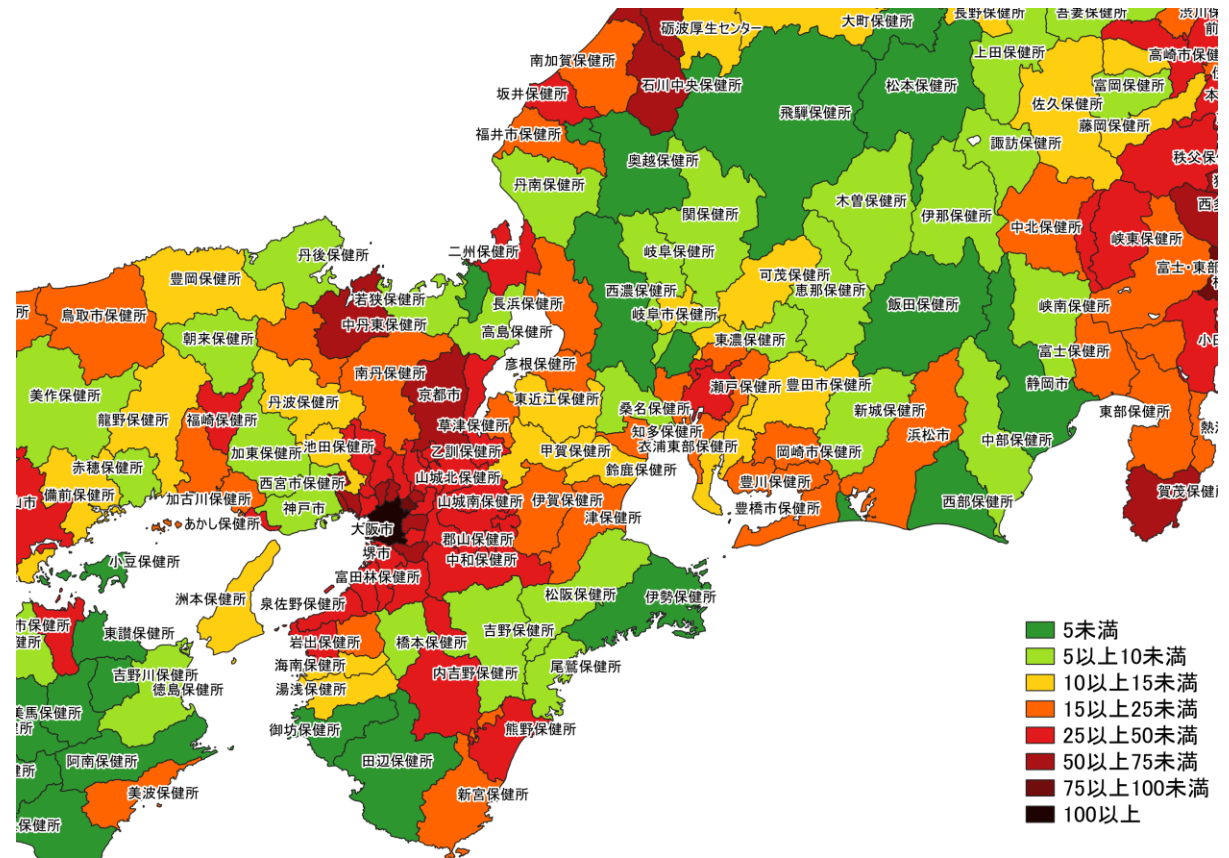
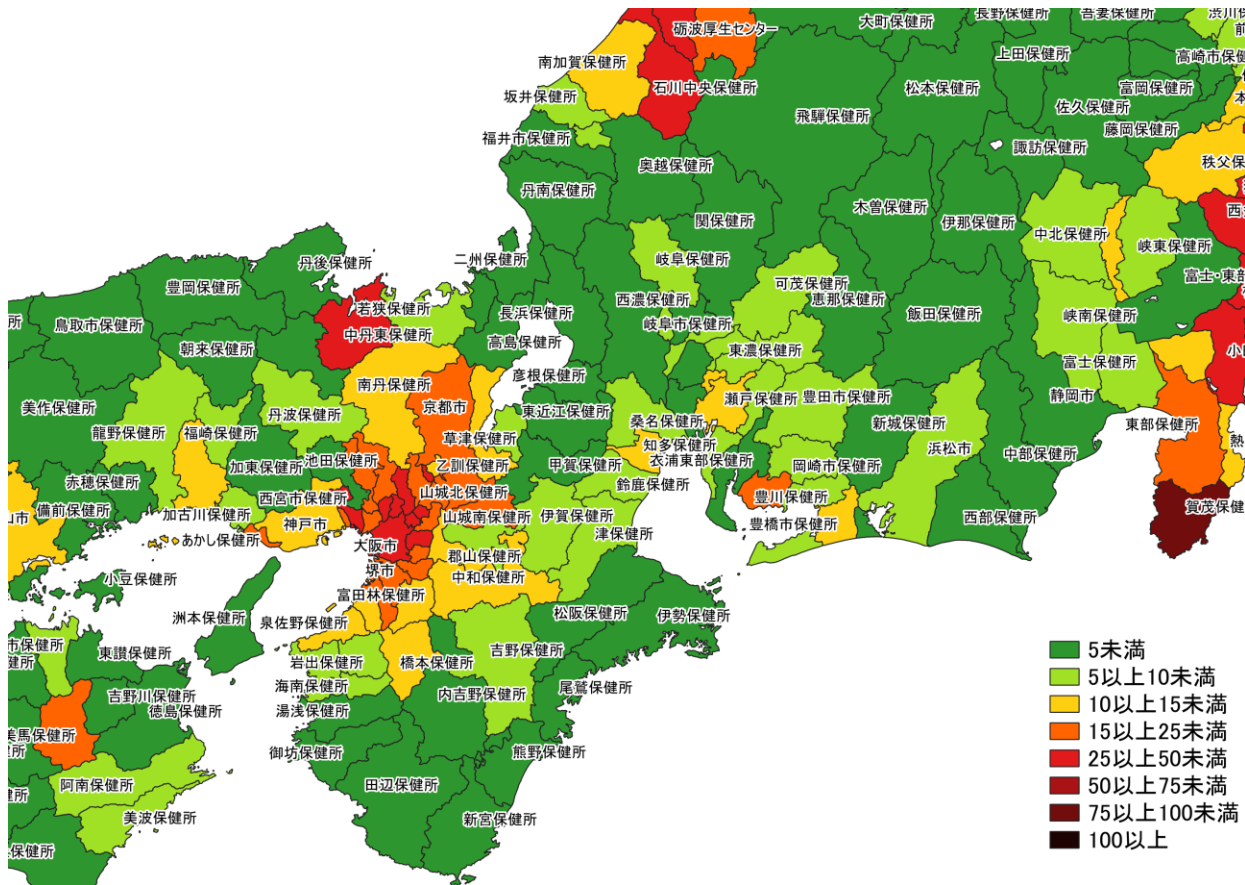
7/18~7/24



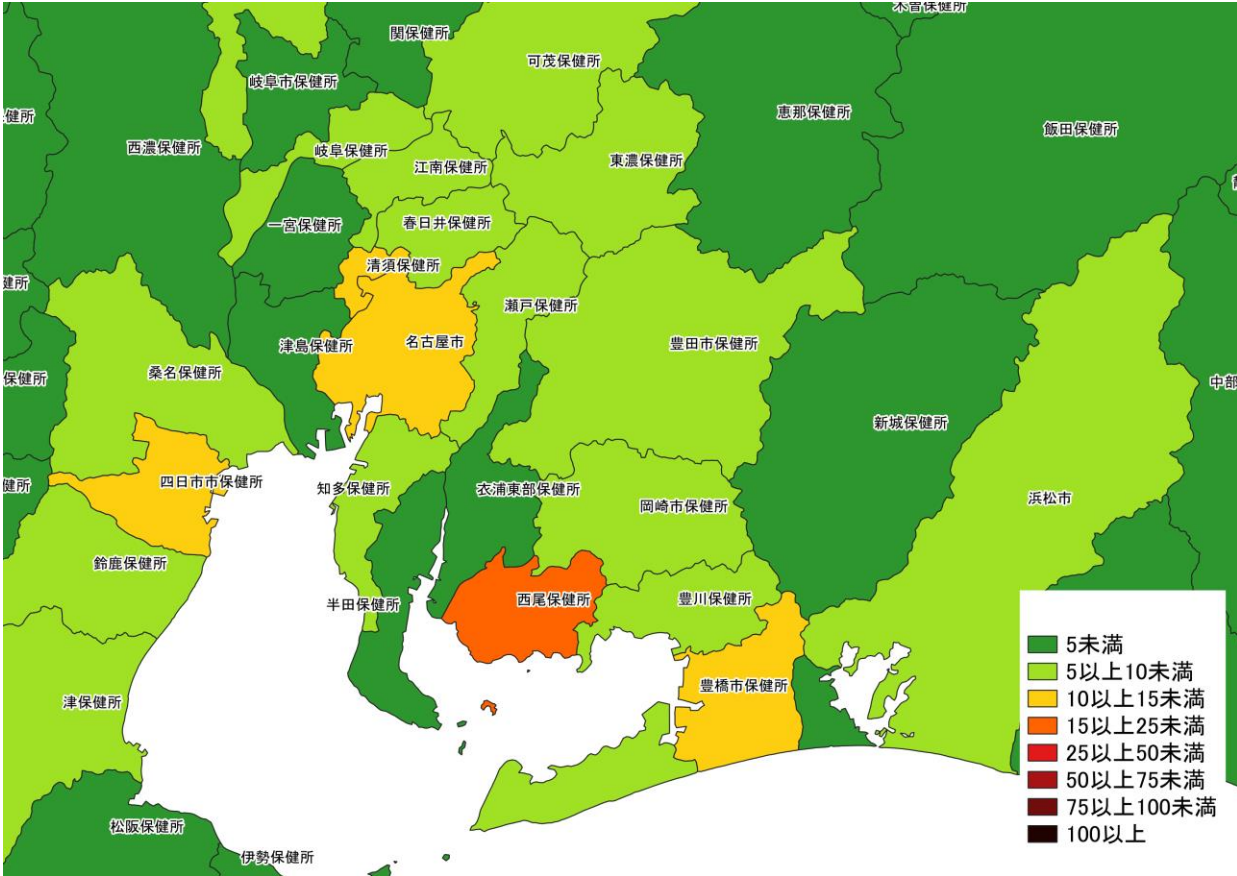
7/25~7/31

入力遅れによる過小評価の可能性あり

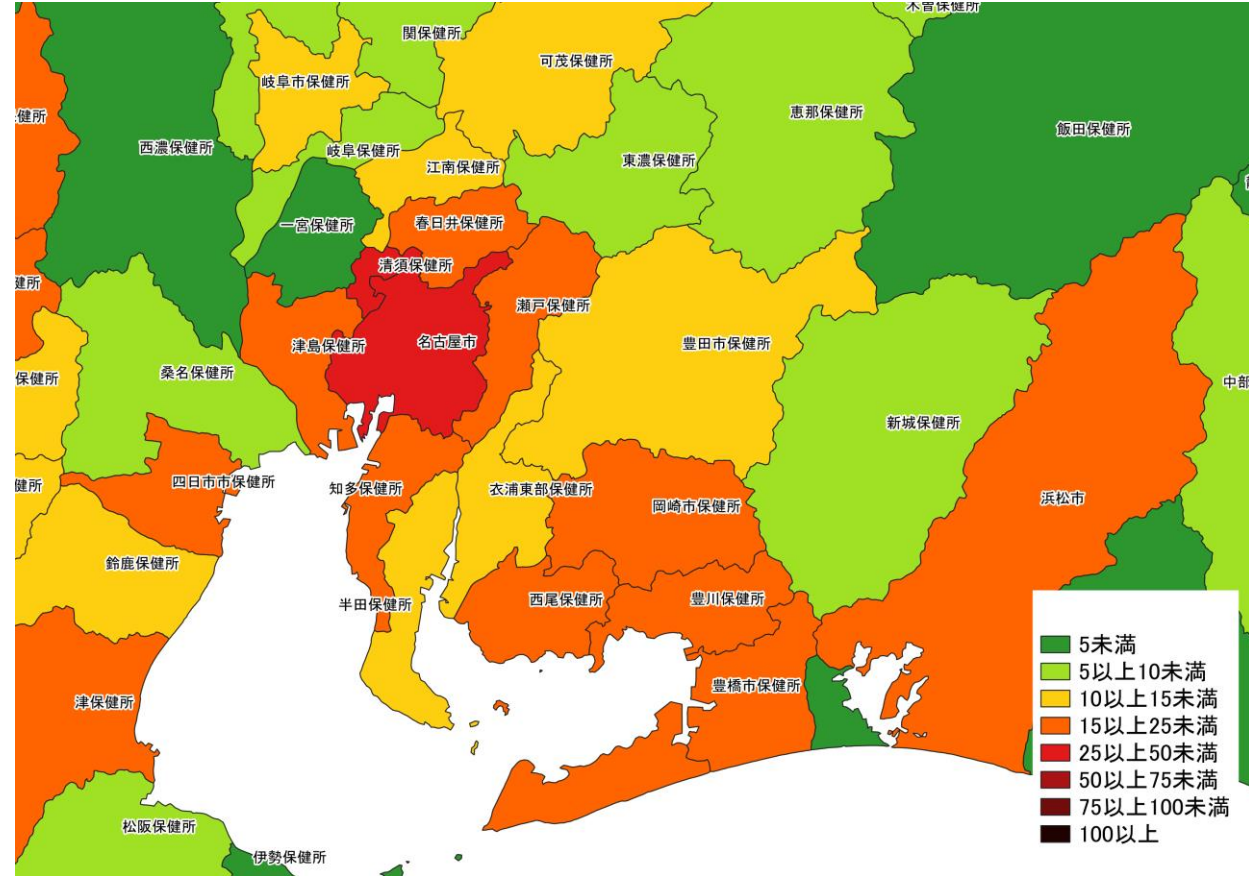
人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
北陸・中部地域（HER-SYS情報）



人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
 関西・中京圏 (HER-SYS情報)



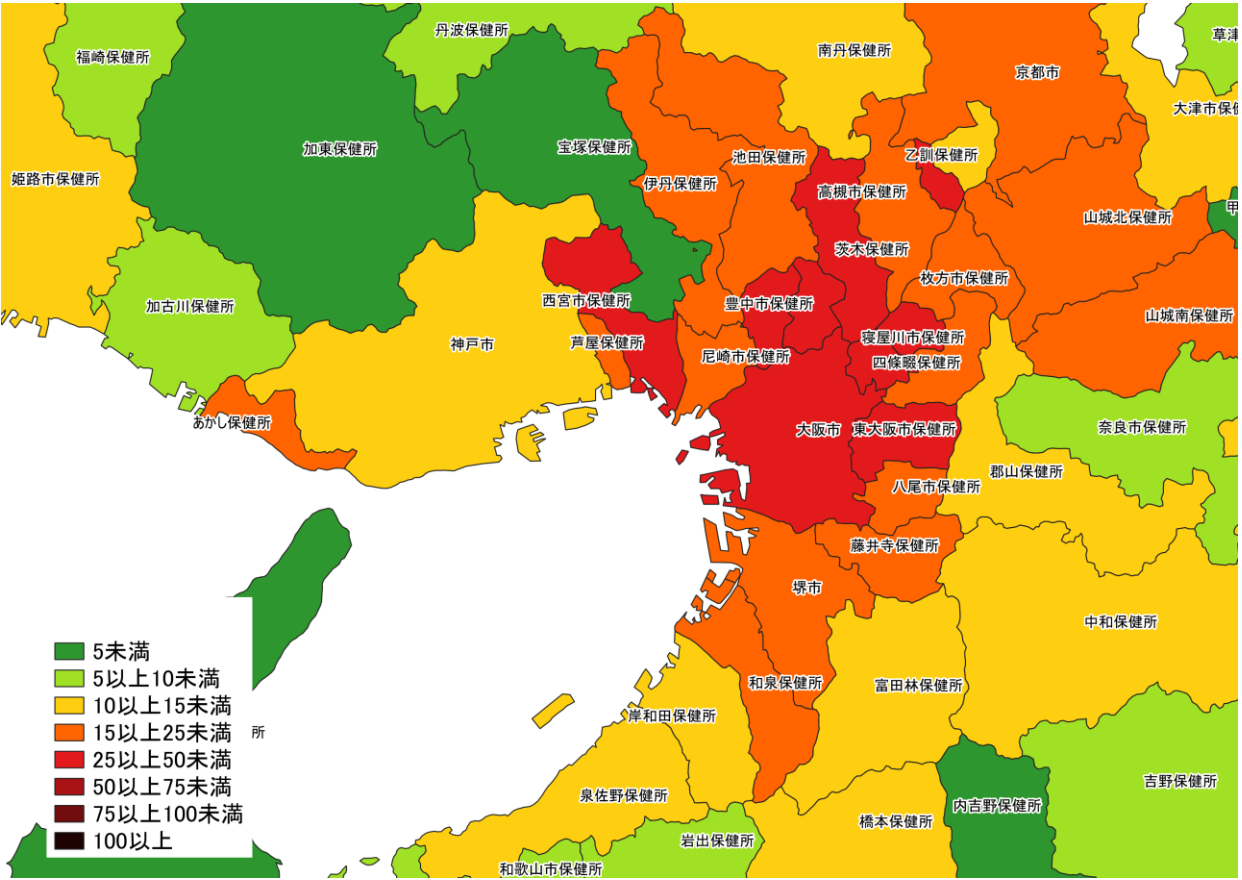
7/18~7/24



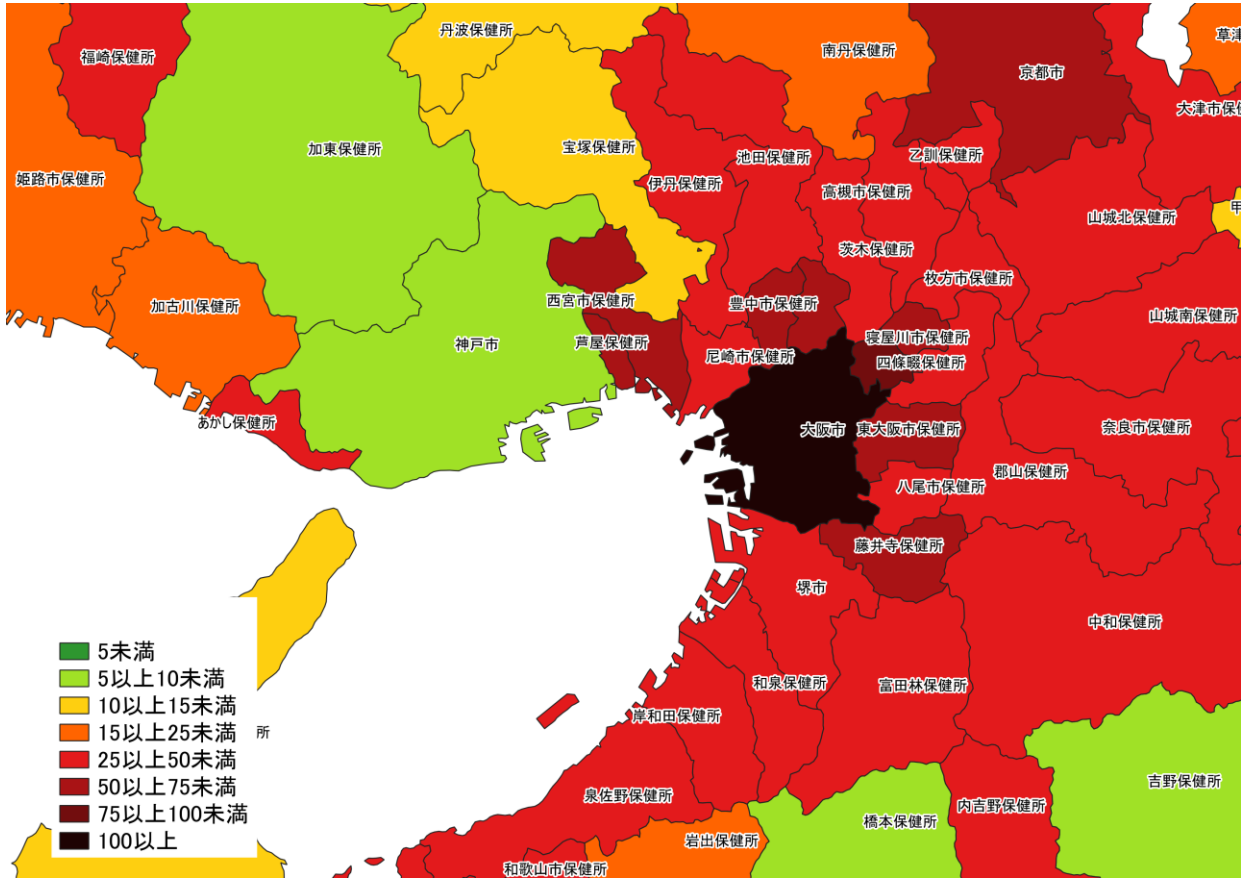
7/25~7/31

入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
名古屋周辺（HER-SYS情報）



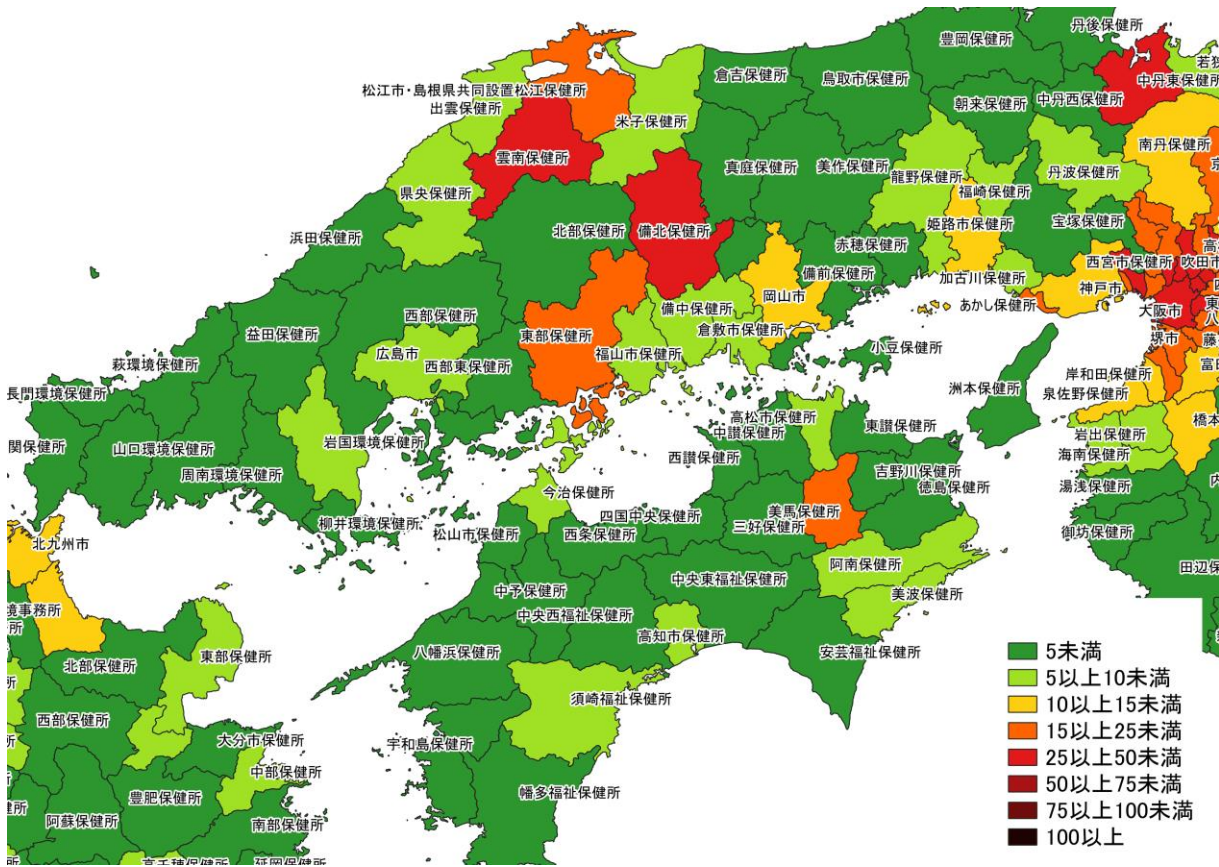
7/18~7/24



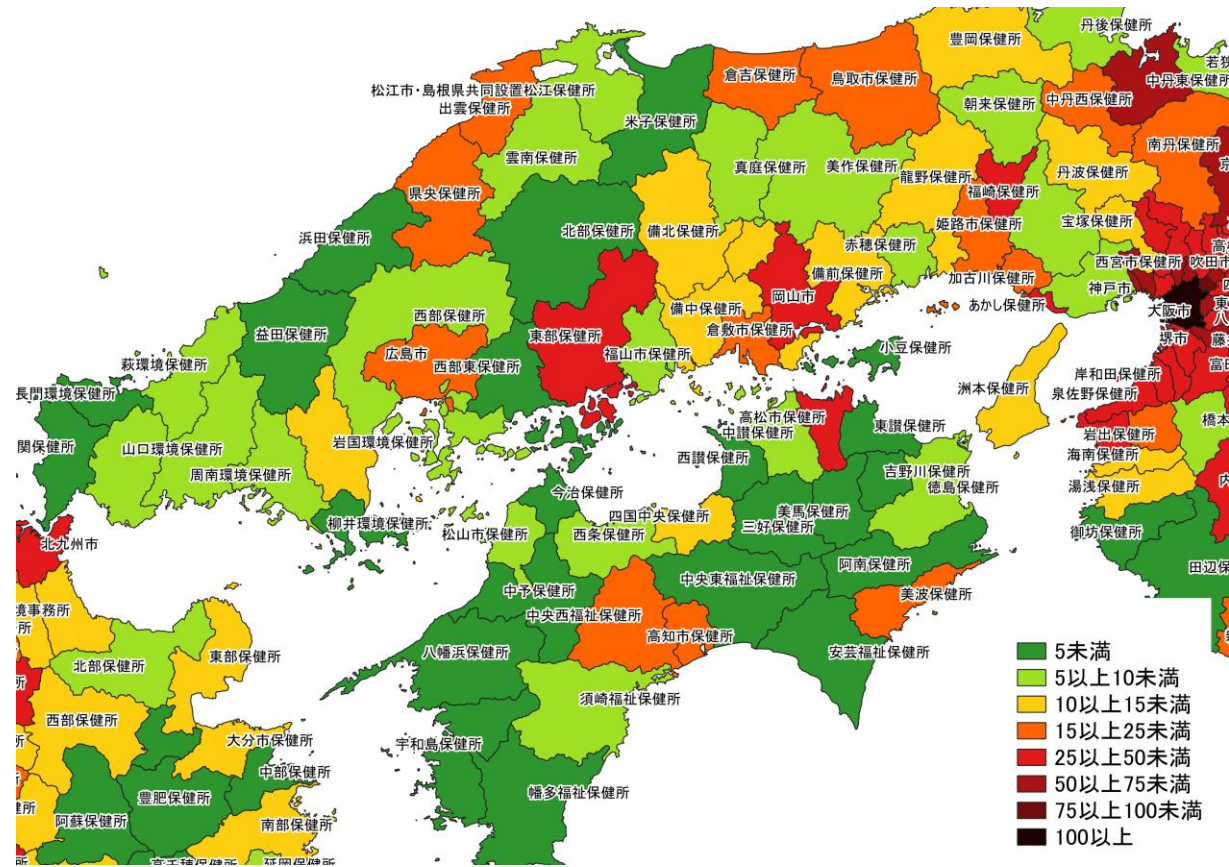
7/25~7/31

入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
大阪周辺 (HER-SYS情報)



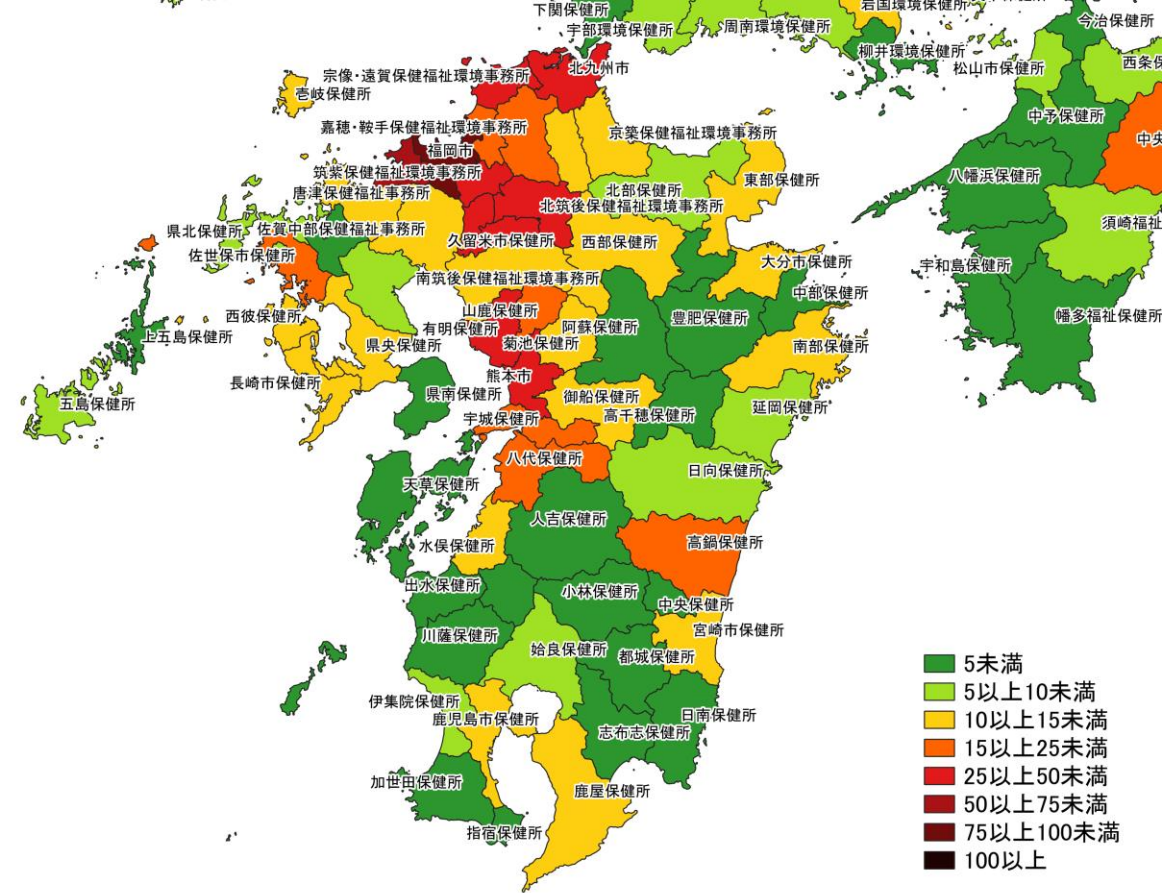
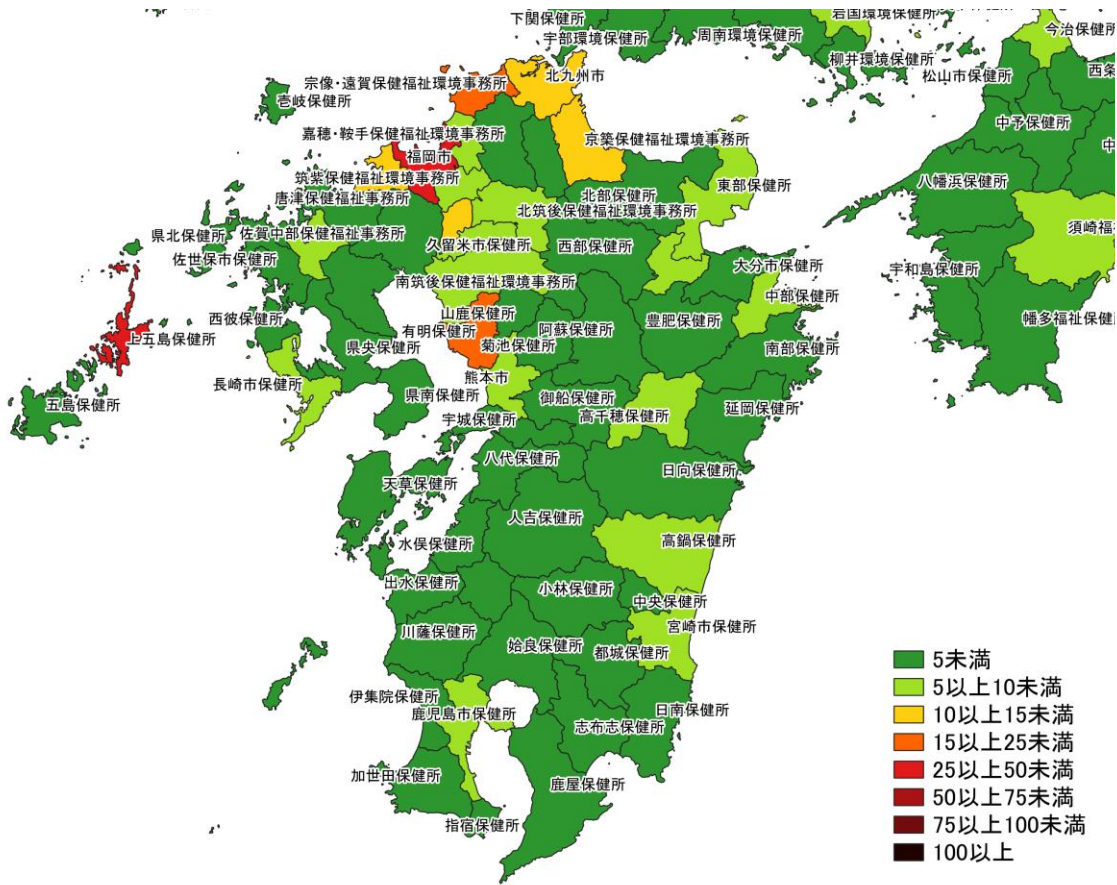
7/18~7/24



7/25~7/31

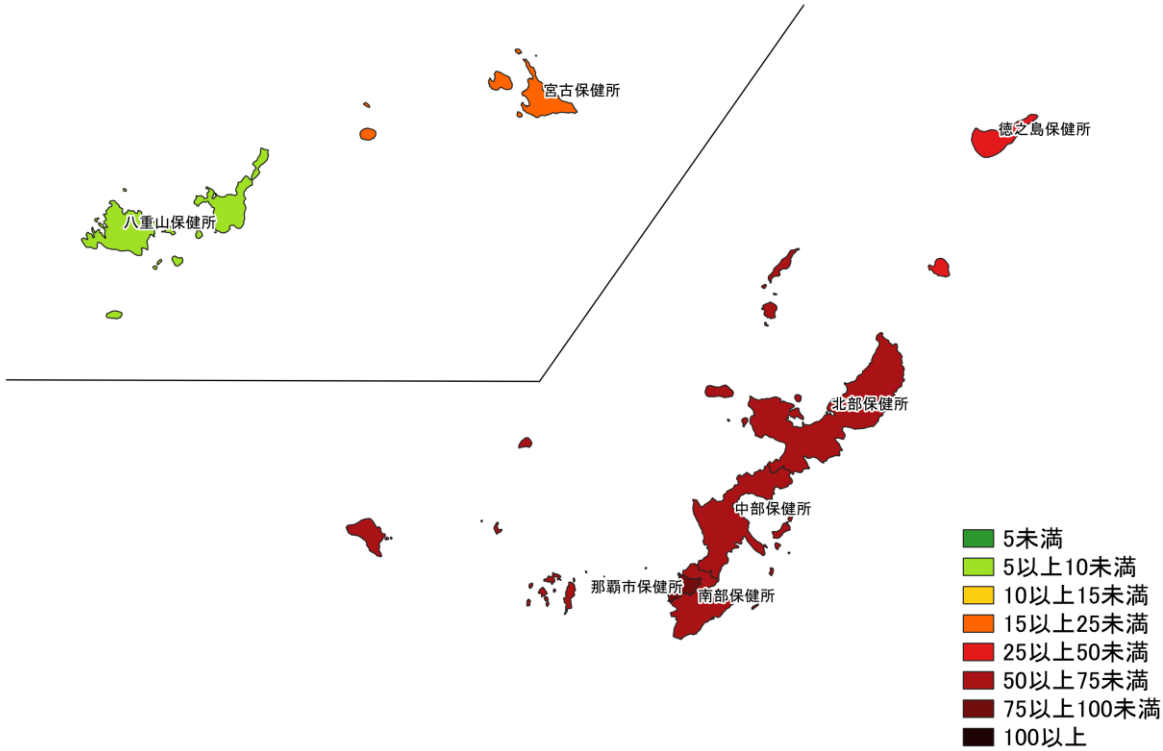
入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
中国・四国地域 (HER-SYS情報)

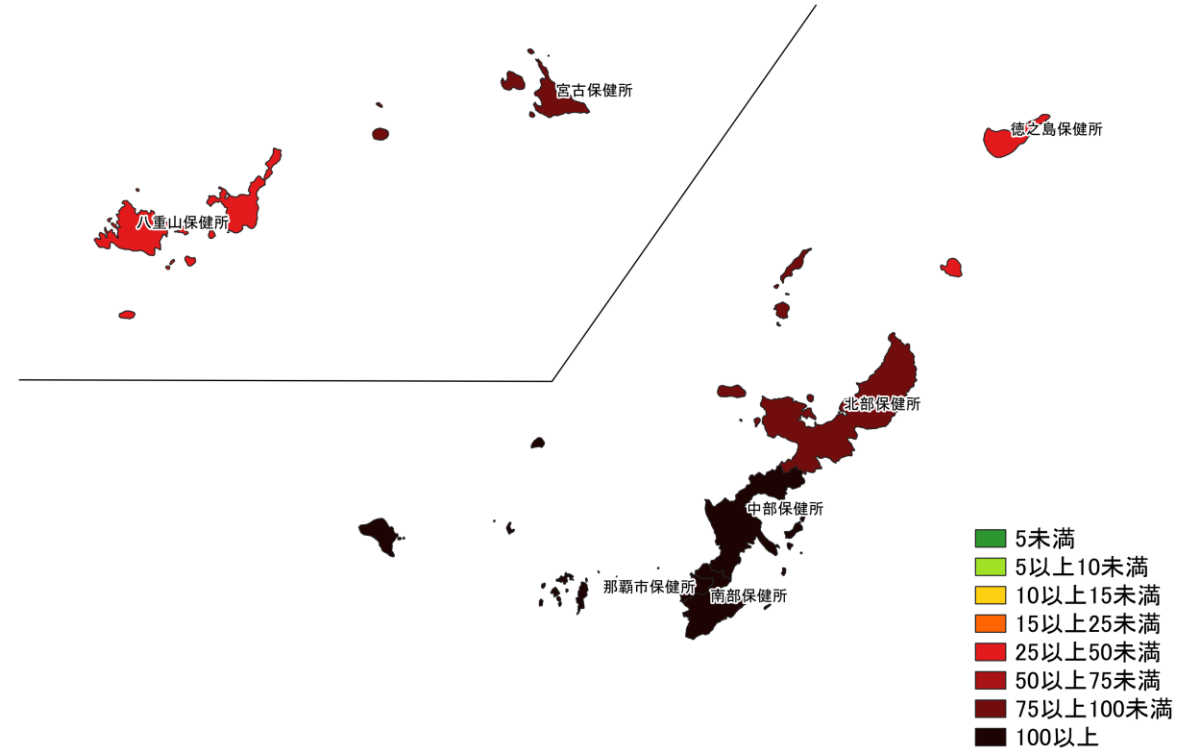


入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
九州地域 (HER-SYS情報)



7/18~7/24

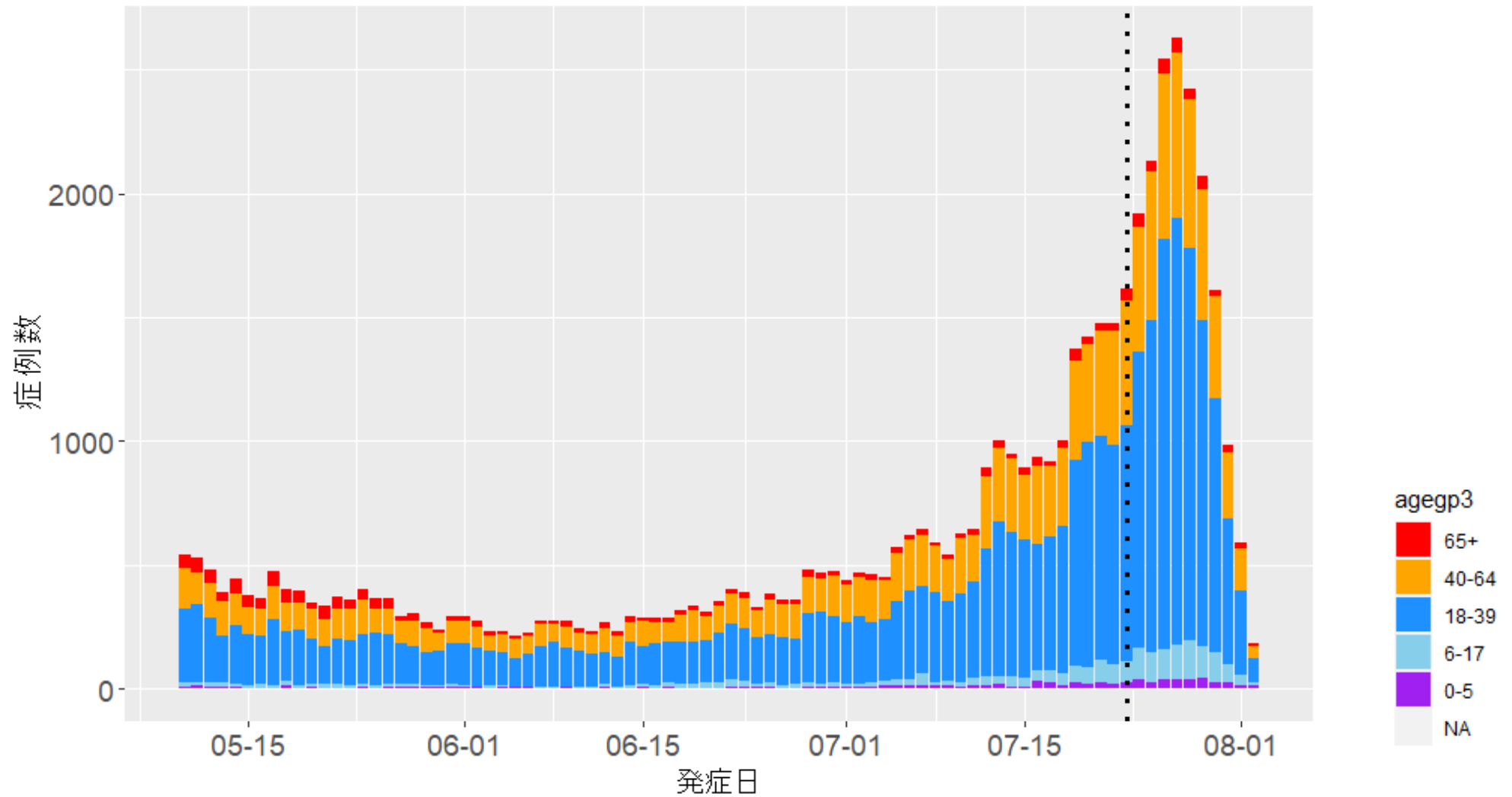


7/25~7/31

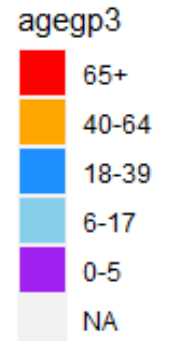
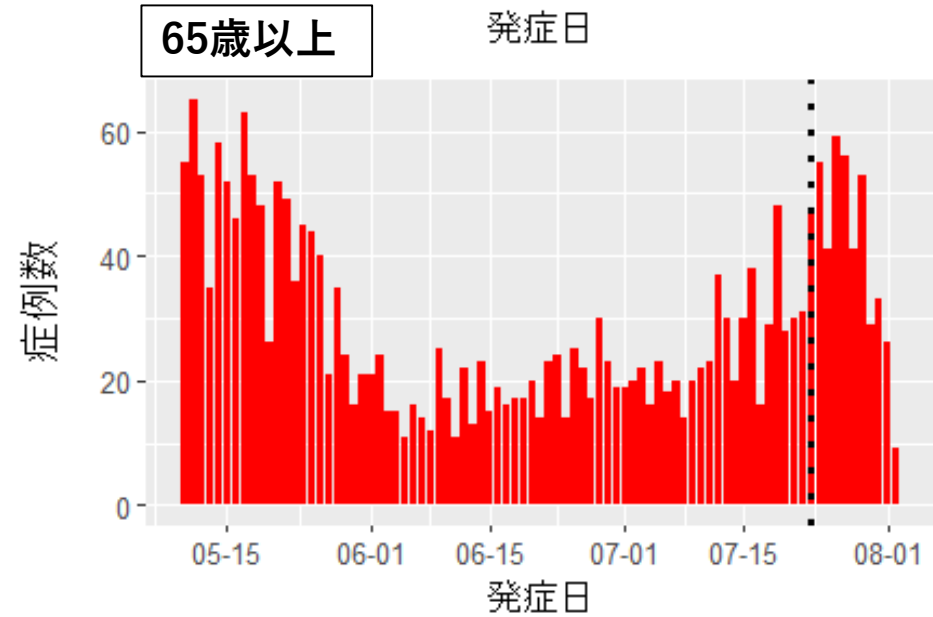
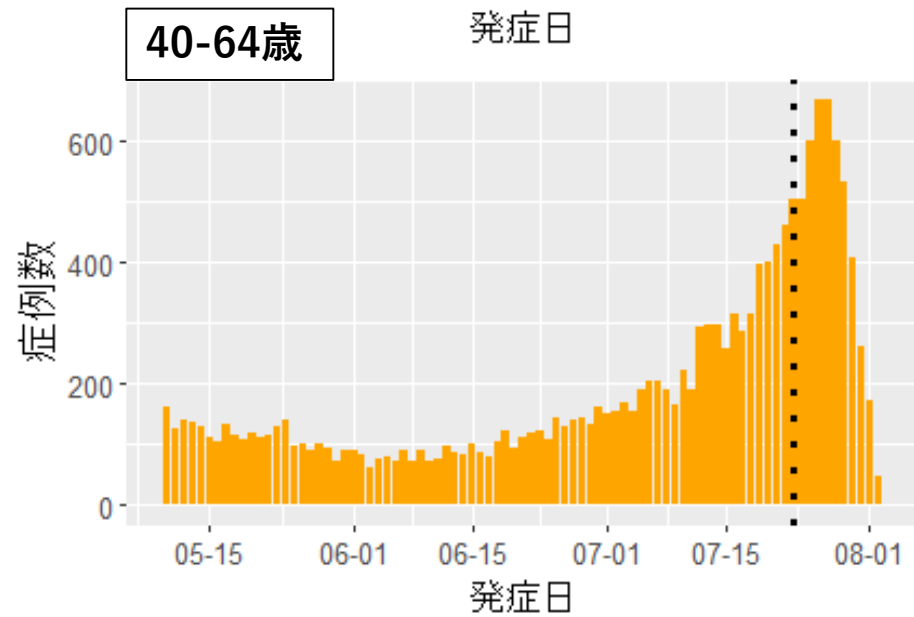
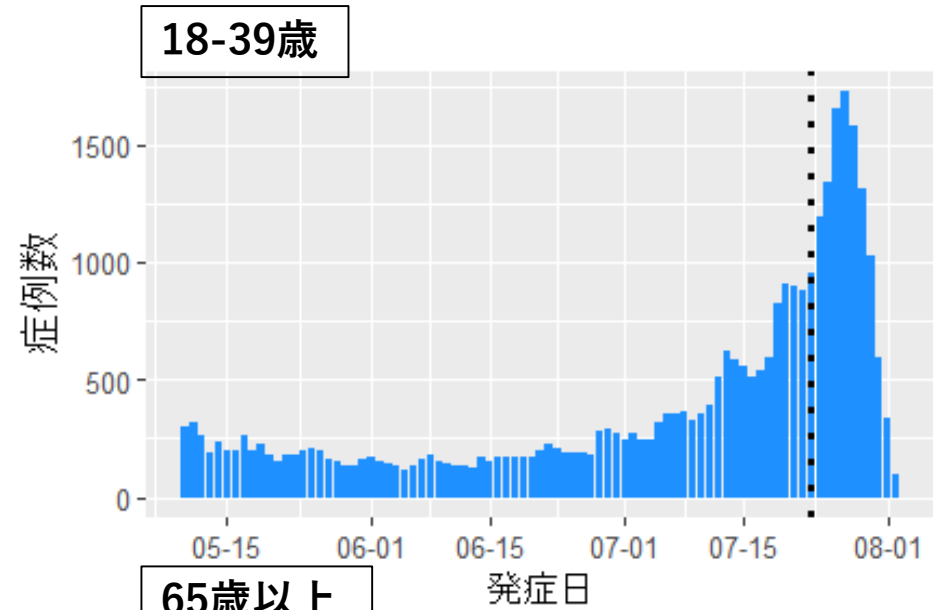
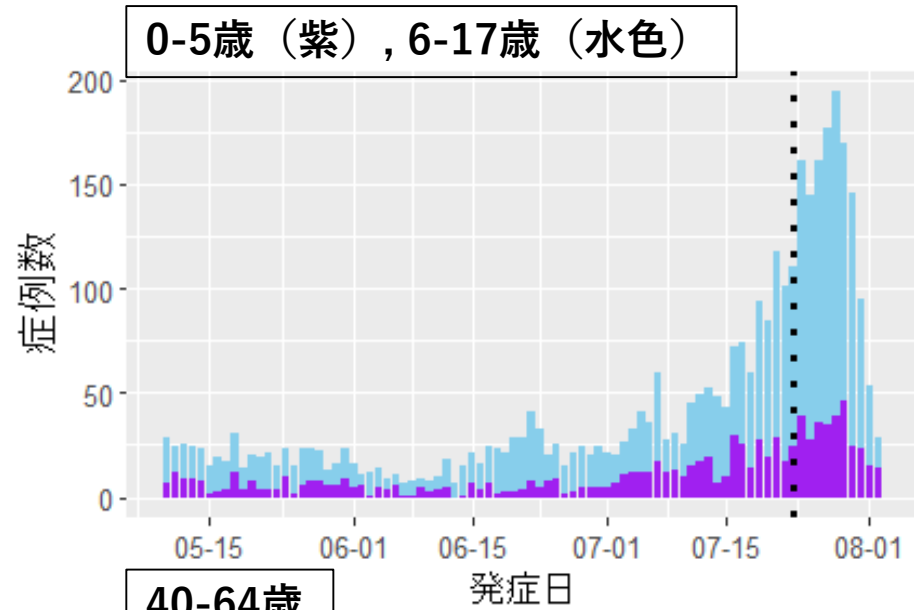
入力遅れによる過小評価の可能性あり

人口10万人あたりの7日間累積新規症例報告数マップ
沖縄（HER-SYS情報）

東京都の発症日別流行曲線：8月3日作成

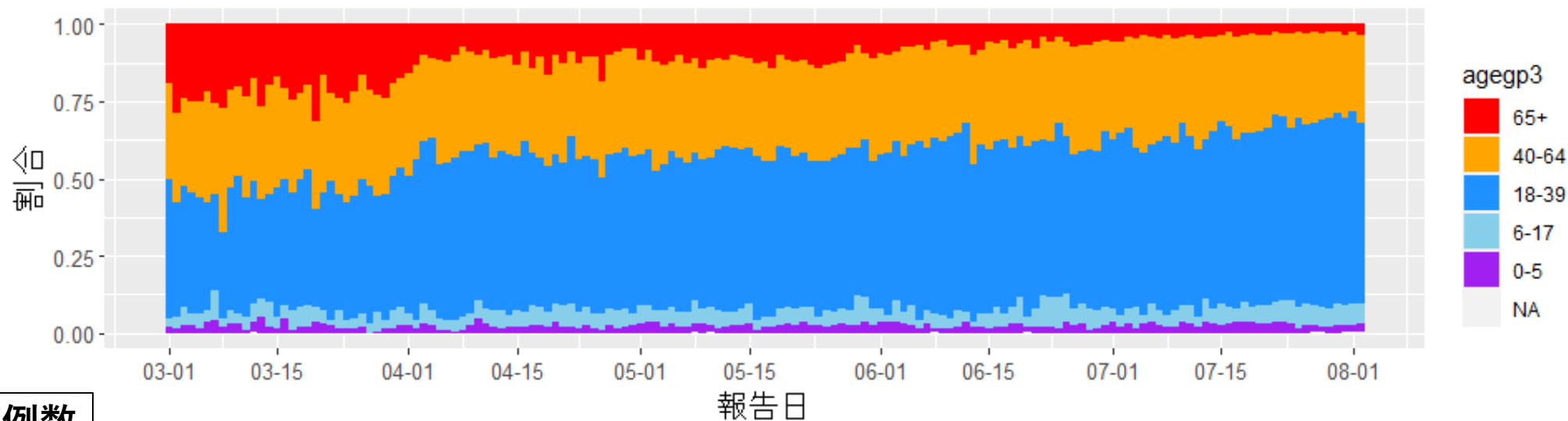


東京都の発症日別流行曲線：年代別、8月3日作成

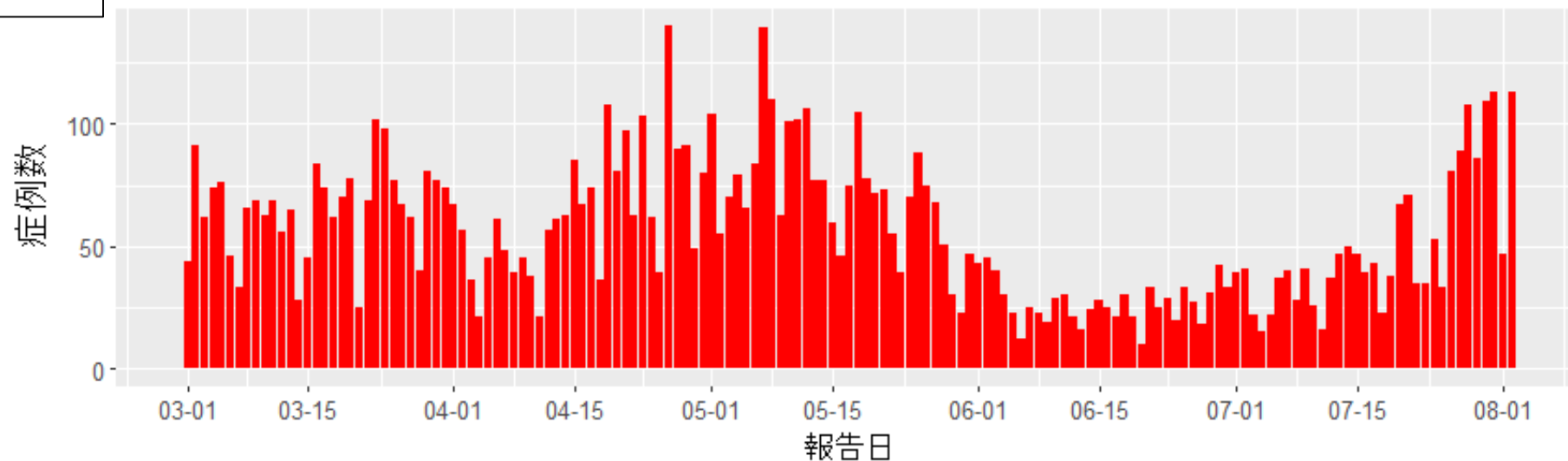


東京都の症例の年代分布：報告日別、8月3日作成

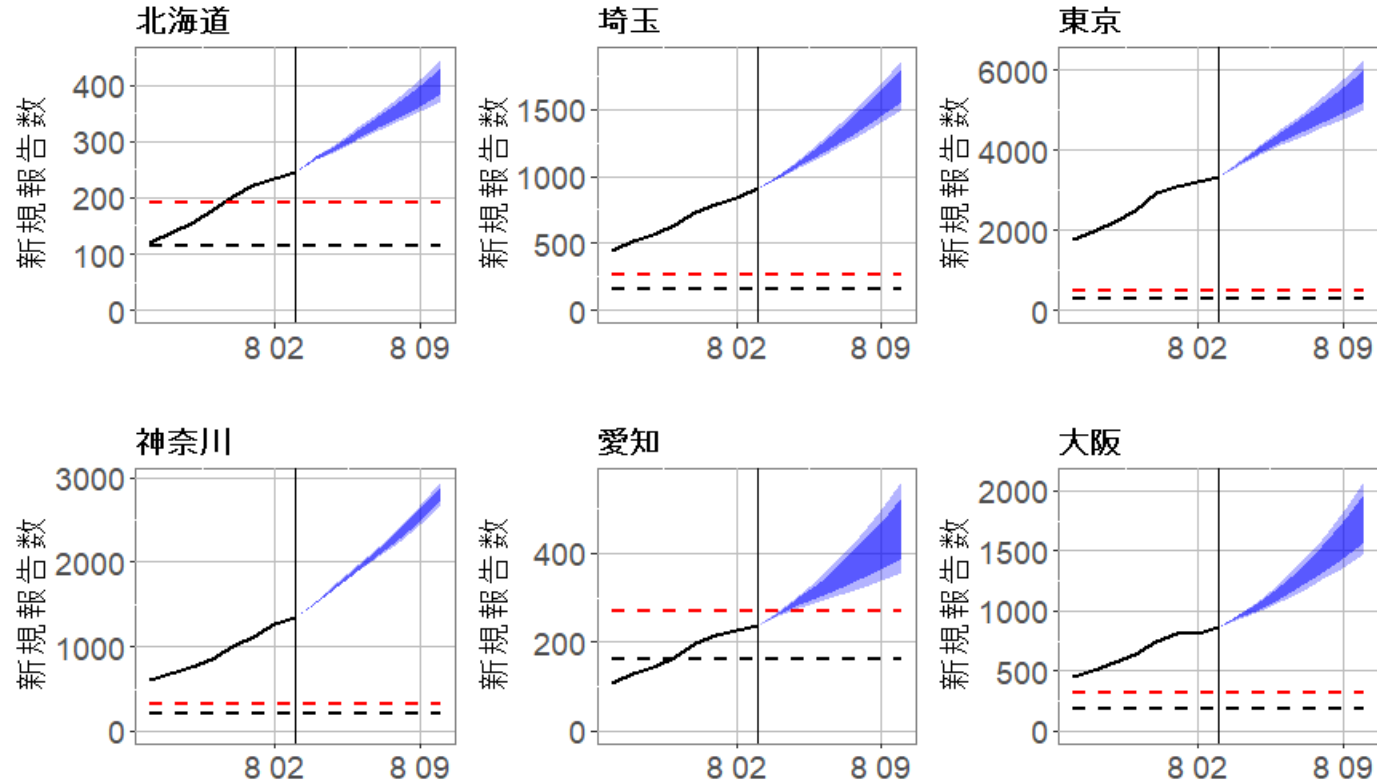
年代分布



65歳以上の症例数



新規患者数（7日間移動平均）のシミュレーション：8月3日作成



都道府県ごとに、新規症例数（報告日別）を用いてCori et al. AJE 2013の方法（window time=7）で実効再生産数を推定した。次に実効再生産数が8日前の人流、気温、および同日のデルタ株の割合と関係するという想定のもとに時系列回帰分析を行い、これに基づいて今後7日間の実効再生産数の予測を行った。作成日時点の新規症例数の7日間移動平均値を起点として、予測実効再生産数の80%および95%予測区間の上限値と下限値を用いて今後7日間の予測症例数を算出した（図中の青帯）。点線はそれぞれ人口10万対7日間累積症例数が25相当、15相当をあらわす。人流データはGoogle社のCOVID-19：コミュニティモビリティレポート（<https://www.google.com/covid19/mobility/>）、気象データは気象庁の公開データを用いた。デルタ株の割合はP41を参照のこと。

HER-SYSに登録された新規変異株症例のまとめ（8月2日時点）

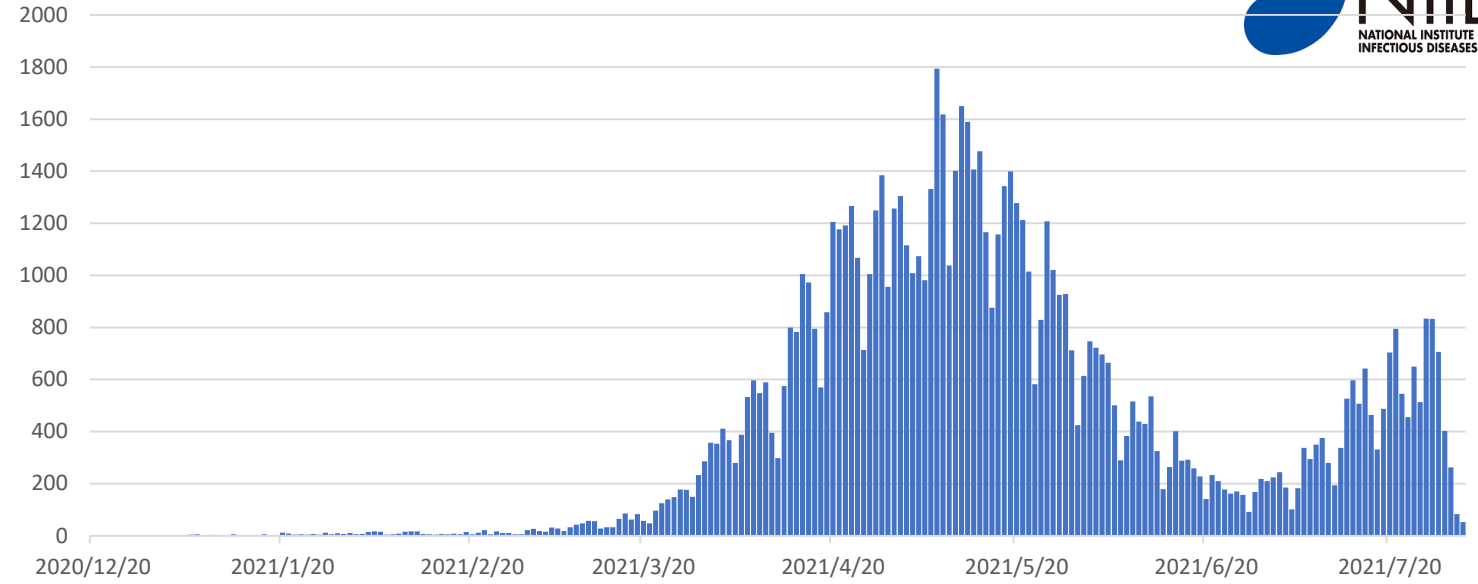
		ゲノム解析		
		実施	未実施	計
変異株 PCR	陽性	19,521	65,293	
	未実施	940		
	判定不能	88		
計		20,549	65,293	85,842
株		N=85,842		
B.1.1.7系統 (アルファ株)		17,118		
B.1.351系統 (ベータ株)		25		
P.1系統 (ガンマ株)		86		
B.1.617系統 (デルタ株等)		1,162		
その他		1,874		
空欄		65,577		

性別	N=85,842
男性	45,928
女性	39,766
不明	148
症状/発生届	N=85,842
肺炎	2,265
重篤な肺炎	254
ARDS	101
多臓器不全	27
死亡*	837

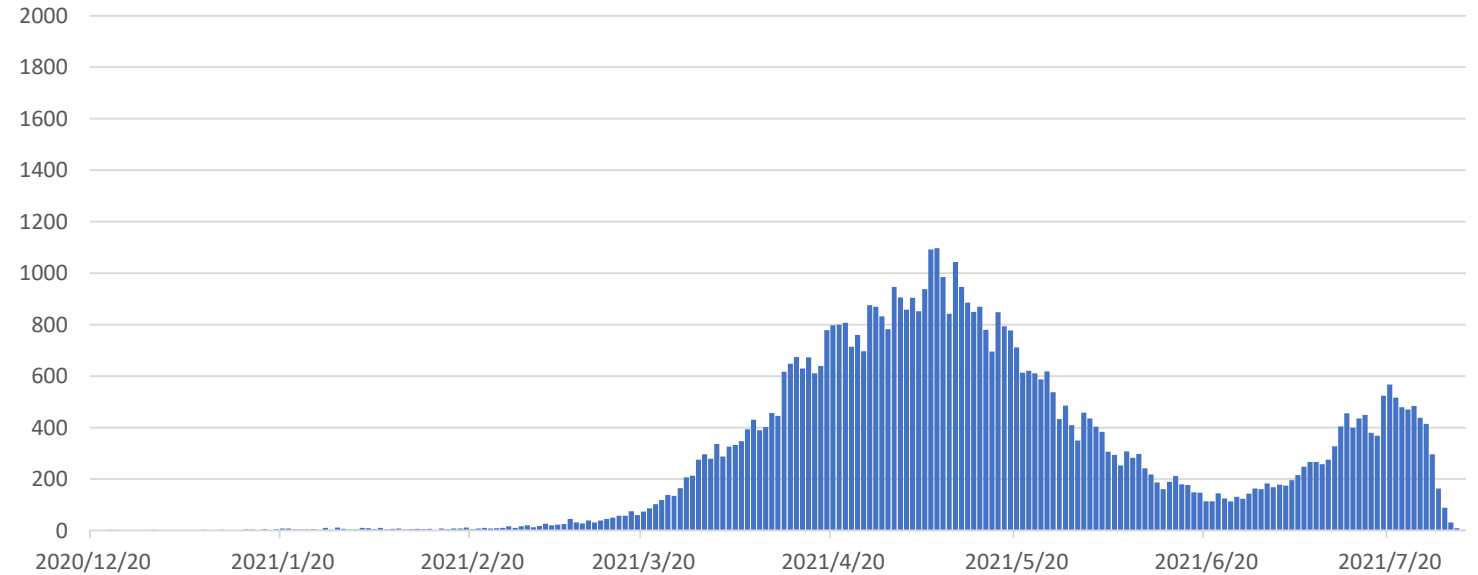
年齢	度数 N=85,842	割合
10歳未満	4,232	5%
10代	8,419	10%
20代	20,703	24%
30代	13,192	15%
40代	12,858	15%
50代	10,742	13%
60代	6,303	7%
70代	4,754	6%
80代	2,998	3%
90代以上	1,139	1%
不明	502	

*措置判定記録として死亡年月日があるもの

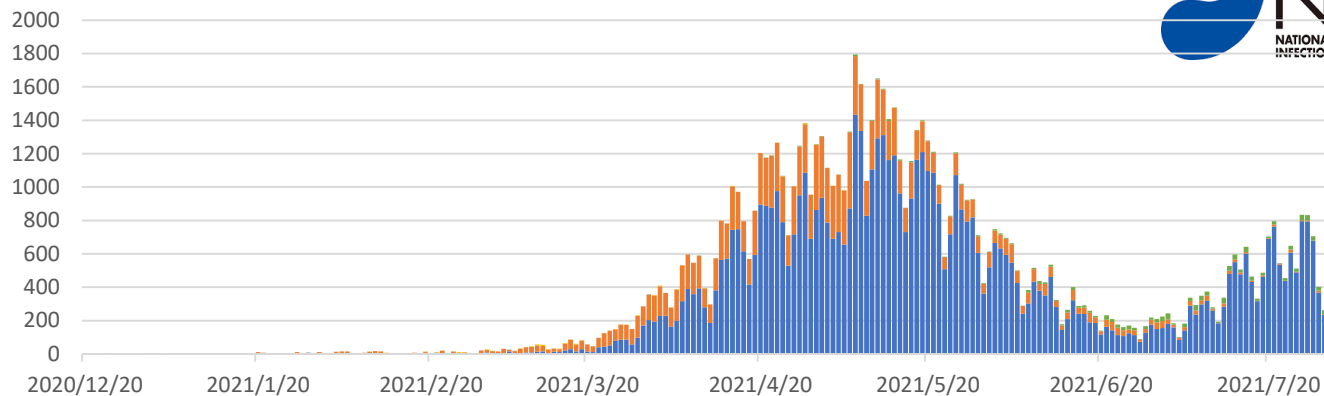
報告日別新規変異株症例届出数
(2020年12月20日～2021年8月1日) n=85,842



発症日別新規変異株症例届出数
(2020年12月20日～2021年8月1日) n=61,125

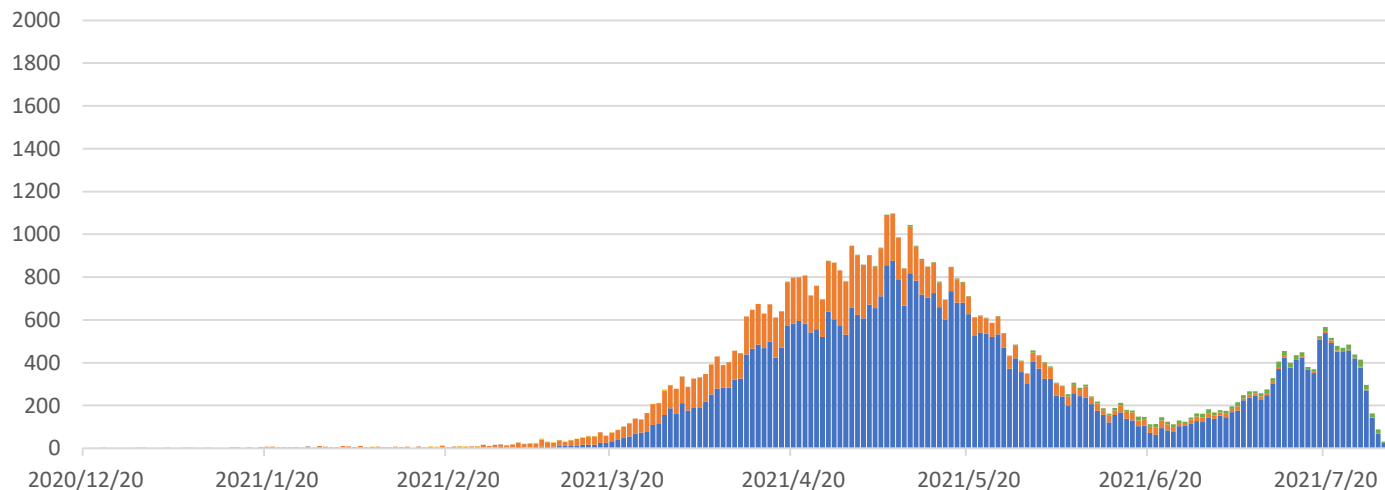


報告日別新規変異株症例届出数 (2020年12月20日～ 2021年8月1日) n=85,842



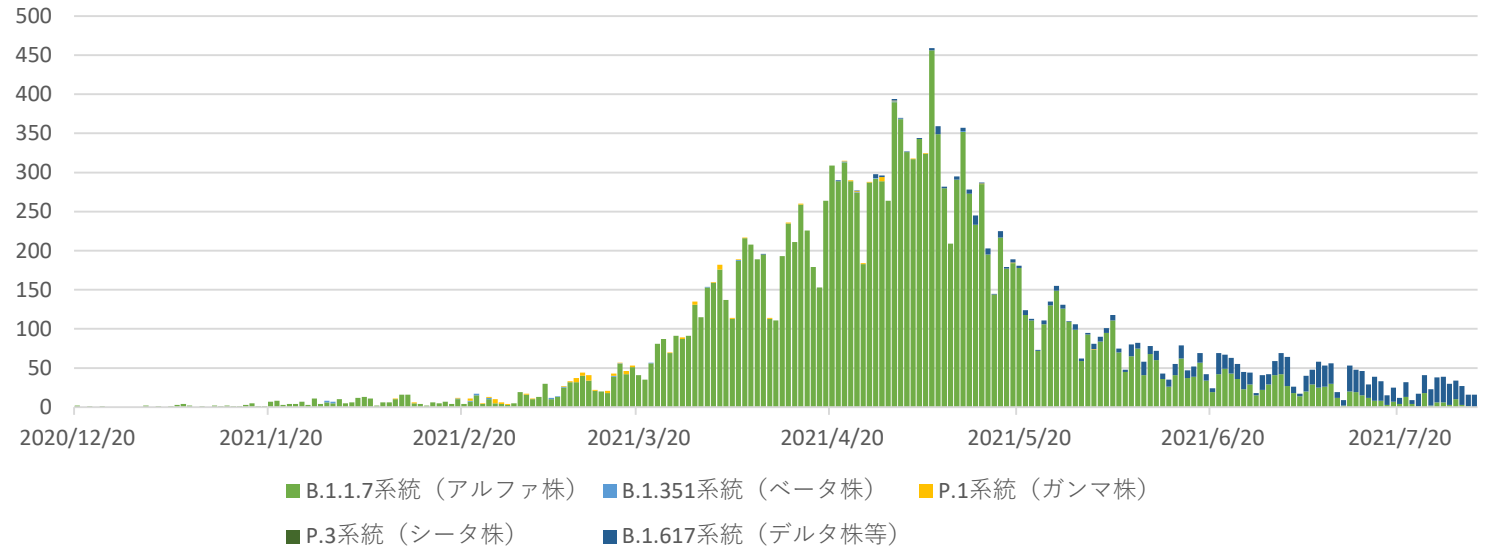
■ 不明・その他 ■ B.1.1.7系統 (アルファ株) ■ B.1.351系統 (ベータ株)
 ■ P.1系統 (ガンマ株) ■ P.3系統 (シータ株) ■ B.1.617系統 (デルタ株等)

発症日別新規変異株症例届出数 (2020年12月20日～ 2021年8月1日) n=61,125

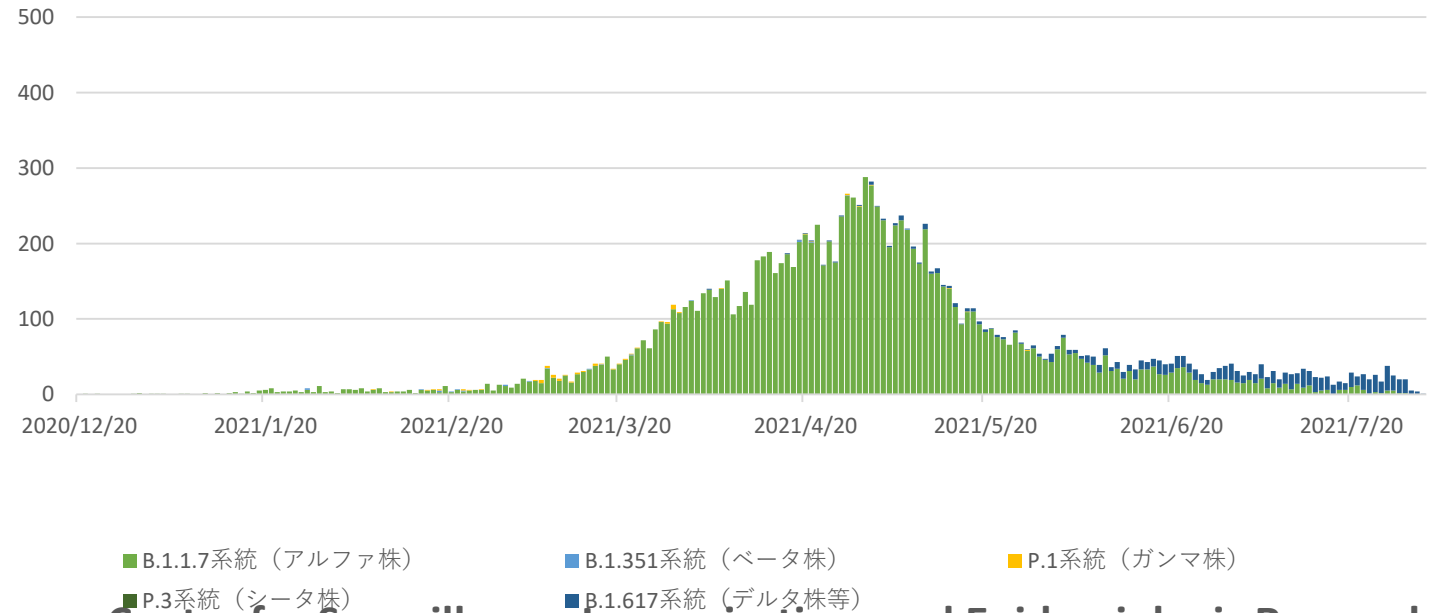


■ 不明・その他 ■ B.1.1.7系統 (アルファ株) ■ B.1.351系統 (ベータ株)
 ■ P.1系統 (ガンマ株) ■ P.3系統 (シータ株) ■ B.1.617系統 (デルタ株等)

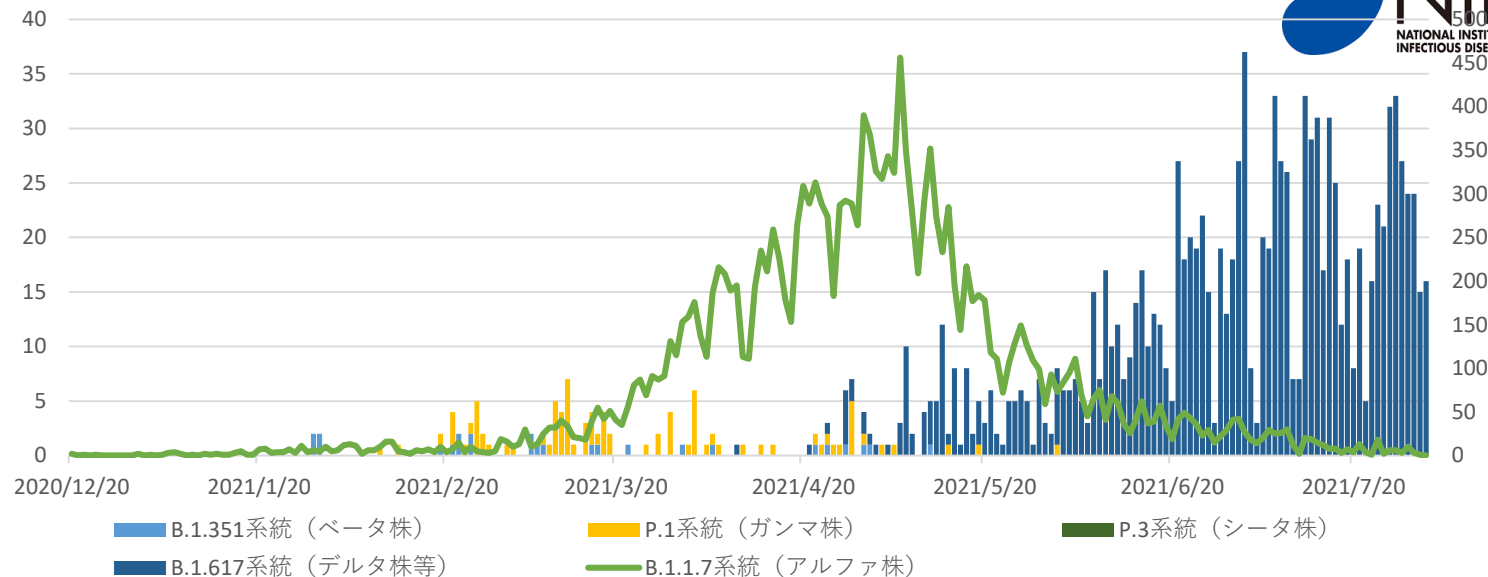
報告日別新規変異株症例届出数（株確定のみ）
（2020年12月20日～2021年8月1日） n=18,391



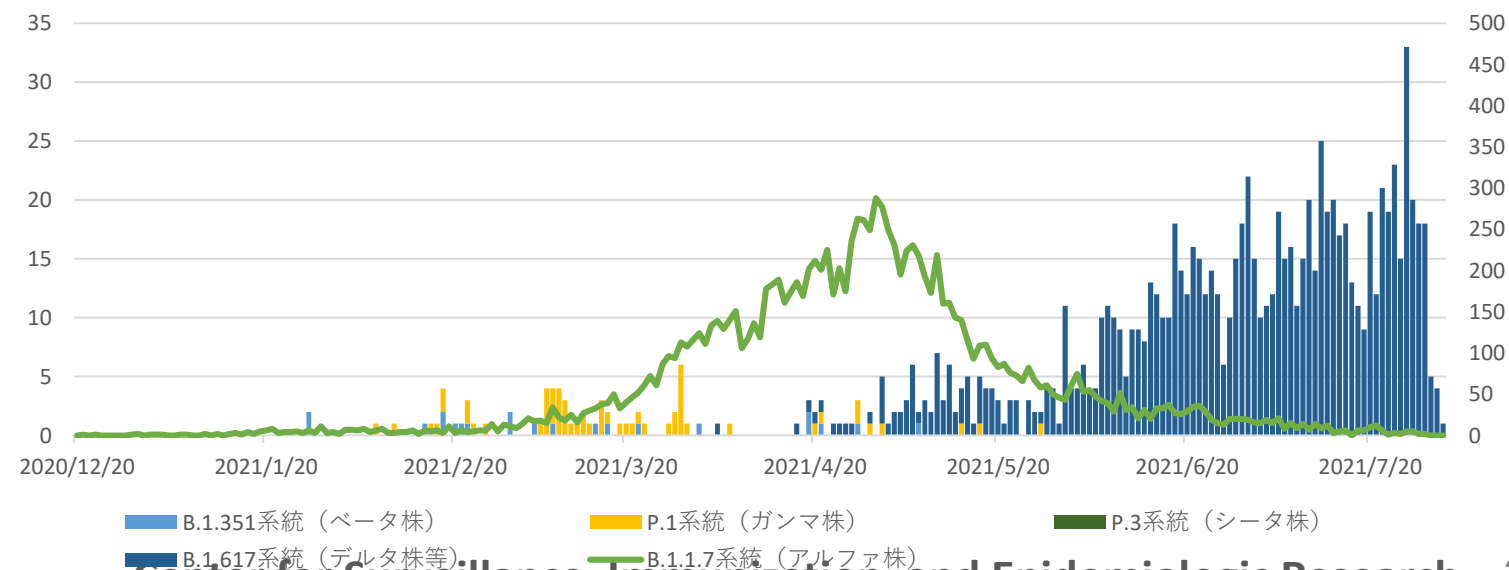
発症日別新規変異株症例届出数（株確定のみ）
（2020年12月20日～2021年8月1日） n=13,385



報告日別新規変異株症例届出数（株確定のみ）
（2020年12月20日～2021年8月1日） n=18,391



発症日別新規変異株症例届出数（株確定のみ）
（2020年12月20日～2021年8月1日） n=13,385



HER-SYSに登録された新規変異株症例（2021年8月2日時点）（診断日2021年4月9日以降） B.1.1.7系統（アルファ株）と B.1.617系統（デルタ株等）のみ

性別	B.1.1.7系統 (アルファ株) n=13,839	B.1.617系統 (デルタ株等) n=1,162
男性	7,268	628
女性	6,550	534
不明	21	0

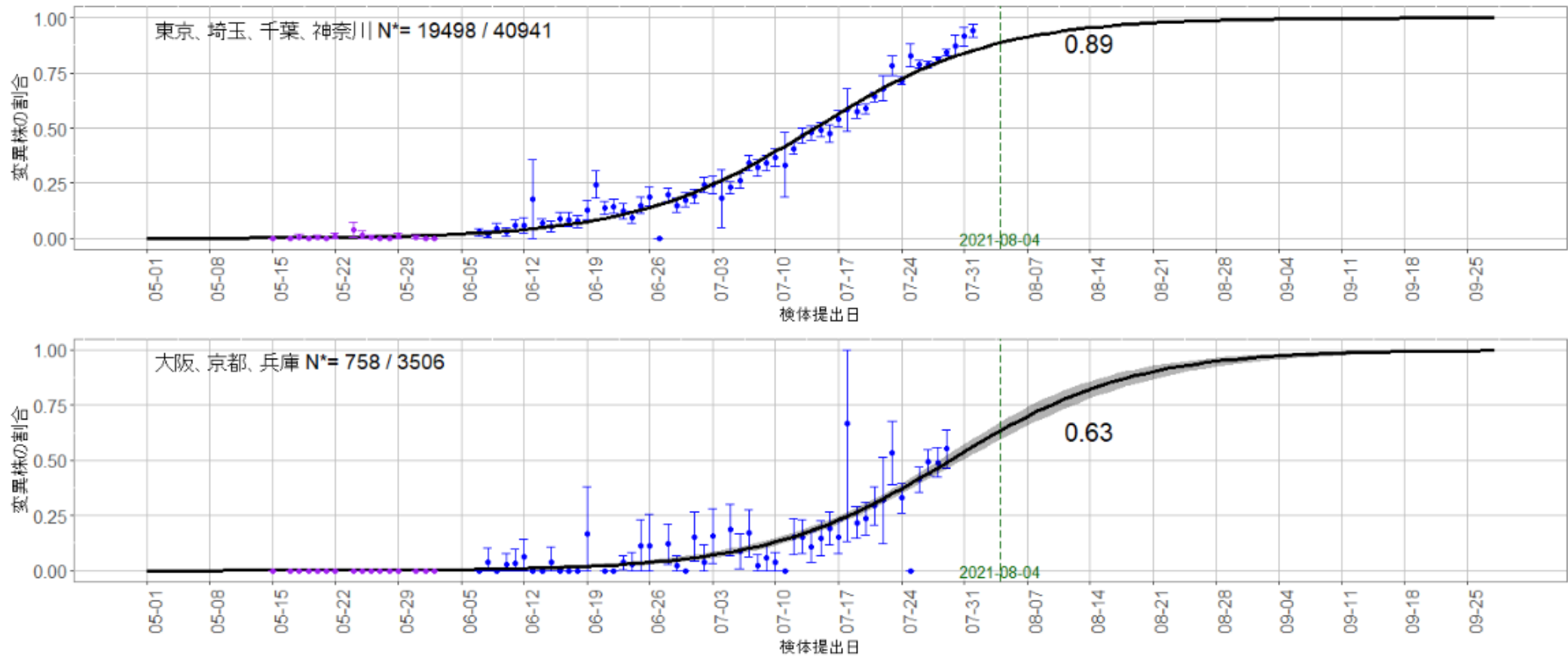
症状/発生届	n=13,839	n=1,162
肺炎	407	28
重篤な肺炎	43	2
ARDS	15	1
多臓器不全	7	1
死亡*	166	6

年齢	B.1.1.7系統 (アルファ株) n=13,839 割合		B.1.617系統 (デルタ株等) n=1,162 割合	
10歳未満	588	4%	76	7%
10代	1,288	9%	132	11%
20代	2,884	21%	291	25%
30代	1,906	14%	204	18%
40代	2,068	15%	175	15%
50代	1,810	13%	154	13%
60代	1,265	9%	72	6%
70代	1,052	8%	30	3%
80代	632	5%	19	2%
90代以上	270	2%	6	1%
不明	76		3	

*措置判定記録として死亡年月日があるもの

SARS-CoV-2陽性検体に占めるL452R変異の割合：8月2日時点

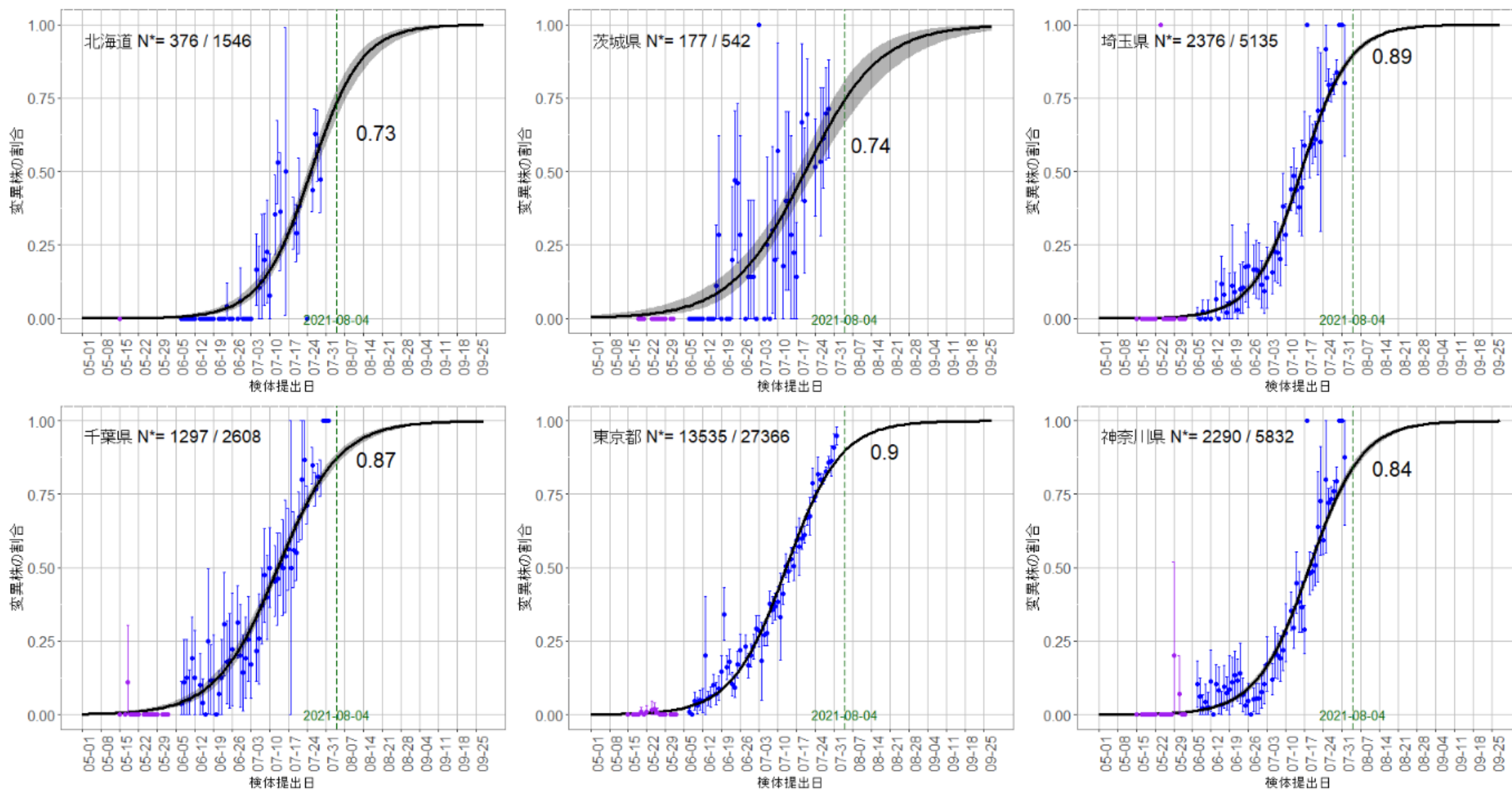
*L452R変異検出数/変異株スクリーニング件数



データは民間検査会社（7社）の変異株スクリーニング検査の結果を用いた。6月6日以前は原則的に各社のSARS-CoV-2陽性検体は全てN501Y-PCR検査が実施され、N501Y陰性検体についてL452R-PCR検査が実施された（分母は全N501Y-PCR検査実施数）。6月7日以降は原則各社のSARS-CoV-2陽性検体は全てL452R-PCR検査が実施された（分母は全L452R-PCR検査実施数）。図中の点は検体提出日ごとのL452R変異割合の点推定値、バーは95%信頼区間の上限と下限を表す。なお、スクリーニング体制の変更があったことから、6月6日以前を紫色、6月7日以降を青色で区別している。分析に際しては、最終的にすべてのウイルスがL452R変異を有するウイルスに置き換わることを前提としている。推定には不確実性があり（図中では推定ラインの95%信頼区間をグレーで示している）、今後、スクリーニング件数が増えることで値や形状が変化する可能性がある。

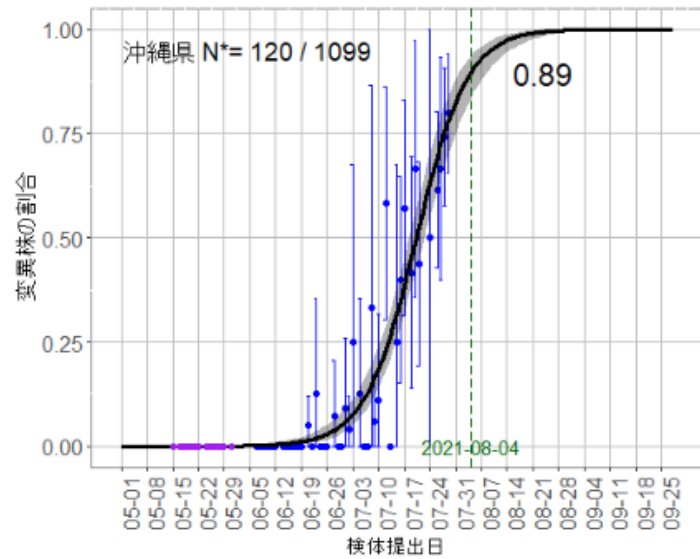
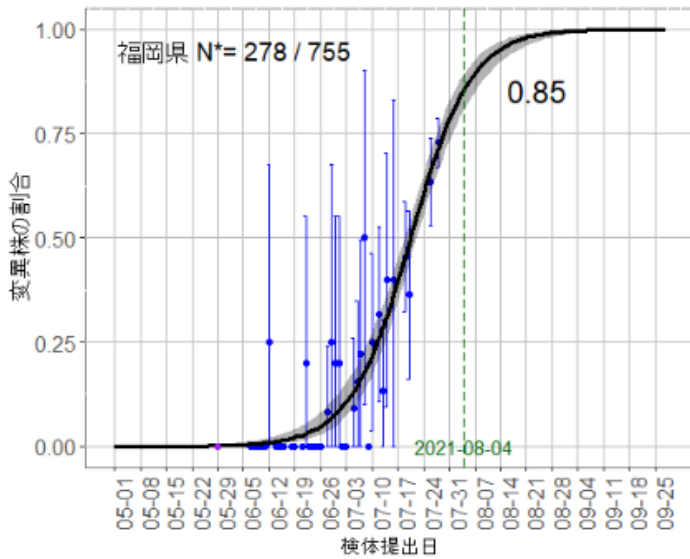
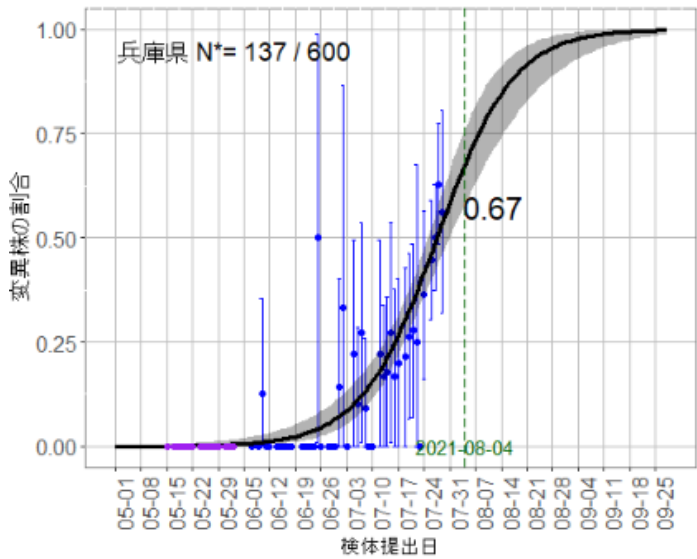
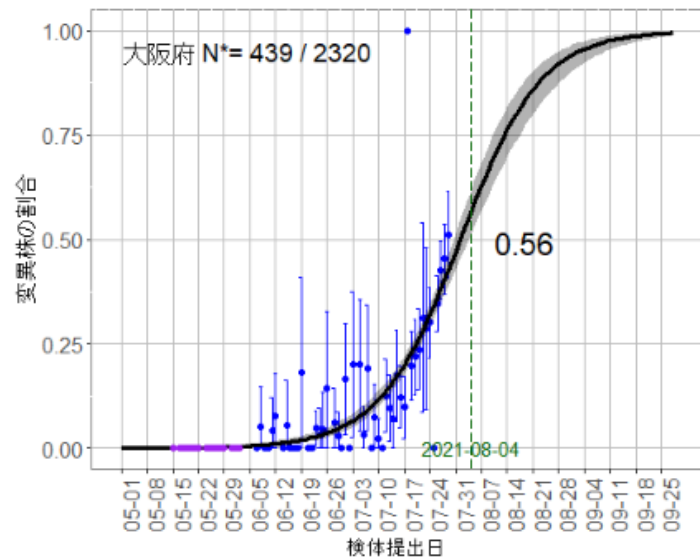
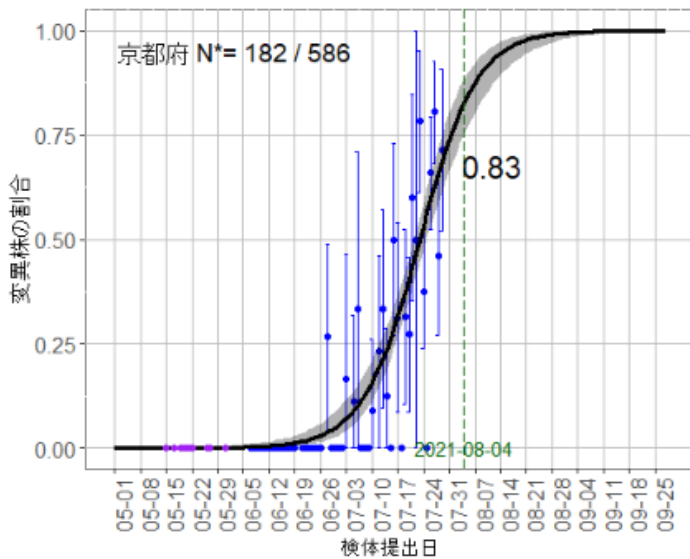
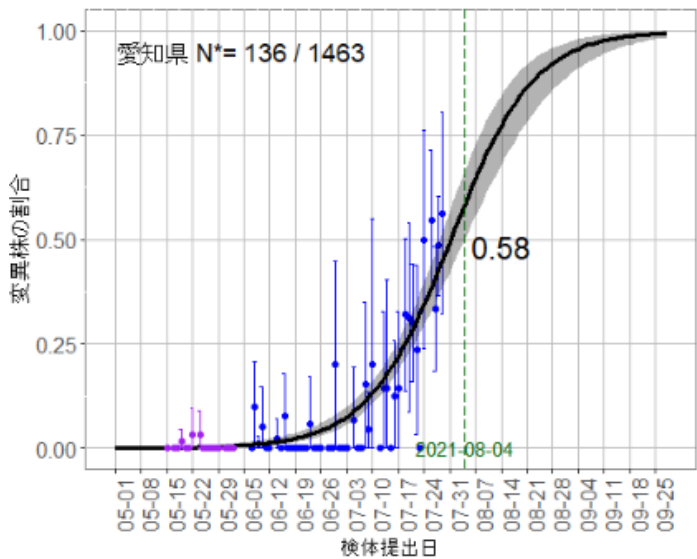
SARS-CoV-2陽性検体に占めるL452R変異の割合：8月2日時点（一部都道府県抜粋）

*L452R変異検出数/変異株スクリーニング件数

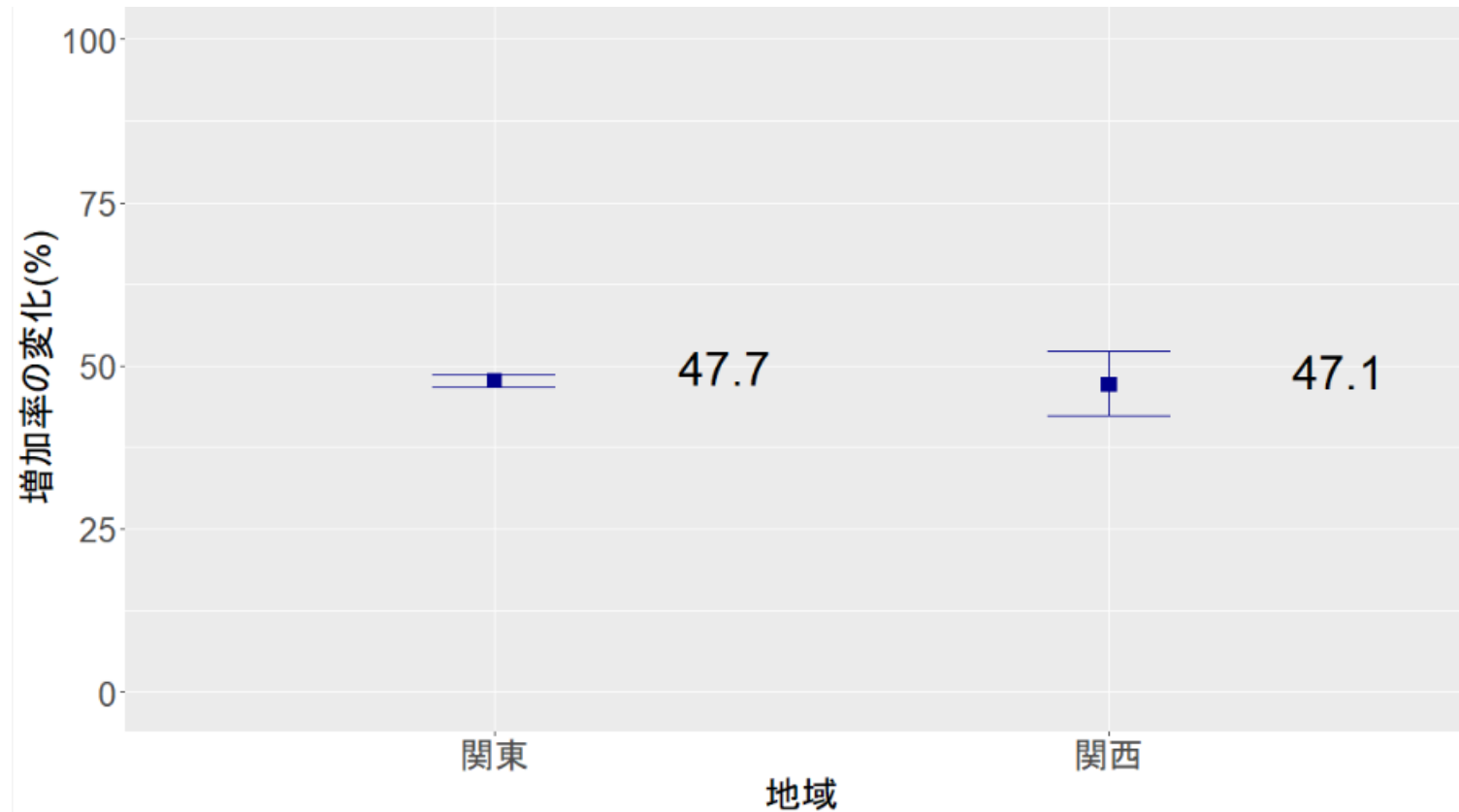


SARS-CoV-2陽性検体に占めるL452R変異の割合：8月2日時点（一部都道府県抜粋）

*L452R変異検出数/変異株スクリーニング件数



L452R変異ウイルスによる感染・伝播性の増加：8月2日時点推定値



データは民間検査会社（7社）のL452R-PCRスクリーニング検査の結果を用いた。6月6日以前は原則的に各社のSARS-CoV-2陽性検体は全てN501Y-PCR検査が実施され、N501Y陰性検体についてL452Rスクリーニング検査が実施された。6月7日以降N501Y-PCRスクリーニングはL452R-PCRスクリーニングに切り替えられ、原則各社のSARS-CoV-2陽性検体は全てL452R-PCR検査が実施された。図中の値はL452R変異ウイルスの感染・伝播性（transmissibility）が従来流行していたウイルス（N501Y変異ウイルス等）のそれに比べてどれだけ増加したかを表し、観察期間中のN501Y変異ウイルスの実効再生産数が1であるという想定の下に算出した推定値である。推定値には不確実性があり（図には95%信頼区間を示す）、今後、スクリーニング件数が増えることで値が変化する可能性がある。推定に用いた方法は以下文献を参照のこと：Erik Volz, et al. medRxiv 2020.12.30.20249034; doi: <https://doi.org/10.1101/2020.12.30.20249034>